第18回介護福祉士国家試験 問題・解説

<http://www.yamadajuku.com>

(2006年4月23日掲載)

【社会福祉概論】

問題 1 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 世界人権宣言第1条では、すべての人間は、生まれながらにして自由であるが、その尊厳と権利においては時代的、国家的制約を受けることがあると明記している。
- B 日本国憲法第25条では、社会福祉の援助方法を明記している。
- C 生活保護法第3条では、自助努力の徹底の原則を明記している。
- D 社会福祉法第3条では、福祉サービスの基本理念を明記している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 1 正答 5×××○

A. ×。設問の文言は明記されていない。「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」と規定されている(世界人権宣言第1条)。また、宣言の前文では、「人権及び基本的自由の普遍的な尊重及び遵守の促進を達成することを誓約した」と明記している。

B. ×。社会福祉の援助方法を明記はされていない。「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。(憲法第25条第1項)」、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。(同第2項)」と規定されている。

C. ×。「自助努力の徹底の原則」は明記されていない。「この法律により保障される最低限度の生活は、健康で文化的な生活水準を維持することができるものでなければならない。」と規定されている(生活保護法第3条)。

D. ○。(福祉サービスの基本理念)「福祉サービスは、個人の尊厳の保持を旨とし、その内容は、福祉サービスの利用者が心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援するものとして、良質かつ適切なものでなければならない。」と規定されている。(社会福祉法第3条)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 2 次の組み合わせのうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ブース(Booth,C.)……………貧困調査
 B リッチモンド(Richmond,M.)……グループワーク
 C トインビー・ホール……………セツルメントワーク
 D 慈善組織協会(COS)……………友愛訪問活動

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問題 2 正答 3○×○○

A. ○。チャールズ・ブースは、1886～1902 年の間に、3回にわたってロンドンの労働者階級を中心にした貧困調査を実施し、『ロンドン民衆の生活と労働』としてまとめた。全人口の約 3 分の 1 が「貧困線」以下の生活者であることを明らかにし、市民が貧困状態にあるのは、個人の責任ではなく、不安定雇用・低賃金などの社会経済的要因にあるとした。なお、ブースのロンドン調査に影響を受けたシーボーム・ラウンタリーは、ヨーク市調査を行い、「最低生活費」(第一次貧困)を算定し、第一次貧困は総人口の 19.9%、労働階級人口の 15.5%を占め、第二次貧困は総人口の 17.9%にのぼることを明らかにした。

B. ×。グループワークではなくケースワークである。リッチモンドは、「ケースワークの母」と呼ばれる。COS の職員として友愛訪問員活動等の経験を通じて『社会診断』(1917 年)を著し、とりわけ人間の問題をパーソナリティの側面と社会環境の側面からとらえる視点の導入によってケースワークの体系化に貢献した。

C. ○。トインビー・ホールは、1884 年にイギリスのロンドン市の貧民窟イースト・エンドに設立された世界で最初のセツルメントで、現在も多様なボランティア活動を行っている。初代館長バーネットは、セツルメント運動(隣保事業)を「大学人と労働者が自然な交流を通じてお互いに知り合い、社会改良に協同する手段である」と定義した。

D. ○。ケースワークの起源は、1869 年にロンドンに設立された慈善組織協会(COS)である。COS では、「施しではなく友人を」という基本的な姿勢で貧困者を訪問し、貧困者の個別調査も行った。この訪問と調査を友愛訪問活動と称し、後にはケースワークとして結実することになる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 3 我が国の社会福祉の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 昭和 30 年代に社会福祉事業法(現在の社会福祉法)などが制定されて「福祉三法体制」になった。
- 2 昭和 40 年代に棉神薄弱者福祉法(現在の知的障害者福祉法)などが制定されて「福祉六法体制」になった。
- 3 昭和 50 年代に高度経済成長を背景に福祉サービスの基盤整備が完成した。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 4 昭和 60 年代に地方分権が推進されて市町村への措置権移譲が行われた。
- 5 平成年代にいわゆる社会福祉八法の改正が行われ、在宅福祉サービスが積極的に推進されることとなった。

問題 3 正答 5 × × × × ○

1. ×。昭和 30 年代ではなく昭和 20 年代である。福祉三法(昭和 21 年の(旧)生活保護法, 昭和 22 年の児童福祉法, 昭和 24 年の身体障害者福祉法, 昭和 25 年の(新)生活保護法), 昭和 26 年の社会福祉事業法(現・社会福祉法)。
2. ×。昭和 40 年代ではなく昭和 30 年代である。昭和 35 年の精神薄弱者福祉法(知的障害者福祉法)の制定, 昭和 38 年の老人福祉法の制定, 昭和 39 年の母子福祉法の制定により, いわゆる福祉六法体制が確立され, 福祉施策の内容も順次拡大し, 措置制度の範囲も拡大していった。同時期の昭和 36 年には, 国民皆保険, 皆年金体制が確立され, 戦後日本の社会保障制度の成立をみた。
3. ×。「完成」していない。高度経済成長等を背景にした福祉拡充期には, 保育や高齢施設の緊急整備計画, その他の計画等が策定され, これに基づき施設が多数作られたが, 完成されたわけではない。高度経済成長期とは, 1950 年代半ばから 1970 年代初頭までをいう。
4. ×。昭和 60 年代ではなく平成年代である。地方分権とは, 国が持っていた権限や財源を, 県や市町村に移して地域のことは地域で決められるようにすることである。平成 12 年 4 月に地方分権一括法が施行され, これまでの中央集権型行政システムの根幹をなしてきた「機関委任事務制度」の廃止をはじめ, 国の様々な関与が縮減され, 国と地方(都道府県, 市町村)は「対等・協力」の関係のもとに現在も地方分権が推進されている。
5. ○。社会福祉関係八法の改正により, それまでの施設を中心とした社会福祉の枠組みを, 地域や在宅をベースに再構築することが求められた。在宅福祉サービスの発展は, 施設福祉サービスを補完する施策として始まったが, 高齢者福祉における福祉ニーズの拡大や多様化, 昭和 40 年代中頃のコミュニティケア論, 昭和 56 年に始まる国際障害者年を契機とするノーマライゼーション, インテグレーション, 施設の「社会化」といった考え方は, 施設中心主義の処遇から在宅福祉サービスへの積極的な評価と導入をもたらすことになった。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 4 社会福祉財政と費用負担に関する次の記述のうち, 正しいものに○, 誤っているものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 平成 14 年以降の社会保障関係費は, 国歳出の 3 分の 1 を超えている。
- B 「地方分権一括法」により, 国は法定受託事務の費用負担はせず, 地方公共団体とサービス利用者が負担するという新しい社会福祉財政の制度が確立した。
- C 応益負担とは, サービス利用者の負担能力に応じて, 費用を負担させる方法である。
- D 応能負担とは, サービス利用者に対して, 利用した福祉サービスなどの諸経費の一定割合を負担させる方法である。

(注)「地方分権一括法」とは, 「地方分権の推進を図るための法律の整備等に関する法律」である。

(組み合わせ)

A B C D

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 ○ ○ × ○
 2 ○ × × ×
 3 × ○ ○ ×
 4 × × ○ ○
 5 × × ○ ×

問題 4 正答 2○×××

A. ○。平成 17 年度には一般歳出のうち、社会保障関係費は 20 兆 2,240 億円で史上初めて 20 兆円を突破し、社会保障関係費の一般歳出に占める割合は、一般歳出の 43.1%を占めている。次に大きい項目が公共事業関係費 7兆 5,310 億円 (15.9%) であるので、社会保障関係費が群を抜いた支出であるかがわかる。高齢化の進展に伴って社会保障関係費が年々増大し、今後も急速に増加することが見込まれている。

B. ×。法定受託事務は国が費用負担をするので、誤りである。地方分権一括法は、1999 年 7 月に成立し、2000 年 4 月から施行されている。全部で 475 本の関連法案からなる。地方分権一括法にり、機関委任事務(国の機関が地方の機関に指図して、仕事をさせる)が廃止され、かわりに法定受託事務と自治事務という制度を制度を新しく設けた。法定受託事務は、国が地方に委託して事務を行わせるもので、これまでの機関委任事務の性格を受け継ぐものであるが、量・項目数は従来より大幅に少なくなっている。また、自治事務は、自治体が主体となつて行う事務である。

C. ×。応能負担の説明である。応能負担は、負担能力に応じて支払をするので、同じサービスを使っても所得が多い人ほど支払額が多くなる。

D. ×。応益負担の説明である。応益負担は、利用したサービス量に応じた負担方式で、サービスを使った分だけ支払う。現行の介護保険の1割の定率負担がこれにあたる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 5 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 都道府県は、支援費の支給決定を行なう。
 B 身体障害者更生相談所は、身体障害者の経済、教育的及び精神保健学的判断を業務とする。
 C 児童相談所は、その業務として、児童に関する相談、判定などの他に、児童を一時保護する。
 D 市町村社会福祉協議会の事業の一つとして、社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助がある。

(組み合わせ)

- 1 AB
 2 AC
 3 BC
 4 BD
 5 CD

問題 5 正答 5××○○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

A. ×。都道府県ではなく市町村である。支援費制度でサービスを利用するには、市町村における支援費の支給決定およびそれをもとにして指定事業者・施設と契約を結ぶ必要がある。利用者は負担額を指定事業者・施設に支払い、支援費は、指定事業者・施設が利用者に代わって市町村に請求し、利用者に代わって受領する。

B. ×。医学的、心理学的および職能的判定である。身体障害者更生相談所は、市町村が身体障害者に対して更生援護を実施する上での専門的、技術的な相談および判定を担当する行政機関で、①専門的な知識及び技術を要する相談に対する市町村等への助言・指導、②補装具、更生医療や施設利用のための医学的、心理学的および職能的判定、③身体障害者施設入所に係る市町村間の連絡調整、④身体障害者手帳交付業務、⑤その他身体障害者に関する指導相談、などを行っている。

C. ○。児童相談所の業務は、①児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応ずること、②児童およびその家庭につき、必要な調査ならびに医学的、心理学的、教育学的、社会学的および精神保健上の判定を行うこと、③児童およびその保護者につき、②の調査または判定に基づいて必要な指導を行うこと、④児童の一時保護を行うこと、などである。(児童福祉法第12条)

D. ○。社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法に基づいて、全国の市区町村に設置されている民間団体(社会福祉法人)で、居宅介護等サービスを提供するため、自主事業や市町村からの受託等により各種事業を実施している。また、住民へのボランティア活動の参加や援助等も行っている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 6 社会福祉法において社会福祉事業経営者が求められているものに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 収益事業の積極的な実施
- 2 利用契約申し込み時における説明
- 3 利用契約の成立時における書面の交付
- 4 福祉サービスの質の評価
- 5 誇大広告の禁止

問題 6 正答 1×○○○○

1. ×。収益事業の積極的な実施は求められていない。収益事業については、「社会福祉法人は、その経営する社会福祉事業に支障がない限り、公益を目的とする事業(以下「公益事業」という。)又はその収益を社会福祉事業若しくは公益事業(第2条第4項第4号に掲げる事業その他の政令で定めるものに限る。第57条第2号において同じ。)の経営に充てることを目的とする事業(以下「収益事業」という。)を行うことができる。」と規定されている(社会福祉法第26条第1項)。

2. ○。(利用契約の申込み時の説明)「社会福祉事業の経営者は、その提供する福祉サービスの利用を希望する者からの申込みがあつた場合には、その者に対し、当該福祉サービスを利用するための契約の内容及びその履行に関する事項について説明するよう努めなければならない。」と規定されている。(社会福祉法第76条)

3. ○。(利用契約の成立時の書面の交付)「社会福祉事業の経営者は、福祉サービスを利用するための契約(厚生労働省令で定めるものを除く。)が成立したときは、その利用者に対し、遅滞なく、次に掲げる事項を記載した書

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

面を交付しなければならない。」「①当該社会福祉事業の経営者の名称及び主たる事務所の所在地, ①当該社会福祉事業の経営者が提供する福祉サービスの内容, ③当該福祉サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項, ④その他厚生労働省令で定める事項」ときていされている。(社会福祉法第 77 条第 1 項)

4. ○。(福祉サービスの質の向上のための措置等)「社会福祉事業の経営者は, 自らその提供する福祉サービスの質の評価を行うことその他の措置を講ずることにより, 常に福祉サービスを受ける者の立場に立つて良質かつ適切な福祉サービスを提供するよう努めなければならない。」と規定されている。(社会福祉法第 78 条第 1 項)

5. ○。(誇大広告の禁止)「社会福祉事業の経営者は, その提供する福祉サービスについて広告をするときは, 広告された福祉サービスの内容その他の厚生労働省令で定める事項について, 著しく事実に相違する表示をし, 又は実際のものよりも著しく優良であり, 若しくは有利であると人を誤認させるような表示をしてはならない。」と規定されている。(社会福祉法第 79 条)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 7 次の記述のうち, 正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 市町村は保健所を設置しなければならない。
- B 保健所には医師を置かなければならない。
- C 10 人以上の患者を入院させる医療施設を病院という。
- D 看護師は業務独占の資格である。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 7 正答 4×○×○

A. ×。地域保健法に基づき都道府県, 政令指定都市, 中核市その他指定された市または特別区が設置することになっている(地域保健法第 5 条第 1 項)。近年, 市町村保健センター, 福祉事務所などと統合され「福祉保健所」「健康福祉センター」といった名称となっているところもある。

B. ○。「保健所には, 医師, 歯科医師, 薬剤師, 獣医師, 保健師, 助産師, 看護師, 診療放射線技師, 臨床検査技師, 衛生検査技師, 栄養士, 歯科衛生士, 統計技術者その他保健所の業務を行うために必要な者のうち, 当該保健所を設置する法第五条第一項に規定する地方公共団体の長が必要と認める職員を置くものとする。」と規定されている。(地域保健法施行令第 5 条)

C. ×。医療法において, 病院とは入院用ベッド数が 20 以上あるものをいい, 19 以下のものを診療所という。

D. ○。業務独占とは, 資格がなければその業務が行えないことをさす。資格がない状態でその業務を行うと刑罰の対象となる。医師, 看護師, 准看護師, 薬剤師, 診療放射線技師などの医療資格が該当する。一方, 名称独占は, 資格がなくてもその業務が行えるが, 資格がなければその名称を名乗ることができない。理学療法士, 作業

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

療法士, 調理師, 介護福祉士, 社会福祉士, 精神保健福祉士などが該当する。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 8 介護福祉士に関する次の記述のうち, 正しいものに○, 誤っているものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A その専門的な知識, 技術に加えて専門職としての倫理が求められる。
- B その業務には家族介護者に関する指導は含まれていない。
- C 秘密保持義務に違反した場合, 1 年以下の懲役又は 30 万円以下の罰金に処せられる。
- D 自らの業務独占領域を拡張させながら, 専門性を磨いていく必要がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 8 正答 3○×○×

A. ○。「介護福祉士は, 常に専門的知識・技術の研鑽に励むとともに, 豊かな感性と的確な判断力を培い, 深い洞察力をもって専門的サービスの提供に努めます。また, 介護福祉士は, 介護福祉サービスの質的向上に努め, 自己の実施した介護福祉サービスについては, 常に専門職としての責任を負います。」と明記されている。(倫理綱領)

B. ×。家族への介護指導は含まれる。介護福祉士とは, 「第 42 条第 1 項の登録を受け, 介護福祉士の名称を用いて, 専門的知識及び技術をもって, 身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき入浴, 排せつ, 食事その他の介護を行い, 並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うこと(以下「介護等」という。)を業とする者をいう。」と規定されている。(社会福祉士及び介護福祉士法第 2 条第 2 項)

C. ○。(秘密保持義務)「社会福祉士又は介護福祉士は, 正当な理由がなく, その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。社会福祉士又は介護福祉士でなくなった後においても, 同様とする。(社会福祉士及び介護福祉士法第 46 条)」, 「第 46 条の規定に違反した者は, 1 年以下の懲役又は 30 万円以下の罰金に処する。(社会福祉士及び介護福祉士法第 50 条第 1 項)」と規定されている。

D. ×。業務独占ではない。問題 7D の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【老人福祉論】

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 9 我が国の高齢社会の動向に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 2015(平成 27)年には、「団塊世代」と呼ばれる第一次ベビーブーム世代の者が、65歳以上に達する。
- B 平成 16 年の国民生活基礎調査によれば、65 歳以上の者のいる世帯が全世帯に占める割合は、38.6%である。
- C 平成 16 年の合計特殊出生率は、1.50 であった。
- D 平成 17 年版厚生労働白書によれば、2025(平成 37)年には、支援を必要とする認知症高齢者の数は、2002(平成 14)年の約 2 倍となる 300 万人を超えると推計されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 9 正答 2○0×○

- A. ○。戦後生まれのいわゆる「団塊の世代(1947(昭和 22)年～1949(昭和 24)年生まれ)」が 65 歳以上となる 2015 年は、65 歳以上人口が 3,277 万人、高齢化率は 26.0%、75 歳以上人口が 1,574 万人、後期高齢化率は 12.5%となる見通しである。
- B. ○。65 歳以上の者のいる世帯は 1786 万 4 千世帯(全世帯の 38.6%)となっている。世帯構造別にみると、「夫婦のみの世帯」が 525 万 2 千世帯(65 歳以上の者のいる世帯の 29.4%)で最も多く、次いで「三世帯世帯」391 万 9 千世帯(同 21.9%)、「単独世帯」373 万世帯(同 20.9%)の順となっている。
- C. ×。平成 16 年の合計特殊出生率は 1.29 で、平成 15 年と同率となった。昭和 40 年代はほぼ 2.1 台で推移していたが、50 年に 2.00 を下回ってから低下傾向となり、平成 16 年は 1.29 となった(平成 16 年人口動態統計月報年計)。合計特殊出生率とは、1 人の女性が一生の間に平均何人の子供を産むかを示す数値であり、その内容は、①対象:15 歳～40 歳の全女性、②計算方法:15 歳から 40 歳の各年齢ごとの「出生率」を合計する、③出生率:子供の出生数÷女子人口、である。
- D. ○。「支援を必要とする認知症の高齢者も、2002 年の約 150 万人から 2015 年には 250 万人、2025 年には 323 万人と大幅に増加するものと見込まれており、環境変化への適応が困難な認知症高齢者に対応した介護の在り方を考えていく必要性が高まっている」と記述されている。(平成 17 年版厚生労働白書)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 10 平成 14 年度における公的年金制度についての次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 個的年金制度は、各制度間で差異はみられるものの、被保険者概ね 5 人で 1 人の老齢基礎年金又は老齢(退職)年金の受給者を支えていることになる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

B 厚生年金保険の老齢年金受給者(通算老齢年金の受給権者、繰上げ・繰り下げ支給を選択した者等を除く)の平均年金月額、20万円を超えている。

C 老齢基礎年金平均年金月額(繰上げ・繰り下げ支給分を除く)は、5万円を超えている。

D 老齢福祉年金の受給者は年々減少し、10万人を下回るようになった。

(組み合わせ)

1 AB

2 AC

3 AD

4 BD

5 CD

問題 10 正答 5 × × ○ ○

A. ×。「年金扶養比率」(何人の加入者で1人の受給者を支えているか)は、厚生年金が3.17人(1015万人/3214万人)で1人であるが、国家公務員共済は1.81人(61/110)、地方公務員共済は2.16人(147/318)、私学共済は5.60人(8/43)でそれぞれ1人を支えている。

B. ×。20万円は超えていない。平成16年9月現在、厚生年金保険受給者数:21,887,813人(うち老齢給付:17,614,270人)、老齢年金受給者の平均年金月額:169,22円であった。

C. ○。平成16年9月現在、国民年金保険受給者数:22,475,196人(うち老齢給付:20,868,852人)、老齢基礎年金受給者の平均年金月額:52,315円であった。

D. ○。平成16年9月現在、老齢福祉年金受給者数:54,935人、平均年金月額:33,924円である。

●国民年金などの公的年金は、世代と世代が支え合うしくみである。保険料と国庫負担から年金受給者がそれぞれの年金を受け取る。国民年金は不況や経済の変動にも影響されないように発足以来、支給額の物価スライド制の導入や国民年金基金の創設などで制度の充実がはかられ、それを国の施策として保障している。また、支給される基礎年金の3分の1は国庫が負担で、平成21年度までには国庫負担を2分の1に引き上げることが予定されている。

●国民年金から支出される老齢基礎年金は、保険料を全期間納めた場合(20歳から60歳までの40年間)で、平成17年度の支給額は年額794,500円である。年金保険料は性別や年齢、所得に関係なく、平成17年度は定額保険料が13,580円(月額)、付加保険料が定額保険料+400円(月額)である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 11 次の記述のうち、指定訪問介護事業所のサービス提供において、否定することができる正当な理由として、適切なもの組み合わせを一つ選びなさい。

A 新たにサービス利用の申し出があったが、事業所の従業員の現員からサービス提供の余裕がないため、サービスの提供を断った。

B 利用申込者の居住地が遠隔など事業者の通常のサービスの実施区域外であり、サービス提供が困難に思わ

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

れたので、サービスの提供を断った。

C 利用申込者の要介護度が重いため、サービス提供を断った。

D 利用申込者の生活状況から、利用料の支払いが困難と思われたので、サービス提供を断った。

(組み合わせ)

1 AB

2 AC

3 AD

4 BC

5 CD

問題 11 正答 100××

A. ○。(提供拒否の禁止)「指定訪問介護事業者は、正当な理由なく指定訪問介護の提供を拒んではならない。(指定居宅サービス等の事業(訪問介護)運営に関する基準第 9 条)」と規定され、サービス提供困難時の対応として、「指定訪問介護事業者は、当該指定訪問介護事業所の通常の事業の実施地域(当該事業所が通常時に当該サービスを提供する地域をいう。以下同じ。)等を勘案し、利用申込者に対し自ら適切な指定訪問介護を提供することが困難であると認めた場合は、当該利用申込者に係る居宅介護支援事業者への連絡、適当な他の指定訪問介護事業者等の紹介その他の必要な措置を速やかに講じなければならない。(指定居宅サービス等の事業(訪問介護)運営に関する基準第 10 条)」と規定されている。

B. ○。Aの解説を参照のこと。

C. ×。正当な理由にはあたらない。Aの解説を参照のこと。

D. ×。正当な理由にはあたらない。Aの解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 12 介護保険制度における身体拘束の禁止に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 介護保険施設のうち、介護老人福祉施設、介護老人保健施設には身体拘束禁止の規定があるが、医療的なケアが中心である介護療養型医療施設には、その規定が設けられていない。

B やむおえず身体拘束を行なう場合には、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急やもお得不い理由を記録しなければならない。

C ベッドから自分で降りられないように、ベッド柵(サイドレール)で囲むことは身体拘束に当たらない。

D 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつけることは、身体拘束に当たらない。

(組み合わせ)

A B C D

1 ○ ○ × ○

2 ○ × ○ ○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

3 ○ × ○ ×

4 × ○ × ○

5 × ○ × ×

問題 12 正答 5×○××

A. ×。介護保険制度では、以下の介護保険施設等でのサービス提供にあたり、緊急やむを得ぬ場合※を除いて身体拘束等の行動を制限する行為(身体拘束)が禁止されている。①指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、②介護老人保健施設、③指定介護療養型医療施設、④短期入所生活介護事業所、⑤短期入所療養介護事業所、⑥特定施設入所者生活介護事業所、⑦痴呆対応型共同生活介護事業所(痴呆性高齢者グループホーム)。

※緊急やむを得ぬ場合とは、介護保険の運営基準上、利用者または他の利用者等の生命または身体を保護するため、緊急やむを得ない場合には身体拘束が認められているが、3要件(①切迫性、②非代替性、③一時性)を満たし、かつ、それらの要件等の手続きが極めて慎重に実施されているケースに限られる。

B. ○。身体拘束は、人権擁護の観点から問題があるだけではない。高齢者の身体機能を低下させ、人間としての尊厳を侵すなど、高齢者のQOL(生活の質)を根本から損なう危険性があるとされる。介護保険施設等では、緊急やむを得ない場合について、適切な手続きのうえで慎重に判断し、態様、時間、利用者の心身の状況等を適切に記録することが制度上で定められている。

C. ×。厚生労働省の「身体拘束ゼロへの手引き」によれば、身体拘束禁止の対象となる具体的行為とは、①徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る、②転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る、③自分で降りられないように、ベッドを柵(サイドレール)で囲む、④点滴、経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る、⑤点滴、経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける、⑥車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がりたりしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける、⑦立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する、⑧脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣(つなぎ服)を着せる、⑨他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る、⑩行動を落着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる、⑪自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する、である。

D. ×。Cの解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 13 平成17年度の介護保険法の改正に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 介護予防重視の視点から、「予防給付」が新たな給付項目として設けられた。
- 2 介護給付費の増大を抑制するために、これまで1割とされた居宅介護サービスの費用にかかる自己負担は、高額所得者の限って2割とすることになった。
- 3 新たな保険料負担を増やすために、これまで40歳以上とされていた被保険者の範囲が「20歳以上」と改められた。
- 4 介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業及び包括的・継続的マネジメント支援事業等を実施する施設と

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

して、地域包括支援センターが新たに設置されることになった。

- 5 要支援認定について、新たに要支援 1 及び 2 の区分が設けられ、その審査判定は介護支援専門員が行なうことになった。

問題 13 正答 4×××○×

●介護保険法附則第 2 条に基づく改正である。改正の目的は、制度の持続可能性の確保、明るく活力ある超高齢社会の構築、社会保障の総合化を基本的視点として、制度全般について見直しを行うことである。

●①予防重視型システムへの転換(新予防給付の創設、地域支援事業の創設)、②施設給付の見直し(居住費・食費の見直し、低所得者に対する配慮)、③新たなサービス体系の確立(地域密着型サービスの創設、地域包括支援センターの創設、居住系サービスの充実)、④サービスの質の確保・向上(情報開示の標準化、事業者規制の見直し、ケアマネジメントの見直し)、⑤負担の在り方・制度運営の見直し(第1号保険料の見直し、要介護認定の見直し、市町村の保険者機能の強化)、⑥被保険者・受給者の範囲、⑦その他(「痴呆」の名称を「認知症」へ変更、養護老人ホーム・在宅介護支援センターに係る規定の見直し、社会福祉施設職員等退職手当共済制度の見直し)で、施行期日は 2006 年 4 月 1 日(一部は 2005 年 10 月)である。

1. ×。2. ×。3. ×。4. ○。5. ×。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 14 指定介護老人福祉施設の介護に関する事故についての次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 事故が発生した場合には、速やかに家族に連絡をとり必要な措置を講じる他、都道府県に報告しなければならない。
- B 事故の状況及び事故に際して採った処置についての記録は、その記録の完結の日から 2 年間保管しなければならない。
- C 事故が発生した場合などの対応について、あらかじめ事故防止、対応マニュアル等を施設で定めて周知しておくことが望ましい。
- D 事故によって賠償すべき事態が生じる場合に備えて、介護職員は個人で損害賠償保険に加入しなければならない。

(組み合わせ)

- 1 AB
2 AC
3 AD
4 BC
5 BD

問題 14 正答 4×○○×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

A. ×。都道府県ではなく市町村である。「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」によれば、事故発生時の対応では、「指定介護老人福祉施設は、入所者に対する指定介護福祉施設サービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、入所者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じなければならない。(第35条第1項)」、「指定介護老人福祉施設は、前項の事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しなければならない。(第35条第2項)」、「指定介護老人福祉施設は、入所者に対する指定介護福祉施設サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行わなければならない。(第35条第3項)」と規定されている。

B. ○。平成12年の「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準について」によれば、記録の整備として、「基準省令第37条により、指定介護老人福祉施設は、少なくとも次に掲げる記録をその完結の日から2年間備えておかなければならないこととしたものであること。(1)指定介護福祉施設サービスに関する記録<①施設サービス計画書、②健康管理の記録等、その提供した指定介護福祉施設サービスに係る記録、③緊急やむを得ない場合に行った身体的拘束等に関する記録>、(2)基準省令第20条に係る市町村への通知に係る記録」と明記されている。

C. ○。平成12年の「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準について」によれば、事故発生時の対応においては、「基準省令第35条は、入所者が安心して指定介護福祉施設サービスの提供を受けられるよう、指定介護老人福祉施設は、入所者に対する指定介護福祉施設サービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、当該入所者の家族等に対して連絡を行う等の必要な措置を講じるべきこととするともに、入所者に対する指定介護福祉施設サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行わなければならないこととしたものである。このほか、以下の点に留意するものとする。①入所者に対する指定介護福祉施設サービスの提供により事故が発生した場合の対応方法については、あらかじめ指定介護老人福祉施設が定めておくことが望ましいこと、②指定介護老人福祉施設は、賠償すべき事態において速やかに賠償を行うため、損害賠償保険に加入しておくか、又は賠償資力を有することが望ましいこと、③指定介護老人福祉施設は、事故が生じた際にはその原因を解明し、再発生を防ぐための対策を講じること、」と明記されている。

D. ×。指定介護老人福祉施設が損害賠償保険に加入する。Cの解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 15 介護保険制度における指定認知症対応型共同生活介護事業に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 管理者は、認知症高齢者介護にかかわる所定の研修を終了していなくてはならない。
- B 当該事業所は、5つまでの共同生活住居を有することが認められている。
- C 事業者は、自ら提供する介護の質の評価を行なうとともに、定期的に外部の者による評価を受けて、常にその改善を図らなければならないとされている。
- D 利用者の食事その他家事等は、原則として利用者と介護従事者が共同で行なうよう努めるものとされている。

(組み合わせ)

A B C D

1 ○ ○ × ×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 2 ○ × ○ ○
 3 ○ × ○ ×
 4 × ○ ○ ○
 5 × ○ × ○

問題 15 正答 2○×○○

A. ○。「管理者は、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、老人保健施設等の職員又は訪問介護員等として、3年以上痴呆性高齢者の介護に従事した経験を有する者等適切な指定痴呆対応型共同生活介護を提供するために必要な知識及び経験を有する者であることが必要である。さらに、管理者としての資質を確保するために関連する研修等を受講することが望ましい。」また、「計画作成担当者としての資質を確保するために関連する研修等を受講することが望ましい。」(平成12年1月31日「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準について」の一部改正について)

B. ×。5ではなく2ユニット以内である。「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」に定められた設備に関する基準は以下の通りである。

「第159条 指定認知症対応型共同生活介護事業所は、共同生活住居を有するものとし、その数は1又は2とする。

2 共同生活住居は、その入居定員を5人以上9人以下とし、居室、居間、食堂、台所、浴室その他利用者が日常生活を営む上で必要な設備を設けるものとする。

3 1の居室の定員は、1人とする。ただし、利用者の処遇上必要と認められる場合は、2人とすることができるものとする。

4 1の居室の床面積は、7.43平方メートル以上としなければならない。

5 居間及び食堂は、同一の場所とすることができる。」

C. ○。「指定認知症対応型共同生活介護事業者は、自らその提供する指定認知症対応型共同生活介護の質の評価を行うとともに、定期的に外部の者による評価を受けて、常にその改善を図らなければならない。」と規定されている。(「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」第163条第7項)

D. ○。「利用者の食事その他の家事等は、原則として利用者と介護従業者が共同で行うよう努めるものとする。」と規定されている。(「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」第165条第3項)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 16 老人保健法による老人医療の支給に関する次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

老人医療の対象者は、必ずいずれかの【A】に加入していることが必要となる。また年齢要件は、平成14年の老人保健法の改正により、原則として受給対象年齢が【B】に引き上げられた。さらに、老人医療を受ける者には、【C】に一部自己負担金が生じることになった。

(組み合わせ)

A B C

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 年金保険・・・70歳・・・2割あるいは3割
- 2 年金保険・・・75歳・・・1割あるいは2割
- 3 医療保険・・・70歳・・・2割あるいは3割
- 4 医療保険・・・75歳・・・2割あるいは3割
- 5 医療保険・・・75歳・・・1割あるいは2割

問題 16 正答 5××××○

A. 医療保険。B. 75歳。C. 1割あるいは2割

●老人保健法による老人医療制度は、平成14年10月1日から大幅に改正され、窓口での支払いは、それまでの定額制から医療費の1割(一定以上所得者は2割)を負担することになった。ただし、外来や入院によって、限度額が設けられて、医療費の自己負担額が高額になって過払いの場合は、後日、申請することによって老人保健から払い戻される(高額療養費制度)。老人保健法の医療を受けることができるのは、医療保険の加入者のうち、75歳以上(一定の経過措置がある)、65歳以上75歳未満で、あらかじめ寝たきり等の状態であると認定された場合である。老人保健法の対象者は、一部負担を除く医療費について全額公費で負担される。なお、他の法令により医療に関する給付を受けることができる疾病や労働災害等については、老人保健法の医療を受けることができない。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 17 高齢社会白書(平成17年度版)による次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高齢者の中で約8割の人は、何らかのグループ活動(健康・スポーツ、趣味、地域行事)に参加している。
- B 後期高齢者は、前期高齢者に比較して自分から積極的に外出する割合は低いが、約5割の人は積極的に外出している。
- C 高齢者世帯のうち、現在の暮らしについて「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した世帯は、5割弱である。
- D いわゆる「オレオレ詐欺」事件の平成16年中の刑法犯認知件数は約14,500件であるが、65歳以上の被害者が4分の1をやや上回っている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問題 17 正答 3×○○○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- A. ×。8割でなく5割強である。高齢者のグループ活動への参加状況では、54.8%が何らかのグループ活動に参加している。具体的な活動では、「健康・スポーツ」25.3%、「趣味」24.8%、「地域行事」19.6%、「生活環境改善」9.1%の順である。
- B. ○。高齢者の外出状況では、「自分から積極的に外出する方である」が60.2%、「家族や他人から誘われたり、仲間がいれば外出する方である」が21.8%である。年齢階級別では、75歳以上の後期高齢者は、65～74歳の前期高齢者と比べ「自分から積極的に外出する方である」の割合が50.8%と低く、「外出することはほとんどない」は13.2%で高くなっている。
- C. ○。高齢者世帯における生活意識では、「大変苦しい19.7%」と「やや苦しい27.9%」を合わせると47.6%である。
- D. ○。高齢者と犯罪、災害に関して、65歳以上の高齢者の犯罪による被害の状況でにおいて、刑法犯被害認知件数では、平成15(2003)年は22万3,720件(全被害認知件数の9.3%)であった。また、「振り込め詐欺」事件のうちいわゆる「オレオレ詐欺」事件の平成16年中の認知件数は14,459件で、65歳以上の被害者が26.5%となっている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題18 「今後5か年間の高齢者保健福祉施策の方向(ゴールドプラン21)」によって推進された施策に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 いつでもどこでも介護サービスが利用できるように、「介護サービス基盤の整備」が推進された。
- 2 増え続ける施設待機者の解消のために、「緊急施設整備倍増計画」が推進された。
- 3 将来的に自立高齢者の割合を9割程度に引き上げることを目指して、元気高齢者づくりを推進する「ヤング・オールド作戦」が進められた。
- 4 利用者が安心して介護サービスを適切に選択し、利用できるような環境づくりを進めるために、「利用者保護と信頼できる介護サービスの育成」が推進された。
- 5 住民相互の支え合いを基本に置いた支え合うあたたかな地域づくりを目指して、「地域生活支援体制の整備」が推進された。

問題18 正答 2○×○○○

1. ○。下記の解説を参照のこと。
2. ×。「緊急施設整備倍増計画」という計画はない。可能な限り在宅で自立した日常生活が営めるよう、在宅サービスを重視するとともに、必要な施設整備に努めるのが施策の方向であった。
3. ○。下記の解説を参照のこと。
4. ○。下記の解説を参照のこと。
5. ○。下記の解説を参照のこと。

●平成12年度から平成16年度までの5か年で介護サービス基盤の整備と生活支援対策等を車の両輪として実施する観点から、以下の事業の適切な実施に努力し、また、地方公共団体の自主事業を支援するとした。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- (1)介護サービス基盤の整備(「いつでもどこでも介護サービス」, ①人材確保と研修強化, ②介護関連施設の整備, ③施設処遇の質的改善)
- (2)痴呆性高齢者支援対策の推進(「高齢者が尊厳を保ちながら暮らせる社会づくり」, ①痴呆性老人グループホームの整備, ②痴呆介護の質的向上, ③権利擁護体制の充実)
- (3)元気高齢者づくり対策の推進(「ヤング・オールド作戦」の推進, ①総合的な疾病管理の推進, ②地域リハビリテーション体制の整備, ③生きがい, 介護予防, 社会参加の推進)
- (4)地域生活支援体制の整備(「支え合うあたたかな地域づくり」, ①あたたかな地域社会づくりの支援, ②生活支援サービスの充実, ③居住環境等の整備)
- (5)利用者保護と信頼できる介護サービスの育成(「安心して選べるサービスづくり」, ①情報化と利用者保護の推進, ②多様な事業者の参入促進, ③福祉用具の開発・普及, (6)高齢者の保健福祉を支える社会的基礎の確立(「保健福祉を支える基礎づくり」, ①長寿科学の推進, ②福祉教育の推進, ③国際交流の推進)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【障害者福祉論】

問題 19 次の記述のうち, 正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国連の障害者の権利に関する宣言は, 国際障害者年に決議された。
- 2 我が国において, 発達障害に関する法的定義はない。
- 3 身体障害, 知的障害, 精神障害に関するいずれの手帳にも, 本人の顔写真添付欄がある。
- 4 平成 17 年版障害者白書によれば, 国民の約 5%がなんらかの障害を有している。
- 5 平成 13 年の身体障害児・者実態調査によれば, 在宅の身体障害者の約 20%は 65 歳以上である。

問題 19 正答 4 × × × ○ ×

1. ×。国連の「障害者の権利に関する宣言」は 1975 年に決議され, 国際障害者年は 1981 年であるので, 誤りである。国連総会によって採択された障害者に関する諸決議は, 1971 年の「精神遅滞者(知的障害者)の権利に関する宣言, 1975 年の「障害者の権利に関する宣言」, 1980 年「国際障害者年行動計画」, 1981 年の国際障害者年, 1982 年の「障害者に関する世界行動計画」, 1992 年の「国際障害者デー」, 1993 年の「障害をもつ人びとの機会均等化に関する基準原則」, などである。
2. ×。定義はある。2004 年に制定された「発達障害支援法」において「発達障害」とは, 「自閉症, アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害, 学習障害, 注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害」と定義されている。
3. ×。国家試験実施日現在, 精神障害者保健福祉手帳には写真の貼付はない。身体障害者手帳(身体障害者(児)が対象)および療育手帳(知的障害者(児)が対象)には顔写真は貼付されているが, 現在, 精神障害者保健福祉手帳精神障害者には顔写真は貼付されていない。今後, 障害者自立支援法に伴い精神障害者保健福祉手帳に身体障害者手帳などと同様に写真が貼り付けられる予定である(省令による)。
4. ○。障害者数は, 身体障害者 351.6 万人(人口千人当たり 28 人), 知的障害者 45.9 万人(同4人), 精神障害

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

者 258.4 万人(同 21 人)であり、およそ国民の5%が何らかの障害を有している。(平成 17 年版障害者白書)

5. ×。20%ではなく60%である。全国の18歳以上の身体障害者数(在宅)は、3,245,000人と推計される。65歳～69歳(522千人, 16.1%), 70歳～(1,482千人, 45.7%)である。(平成13年身体障害児・者実態調査結果)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 20 新たな障害者基本計画及び新障害者プランに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新たな障害者基本計画及び新障害者プランは、平成8年度から開始された。
- B 新たな障害者基本計画は、リハビリテーション及びノーマライゼーションの理念を継承するとともに、共生社会の実現を目指している。
- C 新障害者プランは、ノーマライゼーション7か年戦略と呼ばれている。
- D 新たな障害者基本計画の計画期間は、10年である。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 BD

問題 20 正答 5×○×○

A. ×。平成8年ではなく平成13年である。旧障害者基本計画(障害者対策に関する新長期計画)及び障害者プランが平成14年度に最終年度を迎え、平成15年度を初年度とする新障害者基本計画(10年間)及びその重点施策実施5か年計画(新障害者プラン, 前期5年間)が、平成14年12月24日に策定された。

B. ○。「新障害者基本計画は、現行の障害者基本計画における「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」の理念を継承するとともに、障害の有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現を目指している。」と明記されている。

C. ×。「ノーマライゼーション7か年戦略」と呼ばれていたのは旧障害者プランである。「新障害者プラン」の正式名称は「重点施策実施5か年計画」である。

D. ○。「新障害者プラン」は、新障害者基本計画に基づき、その前期5年間(平成15年度から平成19年度)において、重点的に実施する施策及びその達成目標等を定めたものであり、平成14年12月24日、障害者施策推進本部において決定された。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 21 障害者福祉サービスに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 補装具の給付は、支援費制度の移行している。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- B 平成 16 年の障害者基本法の改正により、市町村障害者計画の策定が義務づけられることとなった。
 C 精神障害者居宅介護事業の実施主体は、市町村(特別区を含む)である。
 D 知的障害者援護施設には、通所形態はない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 21 正答は 3×○○×であるが、筆者は 3&4 が正答と考える(B が不適切である)

A. ×。補装具の交付や修理、育成医療・更生医療の給付、日常生活用具の給付、住宅設備の改良費補助などのサービスは支援費制度には移行していない。身体障害者福祉法および児童福祉法による補装具給付の目的は、身体障害者および身体障害児の日常生活や社会生活(職業生活)の便宜を図るために、その援護として失われた身体機能を補うことにある。介護保険の対象になる場合は、介護保険サービスが優先する。

B. ○or×。平成 16 年 6 月 4 日に障害者基本法が改正され、都道府県障害者計画の策定が義務化されるとともに、市町村障害者計画についても、平成 19 年 4 月 1 日に策定が義務化されることとなった。しかし、現在「都道府県障害者計画」の策定は努力義務から義務規定に改定されたが、「市町村障害者計画」の策定は努力規定のままである(障害者基本法第 9 条第 3 項)。疑義を残す設問である。

C. ○。精神障害者居宅生活支援事業は 3 つの事業である①ホームヘルプサービス(精神障害者居宅介護等事業)、②ショートステイ(精神障害者短期入所事業)、③グループホーム(精神障害者地域生活援助事業)をいう。実施主体は市町村であり、運営主体は市町村社会福祉協議会、社会福祉法人、医療法人等である。

D. ×。通所形態もある。知的障害者援護施設には、①知的障害者更生施設(18 歳以上の知的障害者を入所・通所)、②知的障害者授産施設(18 歳以上の知的障害者を入所・通所)、③知的障害者通所寮(入所)、④知的障害者福祉ホーム(入所)の 4 種類の施設がある。(知的障害者福祉法第 21 条の 6、第 21 条の 7、第 21 条の 8、第 21 条の 9)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 22 平成 16 年に改正された障害者基本法第 1 条の空欄 A, B, C に該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

この法律は、障害者の【A】及び【B】の支援等のための施策に関し、基本理念を定め、及び国、地方公共団体の責務を明らかにするとともに、障害者の【A】及び【B】の支援費等のための施策を総合的かつ計画的に推進し、もって障害者の【C】を増進することを目的とする。

(組み合わせ)

	A	B	C

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 日常生活……社会生活……福祉
- 2 日常生活……社会生活……安心と安全
- 3 自立……社会参加……安心と安全
- 4 自立……社会生活……福祉
- 5 自立……社会参加……福祉

問題 22 正答 5 × × × × ○

A. 自立。B. 社会参加。C. 福祉。

●「自立及び社会参加の支援等の」の文言が 3 か所追加された。「自立と社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動への参加を促進することことを目的とする」が「福祉を増進することを目的とする」に改定された。

●改正の趣旨は、最近の障害者を取り巻く社会経済情勢の変化等に対応し、障害者の自立と社会参加の一層の促進を図るため、基本的理念として障害者に対して障害を理由として差別その他の権利利益を侵害する行為をしてはならない旨を規定し、都道府県および市町村に障害者のための施策に関する基本的な計画の策定を義務化、中央障害者施策推進協議会を創設する等の改正を行うものとするのであった。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【リハビリテーション論】

問題 23 次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 身体障害を伴わない知的障害者は、リハビリテーションの対象ではない。
- 2 リハビリテーションは、障害が固定してから開始される。
- 3 国際生活機能分類(ICF)の環境因子には、人々の社会的な態度による環境のもつ影響力が含まれる。
- 4 アメリカの自立生活運動は、知的障害者の親の活動として出発した。
- 5 自立生活プログラムは、援助を受けずに生活することを目的としている。

問題 23 正答 3 × × ○ × ×

1. ×。リハビリテーションは、身体的な機能回復訓練のみにとどまらず、精神的、職業的な復帰訓練も含まれる。リハビリテーションとは、いろいろな障害を持った人々に対し、その障害を可能な限り回復治癒させ、残された能力を最大限に高め、身体的・精神的・社会的にできる限り自立した生活が送れるように援助することである。
2. ×。脳卒中の場合においては、急性期、回復期、維持期にわたり、一貫した流れでリハビリテーションを行うことが勧められている。急性期リハビリテーションでは、発症直後からベッドサイドで開始され、廃用症候群の予防と早期の自立を目標として実施される。
3. ○。WHOの分類は、以前は、「国際障害分類(ICIDH:International Classification of Impairments, Disabilities, and Handicaps)」という名称で、「障害」について取り扱われていたが、2001年に大幅に改訂され、「人の健康のすべての側面と、安寧(well-being)のうち健康に関連する構成要素のいくつかを扱う」という分類となった。すなわち、

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

すべての人の健康に関する側面を捉える道具となり、名称も「国際生活機能分類(ICF:International Classification of Functioning, Disability and Health)」となった。環境因子(environmental factors)とは、人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子のことである。

4. ×。知的障害者の親の活動として出発したのはノーマライゼーションである。IL 運動は、1970 年代初めにアメリカのカリフォルニア大学バークレー校で障害を持つ学生ロバーツが運動を始め、めざましい進展をとげ、その後世界各国で精力的に取り組まれてきた。

5. ×。自立生活プログラムの目的は、「必要な援助や介護を受けての自立」、いわゆる「依存の自立」である。当事者の選択と自己決定を「自立」の中心的な価値と位置づけ、全面的介助を受けていても、人格的には自立していると考ええる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 24 廃用症候群に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 生活が不活発にことによっても生じる。
- B 心身機能の全般的な低下を生じる。
- C 認知症に似た症状が生じることもある。
- D いったん生じると改善できない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 24 正答 1○○○×

A. ○。使わないこと(廃用)によって様々な身体的・精神的機能低下が生じるが、その一連の症状を廃用症候群という。廃用症候群は生活全般の不活発化によってもたらされる。

B. ○。長時間、長期間、体を動かさなくなると、筋肉がやせて動きがわるくなるばかりでなく、全身の内臓にも影響が出てくる。

C. ○。精神系の症状では、痴呆、抑うつなどがある。症状は多様であるが、筋力低下、筋萎縮、拘縮、骨粗鬆症・骨折などの局所的廃用によるもの、心・肺機能低下などの全身的廃用によるもの、起立性低血圧などの臥位・低重力によるもの、知的活動低下などの感覚・運動刺激の欠乏によるものなどがあるが、同時に、相互に影響している。

D. ×。廃用症候群にかかっても、リハビリなどで改善できる。あきらめないことが大切である。健康な人であっても、安静による筋力低下は、1週間で20%、2週間で40%、3週間で60%になり、回復のためには、1週間の安静

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

による体力低下には 1 か月はかかるといわれている。高齢者が、筋肉を全く使わないでいると、1 日に 3~5% ずつ筋力が低下し、寝たきりの生活を 1 か月も送るほとんどは歩けなくなってしまう。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 25 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護福祉士は、その業務を行うに当たり、医師その他の医療関係者と連携を保たなければならないと法定されている。
- B リハビリテーション専門職には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などがある。
- C 介護保険制度における訪問リハビリテーション計画は、医師及び理学療法士、作業療法士又は介護福祉士が作成しなければならない。
- D 福祉用具の活用については、理学療法士や作業療法士等の専門職の助言を得ることが望ましい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問題 25 正答 1○○×○

- A. ○。(連携)「社会福祉士及び介護福祉士は、その業務を行うに当たっては、医師その他の医療関係者との連携を保たなければならない。」と規定されている。(社会福祉士及び介護福祉士法第 47 条)
- B. ○。医師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、看護婦、ケースワーカー、ソーシャルワーカー、義肢装具士、臨床心理士、メディカルエンジニアなどの専門職によりリハビリテーションチームが組織され、社会復帰のため多面的かつ系統的なアプローチが実施されることが望まれている。
- C. ×。「訪問リハビリテーション計画」ではなく、通所リハビリテーション計画である。(通所リハビリテーション計画の作成)「医師及び理学療法士、作業療法士その他専ら指定通所リハビリテーションの提供に当たる通所リハビリテーション従業者(以下「医師等の従業者」という。)は、診療又は運動機能検査、作業能力検査等を基に、共同して、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、リハビリテーションの目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載した通所リハビリテーション計画を作成しなければならない。」と規定されている(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準第 115 条第 1 項)。
- D. ○。介護保険法第 7 条第 17 項、第 44 条、56 条において、福祉用具貸与とは「居宅要介護者等に行われる福祉用具のうち、厚生労働大臣が定めるものの貸与」とされ、福祉用具の購入費支給とは「入浴または排せつの用に供する福祉用具その他の厚生労働大臣が定める福祉用具(特定福祉用具)購入費支給」とされている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 26 リハビリテーションに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 地域リハビリテーション(Community Based Rehabilitation)は、途上国において実施されるリハビリテーションの方法であり、我が国では実施されていない。

B リハビリテーションの援助プロセスには、相談、情報収集、事前評価、リハビリテーション計画の作成、実施、事後評価、終結がある。

C 介護保険制度では、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションは、居宅サービスに位置づけられている。

D リハビリテーションの分野として、医学、教育、職業、社会などがある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問題 26 正答 4×○○○

A. ×。日本でも実施されている。2001年10月の日本リハビリテーション病院・施設協会において、「地域リハビリテーションとは、障害のある人や高齢者およびその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、いきいきとした生活が送れるよう、医療や保健、福祉および生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてをいう」と定義されている。国や県の積極的な参加が不可欠であり、多くの専門家による組織を構成して遂行する必要性があり、平成10年には「地域リハビリテーション推進事業」が実施されている。英語ではCBR(Community based rehabilitation, 地域にねざしたリハビリテーション)とも呼ばれている。

B. ○。リハビリテーションプロセスは、利用者の面接、アセスメント(事前評価)を経て個々のニーズに沿ったリハビリテーション計画をプランニングし、実践的な個別支援計画にもとづいて適切な支援プログラムを展開し、モニタリング(事後評価)、終結に至る。各専門職は必要な適応訓練を行い、利用者の自立・社会復帰への支援を行う。

C. ○。居宅サービスとは、①訪問介護(ホームヘルプサービス、入浴や排泄の介護や食事の支度など)、②訪問入浴介護(簡易浴槽を積んだ訪問入浴車により利用者の自宅を訪問する入浴介護)、③訪問看護(看護師等が自宅を訪問して医師と連絡を取りながら行う療養上の世話や診療の補助)、④訪問リハビリテーション(理学療法士等の機能訓練の専門家が自宅を訪問して行う心身機能の維持や回復のためのリハビリテーション)、⑤居宅療養管理指導(在宅で療養をしている人のもとへ、医師・薬剤師等が訪問して行う療養上の指導や助言)、⑥福祉用具貸与、などである。

D. ○。リハビリテーション体系の4分野は、①医学的リハビリテーション(潜在能力に働きかけて自然治癒を積極的に促進させる技術)、②教育的リハビリテーション(障害児教育)、③職業的リハビリテーション(就職就労とその

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

サービス), ④社会的リハビリテーション(社会資源の活用を含むケースワーク)である。これらは, 有機的に運営され, 利用者のために資するものでなければならないし, 総合的に計画され, 企画段階から, 当事者が参画できるような枠組みが必要とされる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【社会福祉援助技術(演習を含む。)]

問題 27 次の文章は, 日本介護福祉会倫理綱領からの抜粋である。空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして, 正しいものを一つ選びなさい。

- ・介護福祉士は, すべての人々の基本的人権を擁護し, 一人ひとりの住民が心豊かな暮らしと老後が送れるよう利用者本位の立場から自己決定を最大限・重し, 【A】に向けた介護サービスを提供していきます。
- ・介護福祉士は, 暮らしを支える視点から利用者の真のニーズを受けとめ, それを【B】していくことも重要な役割であると確認したうえで, 考え, 行動します。
- ・介護福祉士は, 利用者に最適なサービスを総合的に提供していくため, 福祉, 医療, 保健その他関連する業務に従事する者と積極的な【C】を図り, 協力して行動します。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	自立……代弁……連携		
2	自立……保障……連携		
3	共生……代弁……調整		
4	共生……保障……連携		
5	共生……保障……調整		

問題 27 正答 1〇××××

A. 自立。B. 代弁。C. 連携。

●Aは「利用者本位, 自立支援」, B「利用者ニーズの代弁」は, Cは「総合的サービスの提供と積極的な連携, 協力」という項目に記載されている。他に, 「専門的サービスの提供」, 「プライバシーの保護」, 「地域福祉の推進」, 「後継者の育成」があり, 全部で7項目が日本介護福祉士会倫理綱領で定められている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 28 次の記述のうち, バイステック(Biestek,F.)の七つの原則として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 秘密保持の原則
- 2 個別化の原則
- 3 受容の原則
- 4 クライアントとの協働の原則

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

5 意図的な感情表出の原則

問題 28 正答 4〇〇〇×〇

1. 〇。2. 〇。3. 〇。4. ×。5. 〇。

●バISTEKKは、1957年に『ケースワークの原則』を著した。バISTEKKのケースワークの7原則とは、利用者と援助者がよりよい信頼関係を形成するために、援助者に求められる基本原則のことである。①個別化、②自己決定、③受容、④非審判的態度、⑤秘密保持、⑥統制された情緒関与、⑦意図的な感情表出、が示されている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 29 面接に関する次の記述のうち、適切なものに〇、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 面接技法が用いられるのは、直接援助技術に限られる。
- B 面接は、援助者を利用者の対等な関係を基本とする。
- C 面接技法としては、言語的なコミュニケーションとともに、非言語的なコミュニケーションも重視する。
- D 面接場所は、面接室で行なうのが適切であり、利用者の生活の場での面接は適切ではない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	〇	〇	×	〇
2	〇	×	×	×
3	×	〇	〇	×
4	×	〇	×	×
5	×	×	〇	〇

問題 29 正答 3×〇〇×

A. ×。間接援助技術であるコミュニティワークにおいては、面接や懇談による意見聴取も大切な要件となる。ことに住民参加を基本とする地域福祉では重要な動機づけの機会となる。

B. 〇。援助者を利用者の対等な関係を基本とするが、面接とは単なる会話でなく、目的を持った会話で、専門的な会話であり、利用者の問題やニーズを明らかにし、必要な情報を得るなど、ケースワークを進める上で重要な手段となるものである。

C. 〇。「非言語的なコミュニケーション」は、表情、うなずき、耳を傾けて聴く、向かい合った姿勢、視線を合わせる、手振りなど言語以外の側面でのコミュニケーションをさし、相手の感情や状況を理解し、互いの意思疎通を図る重要な手段である。

D. ×。適切である。面接には、施設や機関での面接、家庭訪問や生活場面面接などがある。生活場面面接は、施設の庭を歩きながら行ったり、施設の居室を使用したりする。堅苦しい雰囲気をもたず、何気ない話が、意外と利用者に気持ちの負担をかけずに、よい結果をもたらすことがある。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 30 アセスメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の抱える生活問題だけでなく、その人の自助能力にも目を向ける。
- B 家族や友人、近隣、専門家から利用者に関する情報を収集する時は、あらかじめ利用者の了解をとっておくことが重要である。
- C 利用者を取り巻く人間関係や組織、機関との関係性を視覚的に把握・理解する方法としてエコ・マップを作成する。
- D アセスメントは、援助者が行なうものであり、利用者の意向を反映する必要はない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 30 正答 1○○○×

- A. ○。アセスメントは、伝統的ケースワークでは社会診断と呼ばれていた。問題を全般的に把握し、今後の援助方針や計画を立てる過程である。解決すべき問題とその経過や現状、身体的・心理的・社会的状況、精神的問題、問題解決に対する当事者の家族や対処能力、キーパーソンなどを総合的に評価する。
- B. ○。情報収集の方法は、最も重要な情報は利用者本人から収集することである。問題によっては、周囲から情報収集する場合もあるが、本人の了解を得て、プライバシーを侵害しないように細心の注意が必要である。
- C. ○。エコマップの考案者は、ハルトマンで、1978年の論文「家族関係性の診断的アセスメント」で提唱した。ネットワーク図、社会関係図ともいわれ、関係のあり方が線の種類や文字などにより記述され、問題状況が一目で把握できる。アセスメントやプランニングで効果的に用いられる。
- D. ×。利用者と援助者はパートナーシップに基づいて双方で共同して実施されるものである。アセスメントは、利用者が直面している問題や状況を理解し、認識するために、援助活動に先だって行われる手続きで、事前評価ともいう。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 31 ケアマネジメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A アセスメント、ケアプランの作成、ケアプランの実施、モニタリングなどの一連の過程で構成される。
- B サービスの調整は、フォーマルなサービスに限られる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- C ケアカンファレンスにおいて、ケアマネジャーは、メンバーの役割調整も行なう。
D ケアプランの作成は、利用者及びその家族との協働作業によって進められる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 31 正答 3○×○○

A. ○。ケアマネジメント実施の過程は、①利用者の確認が行われ、次に②利用者に必要なニーズのアセスメントが行われる。この過程で、利用者の生活全般にわたる情報が把握される。集められた情報をもとに、③利用者の意向を踏まえてケア計画が作成される。次いで、④ケア計画の実施とモニタリング、⑤実施効果の評価が行われ、ニーズの変化に伴って再アセスメントが必要な場合には②に戻る。これらの過程を経てケア計画の目的が達せられたとき、ケアマネジメントは⑥終了する。

B. ×。フォーマルおよびインフォーマルなサービスである。ケアマネジメントは、地域の中で、サービスを提供する際に、利用者の生活全般にわたるニーズと、公私にわたるさまざまな社会資源との間に立って、複数のサービスを適切に結びつけ、調整をはかりつつ、包括的かつ継続的にサービス供給を確保する機能とされている。

C. ○。今後、ケアマネジャーが、医療ニーズが極めて高い重度者のケアマネジメントを担っていく流れにある中で、ケアカンファレンスを中心に他職種とのチームケア、特に地域医療との連携が強く求められる。しかし、ケアカンファレンスを開催したくても主治医との調整がうまく図れず、サービス担当者会議を開催できずにいるのが多くのケアマネジャーの現状であるといわれる。

D. ○。利用者・家族などがケアプラン作成過程に参加するのは、ケアプラン作成の基本原則である。利用者・家族と話し合いのうえ作成されたケアプランは最終的に利用者(必要に応じて家族又は利用者が信頼する人)の同意を得る。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(社会福祉援助技術(演習を含む。)・事例問題)

次の介護老人福祉施設の事例を読んで、問題 32 から問題 34 までについて答えなさい。

[事例](以下、名前はすべて仮名である。)

鈴木圭子さん(介護福祉士・勤務して3年目。以下、「鈴木職員」という。)は、介護福祉士としての使命感や責任感が強く、仕事熱心で、几帳面な性格である。鈴木職員は、ほぼ同時期の入所者を対象に、仲間できりと施設への適応を目標とするグループワークを企画した。しかし、当初からグループワークは思うように展開はせず、鈴木職員からの申し出を受け、途中から他の職員が引き継ぐことになった。一方、事態の変化に気づいた加藤主任(スー

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

パーバイザー兼任)は、グループのメンバーから、「鈴木さんは、私達に対する期待や要求が高かったのかな……。話し合いの時に、沈黙が続くと急にイライラはじめて、場の雰囲気が重苦しい感じになって……。したら、突然交替してしまって……。近頃は、挨拶しても、元気がない様子だし……。」等々の話を聞き出すことができた。

加藤主任が、早速面接をしてみると、鈴木職員は、「きっかけは、自分の中で理想的なグループの運営と援助目標を意識しすぎせいかもしれない……。今は、みんなに迷惑かけて申し訳なかったという気持ちで一杯……。仕事に対する自分の思い上がりと力量のなさが悔やまれます。最近、この仕事が自分には向いていないのではないかと考え込んでしまって……。何事に対しても意欲がわかないし……。夜も良く眠れない状態で……。」とためらいがちに涙を浮かべて語り始めた。

問題 32 鈴木職員と面接する際の、加藤主任のスーパーバイザーとしての初期対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「うなずき」や「あいずち」を入れながら傾聴する。
- B 表情や声のトーンの変化を観察する。
- C メンバーからの話を伝えて反省を促す。
- D 頑張れば大丈夫と励ます。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 32 正答 2○0××

- A. ○。「非言語的なコミュニケーション」(ノンバーバル・コミュニケーション)をまじえて傾聴するのは適切である。「非言語的なコミュニケーション」は、言語以外の側面でのコミュニケーションをさし、表情、うなずき、耳を傾けて聴く、向かい合った姿勢、視線を合わせる、手振りなどがあり、いずれも、互いの意思疎通を図る手段として重要である。
- B. ○。様子を観察するのは適切である。A の解説を参照のこと。
- C. ×。反省を促すのではなく自己覚知に結びつけられるようにサポートする。
- D. ×。頑張れすぎた結果のつまずき(うつ状態)であるため、頑張れという励ましは適切ではない。

●スーパービジョンの機能は、「①管理的機能②教育的機能③相談的機能」である。相談的機能は、スーパーバイザーは、スーパーバイザーが仕事上で悩んでいる問題や、さまざまな気持ちを傾聴し、受け止め、非言語的なコミュニケーションにも注意し、助言し支持していく過程で、スーパーバイザー本人が自己覚知し、専門家として成長

していくことをサポートする機能である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 33 鈴木職員のグループワークが適切に展開しなかった理由に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A グループワークのニーズより、個別のニーズを優先した。
- B 鈴木職員の援助の進め方が、グループの雰囲気に影響を与えた。
- C グループの運営・援助目標に鈴木職員の関心が向かいすぎていた。
- D 仕事に対する自負が強く、また、メンバーへの期待が大きすぎた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 33 正答 3×○○○

A. ×。個別のニーズを優先したという記述はない。「仲間づくりと施設への適応」を目標としたグループワークを企画し展開していたが、メンバーに対する期待や要求と現状とのギャップにイライラし、メンバーとの関係もギクシヤクしていた様子が読み取れる。

B. ○。「沈黙が続くと急にイライラしはじめて、場の雰囲気が重苦しい感じになって」という文面からグループの雰囲気にも影響があったことが想定できる。

C. ○。「使命感や責任感が強く、仕事熱心で、几帳面な性格である」、「自分の中で理想的なグループの運営と援助目標を意識し過ぎた制かもしれない」ことから余裕のない展開をしていたことがうかがえる。

D. ○。「私達に対する期待が高かったのかな」、「仕事に対する自分の思い上がりと力量のなさ」という表現から自負と期待のミスマッチが判読できる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 34 鈴木職員のような援助者が、仕事を継続していくための支援として職場内ではどのような取り組みが必要か。次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A スーパービジョンやカウンセリングの体制を整える。
- B 必要に応じて、外部の専門家から指導助言を受ける体制を整える。
- C 職員が、積極的に学習会や外部の研修会へ参加する機会をつくる。
- D 複雑困難なケースについては、スーパーバイザーの担当とする。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 34 正答 1○○○×

★常識的な判断でも解答可能である。

A. ○。B. ○。C. ○。D. ×。

●平成 12 年 2 月 9 日労働経済局「高齢者福祉施設における専門職の労働と健康」よりの抜粋

「高齢者の介護が注目を集めている昨今、当研究所では、養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど高齢者福祉施設で働く専門職員(介護職員、看護職員、生活指導員)に着目し、調査研究を実施しました。具体的には(1)これらの労働・職場の特性を明らかにすること、健康問題として「(2)バーンアウト徴候(いわゆる燃え尽き症候群)」および「(3)腰痛、頸肩腕症状」の実態把握をすること、(4)健康に働き続けられる職場について専門職員はどう考えているかを明らかにすることを目的に調査を行いました。」

●調査結果の主なポイント

①利用者との関係は、仕事のやりがい・おもしろさを高めるが、反面ストレス・自信喪失を生む

高齢者の介護・看護を行う専門職の仕事の特徴として、介護を必要とする利用者との相互作用、双方向的な関係が仕事や職業生活に占める比重、とくにその心理的比重が大ききこと、しかも、利用者との関係は、やりがいやおもしろさを高めている源であると同時に、利用者からのストレス、介護や看護の提供者としての自信喪失を生む源となる二面性を持っている。

②腰痛、頸肩腕障害予防の取り組みのより一層の強化が必要

高齢者介護・看護の仕事についてから、はじめて腰痛を経験した人は全体の約7割、頸肩腕症状は全体の約5割。また、ここ1か月間について、腰痛は全体の66%が、頸肩腕症状は全体の6割近い人が症状があるとしている。

③仕事のやりがいやおもしろさ、良好な職場の人間関係がバーンアウトを防ぐ

過去に職員のバーンアウト徴候を感じた経験を持つという施設長は約2割。また、この仕事にやりがいやおもしろさを感じている人ほど、職場内の組織や同僚との人間関係がうまくいっている人ほど、バーンアウト徴候は低かった。

④健康で働き続けるために

7割以上の方が、なるべく長くこの仕事を続けたいと思っている。健康で働き続けるために大切だと思っていることは、健康管理、ストレス解消。

●健康で働きつづけられる職場づくり・働きやすい職場づくりに向けて

「これらの人々が健康に働きつづけられるためには、利用者との関係でストレスや自信喪失を生まないための職

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

場内外からの支援策が重要である。職場内外からの支援策としては、必要な人員の配置とゆとりの確保・創出以外に、ケース・カンファレンス(事例検討会)の充実や職員の教育・研修の機会の十分な提供、職場のコミュニケーション、相互に支援的な職場の人間関係と雰囲気づくりを図ることなどが考えられる。」としている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【レクリエーション活動援助法】

問題 35 グループによるレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A グループの目標を達成するために心身の状態に合わせたグループを組むことも大切である。
- B メンバーの個性を考慮せず、グループ全体の成長を促すことを重視する。
- C メンバー同士 2 人で将棋を指すことも、レクリエーション活動の一つとして意味がある。
- D レクリエーション活動において援助者から賞賛されることは、メンバーの大きな自信となる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 35 正答 2○×○○

- A. ○。レクリエーション援助者の役割は、レクリエーションを可能にするプログラムと利用者を仲介し、利用者が主体的にレクリエーションができるように支援することであり、利用者同士の相互交流による個人の成長と集団の成長のためには心身の状態に合わせたグループを組むことも大切である。
- B. ×。グループでレクリエーションを行う場合でも、個人への支援を同時に行わなければならない。レクリエーション援助者は、レクリエーションの主体は利用者であることを銘記しておかななければならない。
- C. ○。グループを介してのレクリエーション援助の目的は、レクリエーション活動を行うことで小集団が形成されて、そこから利用者同士の交流が生じ、個人と集団の成長が図られることである。
- D. ○。他者との交流やレクリエーション活動における、情動(楽しさ、喜びなど)の開発育成はレクリエーション援助者の重要な視点である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 36 レクリエーションの活動分析に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A レクリエーション活動の治療的意味合いが確認できる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- B レクリエーション活動援助プロセスである A-PIE (APIE ともいう) の前に行なう。
 C 一つ一つの活動を身体的, 知的, 社会的, 情緒的という 4 つの側面から分析する。
 D 情緒的側面の分析では, 否定的な感情より肯定的な感情の方を重視する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 36 正答 1000×

●アメリカ医師会の「1961 年声明」において、「レクリエーションサービスは, ①より積極的に健康に貢献する, ②病気の予防に貢献する, ③病気の治療に役立つ, ④身体的, 感情的, 社会的, 知的な可能性を発達させるのに役立つ」とされた。

A. ○。「治療的意味合いが確認できる」は適切である。レクリエーション活動の方向には 2 つあり, ①治療的なレクリエーション, ②セラピューティックレクリエーション(利用者の主体的なレクリエーション活動の獲得や自分にふさわしいレジャー・スタイルの獲得)である。セラピューティックレクリエーションにおいては, ①治療的段階(セラピー), レジャー教育の段階(レジャー教育), ③社会参加の段階(レクリエーション参加)の 3 つのカテゴリーのどの段階にあるのかを見極めて, 利用者のプログラムが考慮される。

B. ○。「A-PIE(APIE ともいう)の前に行なう」というのは適切である。レクリエーション援助は, A-PIE プロセスに沿って行われる。A-PIE プロセスとは, ①アセスメント, ②計画作成, ③実践・実施, ④評価, ⑤再アセスメント, である。

C. ○。レクリエーション活動の分析は, 4 つの要素(価値)で行われる。①身体的, ②知的, ③情緒的, ④社会的である。

D. ×。「否定的な感情より肯定的な感情の方を重視する」のは適切ではない。レクリエーション活動の分析は, 否定的な感情も肯定的な感情も含めて行わなければならない。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 37 個別性に応じたレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち, 適切なものに○, 適切でないものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A パチンコが好きなAさんに対して, パチンコはギャンブル性が高いので控えるよう助言した。
 B 脊髄損傷により車いすで生活をしているBさんが, 宿泊旅行を計画していることに対して, 交通機関やボランティアの確保に限界があるため日帰り旅行に変更するよう助言した。
 C 脊髄性進行筋萎縮症のCさんが, 仲間と音楽演奏にチャレンジしたいと希望したことに対して, 手指の動作が困難なので小さめの打楽器に限定して, 楽器を選定させた。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D 言葉をうまくしゃべることができないが、音楽鑑賞が好きなDさんに対して、発声のリハビリを兼ねて歌唱活動をするよう助言した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 37 正答 5 × × × ○

A. ×。控えさせるのは適切ではない。余暇活動に対するレクリエーション援助において、「賭け事」であるパチンコ・麻雀・競馬・競輪・競艇などのレクリエーション財は、「賭けや偶然を楽しんだり熱中する」という楽しみ方を提供するものである。

B. ×。変更の助言は適切ではない。障害者の機能的、社会的、情緒的、経済的、時間的などの制限に対しては、レクリエーション援助者は、利用者の個人の情報を十分に把握したうえで、利用者と一緒にどのように対応していくかを考えることが必要である。

C. ×。限定し、選定させたというのは適切ではない。障害者のレクリエーションは、その障害によって制限されるものではない。レクリエーション財のアレンジや工夫によって、可能にしていくことが重要である。

D. ○。障害者のレクリエーション援助においては、その利用者の障害に応じて目的が異なる。レクリエーションの目的を明確にすることが必要である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

次の事例を読んで、問題 38 から問題 40 までについて答えなさい。

[事例]

1 年前の脳血管障害による右上下肢機能障害のあるYさん(56 歳・男性)は、以前入院していたリハビリテーション病院の訓練で、編み物(アクリル糸タワシ)を習ったことがある。9 か月ほど前に身体障害者更生施設に入所し、現在、発症前の職場への復帰を目指していろいろな訓練を行い、また書道クラブを華道クラブにも参加している。Yさんの作るタワシが好評になり、タワシを希望する人に作ってあげている。このようなYさんに個別レクリエーション活動援助が課題となっている。

発症前の趣味はパチンコとカラオケパーティー通いであったが、今、Yさんは書や生け花、そして編み物が趣味であると言い、中でも編み物には肩こりにもめげず、熱中している。

現在、街への外出訓練も終了し、Yさんへの各種の訓練は、退所に向けて最終段階を迎えている。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 38 次の記述のうち、今後、Yさんへの個別レクリエーション活動援助を導入する理由として、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 現在の趣味のほかに、屋外で行なう趣味も身につける必要があるため。
- B 職場復帰の際、書道部や華道部へ入部する必要があるため。
- C 書道や華道などに興味があり、新たに茶道も習得する必要があるため。
- D 編み物などの趣味を生かして、退所後の地域での過ごし方を充実する必要があるため。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 38 正答 5×××○

- A. ×。新たな個人的能力の開発のニーズはない。Dの解説を参照のこと。
- B. ×。入部するニーズはないし、必要性もない。Dの解説を参照のこと。
- C. ×。新たな個人的能力の開発のニーズはない。Dの解説を参照のこと。
- D. ○。レクリエーションの評価で重要なことは、利用者が今までの活動によってどのように行動変容してきたかを認識する必要がある。発症前にはパチンコとカラオケバー通いであったものが、現在書・いけばな・編み物(タワシ)が趣味となり、特に好評となったタワシ作りには熱中していることへの評価は大切である。心身の健康、生活の安定、心理的な変化から、援助者は利用者の新たな個人的能力の開発ではなく、退所後の職場や地域での現在有する個人的能力の発展・活用と社会的能力の開発に重点を置くべきである。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 39 次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

Yさんの発症前の趣味は【A】活動と言えるが、現在は【B】要素が多く含まれている活動に興味を持っている。Yさんに対する個別レクリエーション活動援助として編み物を選択した場合、次の作品を【C】にすることが望ましい。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	娯楽型	創造的	マフラー
2	娯楽型	意図的	手袋
3	社交型	創造的	マフラー
4	社交型	創造的	手袋
5	社交型	意図的	マフラー

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 39 正答 1〇××××

A. 娯楽型。B. 創造的。C. マフラー。

●障害者は種々の機能障害を有するが、レクリエーションやリハビリテーションなどによって機能的障害を越える能力が発揮されることを認識し、「利用者のニーズに基づき」「利用者の生活をベースにして」行動目標が設定され、援助がなされる必要がある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 40 Yさんに対するレクリエーション活動援助者の接し方に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A Yさんと街の書店まで同行し、援助者が選んだ編み物の本を購入させる。
- B 編み物についての質問の内容によっては、街の手芸店に尋ねることもできるとYさんに伝える。
- C 編み物による肩こりを訴えているYさんに、作業療法士などの専門家に相談するように助言する。
- D Yさんにとって最後の機会となる施設祭に、Yさんに相談せずに作品出展を申し込む。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 40 正答 3×〇〇×

A. ×。援助者が選んだ者を購入させるのは適切ではない。個人への直接援助の基本は、「個人の尊重」「自己決定」である。レクリエーションの主体は利用者であり、レクリエーション援助者と利用者は対等に役割分担しなければならない。レクリエーション援助者の役割は、レクリエーションプログラムと利用者の仲介であり、利用者がレクリエーションを主体的に実施できるように支援することである。

B. 〇。Aの解説を参照のこと。

C. 〇。Aの解説を参照のこと。

D. ×。利用者に相談せずに申し込むのは適切ではない。Aの解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【老人・障害者の心理】

問題 41 ライチヤード(Reichard,S.)やニューガーデン(Neugarten,B.)らによる高齢者の性格類型を適応パターンに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

A 装甲型(防衛型)は、受身的に人生を受け入れて、仕事への興味はないのが特徴である。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

B 円熟型は、現実に柔軟であり、自分の人生を受け入れて、様々なことに興味をもち、積極的に社会参加を行なうのが特徴である。

C 再組織型(再統合型)は、一つか二つの活動領域にエネルギーを注ぎ、そこから主な満足を得ているのが特徴である。

D 離脱型は、老いるにしたがって役割から離れていくなど活動性は低いが、人生の満足感が高いのが特徴である。

(組み合わせ)

1 AB

2 AC

3 BC

4 BD

5 CD

問題 41 正答 4×○×○

A. ×。ライチャードの装甲型(防衛型)は、不安や防衛機制が強いが、それを円滑に表現する。自分の業績に対してこだわりをもち退職して怠惰な生活に陥ることを嫌う。仕事や活動を持続させることによって、身体的衰えや無力感から自己を防衛している。ニューガーデンの武装型(防衛型)は、高度の活動を続けることで老衰を防げると信じて頑張ったり、老化の結果失ったものにこだわったりするタイプである。

B. ○。ライチャードの円熟型は、自分の人生を容認していて悩みごともなく、対人的相互作用にも務め、積極的に社会参加をする。

C. ×。ニューガーデンの調和・統合型の説明である。これは、ある活動が肉体的に無理になれば別の活動に切り換え、活動をやりがいのある少数のことだけに絞り、多くの責任を計画的に委譲できることを特徴とする。

D. ○。ライチャードの安楽椅子型は、ある程度の自足の境地に達しているものの、自分のこれまでの努力の成果に不満を残しつつ、他者の支援や奉仕に頼って、老年期を暇な余生と認識する。ニューガーデンの受動・依存型は、他者の助けに頼ったり、できるだけ対人的相互作用を避けたりする。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 42 欲求に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A マズロー(Maslow,A.)は欲求の階層(hierarchy)説を唱え、第一層から第四層までを欠乏欲求と名づけた。

B マズローの欲求階層説の最高層は、所属を愛情の欲求である。

C 食事、排泄、運動や睡眠などの生理的欲求は一次的欲求に含まれる。

D 欲求は生得的なものであり、学習によって得られるものではない。

(組み合わせ)

A B C D

1 ○ ○ ○ ×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 2 ○ × ○ ×
 3 ○ × × ○
 4 × ○ × ×
 5 × × ○ ○

問題 42 正答 2○×○×

A. ○。マズローが唱えた欲求理論は、5 階層をもつとした。①生理的欲求、②安全の欲求、③社会的欲求、④自尊欲求、⑤自己実現欲求で、これらは順に満たされると次の階層の欲求を感じるようになる。人間の欲求は、5 段階のピラミッドのようになっていて、底辺から始まって、1段階目から 4 段階目の「欠乏欲求」があり、その上に「成長欲求」である自己実現への欲求が位置するとされている。

B. ×。A の解説を参照のこと。自己実現欲求とは、自分がなすべきことをなすために自己の成長や発展を求める欲求である。

C. ○。A の解説を参照のこと。生理的欲求とは、食べる、飲む、眠るといった動物の基本欲求で、生命の維持に関する欲求である。

D. ×。食欲や性欲などのように、生命を持つものならばどんなものにも存在する生得的欲求のことを一次的欲求といい、知識欲、出世欲、金銭欲などのように、経験を通じて学習された欲求のことを二次的欲求という。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 43 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護に当たる家族へのカウンセリングでは、家族自身の潜在的な力を発揮できるようにすることが重要である。
 B 不安障害の高齢者に対する認知療法では、本人の現実認知の誤りに対し、「違う考え方」を提示する。
 C 現実に直面しない人には、自律訓練法が有効である。
 D 介護が家族にもたらすストレスの要因には、一次的ストレスと二次的ストレスがあるが、日常動作の障害は、一次的ストレスである。

(組み合わせ)

- A B C D
 1 ○ ○ ○ ×
 2 ○ ○ × ○
 3 ○ × × ○
 4 × ○ × ○
 5 × × ○ ×

問題 43 正答 2○○×○

A. ○。介護にかかる負担は心身ともに重く、少なからず介護疲れの状態になったり、家族間の人間関係そのもの

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

が損なわれる状況にある。そのような状況を認識しながら、家族の持つ潜在的な力を引き出したり、地域とのつながりを促したりするカウンセリングが求められる。

B. ○。人にはそれぞれに固有の「認知のパターン」(物事のとらえ方)がある。認知療法とは、自分の「認知の歪み」のパターン(「心のくせ」)を知り、それをより柔軟性の高いものに変化させ、気分の改善を図り、社会への適応性を高める療法である。地道な訓練により、期間をかけて行われていくことが望ましいとされ、性急に、自動思考(特定の場面で自然に浮かんでくるイメージや考え方のこと)を分析したり、意識下の問題であるスキーマ(心の根底に存在する個人的な確信のこと)の問題に立ち入ることは危険があるといわれている。

C. ×。現実と直視しないということは、問題がないということであり、自律訓練法は必要ない。自律訓練法は、1932年にドイツの精神科医シュルツによって体系化されたリラクゼーション法の1つで、セルフコントロール技法である。段階的に訓練を進めていくことによって、弛緩鎮静、自律神経系の安定などの方向に心身が変換した状態(自律状態)が得られるように工夫されている。

D. ○。カナダのセリエは、心身両面にストレスを引き起こす要因であるストレスラーによって生体が刺激を受けた状態をストレスといい、ストレスに対する生体反応を、適応反応と呼んだ。一次的ストレスラー主となるストレスラーであり、付随する関係や派生したストレスラーを二次的ストレスラーという。日常生活動作(ADL)とは、毎日の生活における最も基本的な身体動作のことで、具体的には食事、洗顔、髪の手入れ、着替え、排せつ、入浴、歩行や移動などである。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 44 次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 知能の加齢変化……横断的方法により測定する場合には、出生年代の差異による影響に留意する必要がある。
- 2 WAIS-R……11の下位検査により構成されている知能検査である。
- 3 結晶性知能……経験や知識の豊かさなどに結びつく能力である。
- 4 流動性知能……動作の視覚的な正確さやスピードなどに関連した能力である。
- 5 ビネー式知能検査……動作性検査と言語性検査を別々に行なう。

問題 44 正答 5○○○○×

1. ○。以前は、知能は幼児期、学童期、青年期と発達し、20歳代でピークに達したあとは低下すると考えられていたが、近年では知能には流動性知能(新しい環境に適応する、20歳すぎから衰えに転じる)と結晶性知能(経験や知識を総合的に活用する、衰えが遅く60歳を過ぎてから高まるものもあるといわれる)とがあって、それぞれ加齢による変化に違いがあると理解されている。横断的方法とは、異なった年齢段階の対象群について、調査・測定・実験を同時に実施し、その平均値や特質の差から、発達の一般的傾向や基準を明らかにしようとする方法である。一方、縦断的方法とは、同一の被験者群を対象として、その年齢経過とともに発達特性の変化を定期的・継続的に研究する方法である。

2. ○。ビネーが知的能力を一般的に測定しようとしたのに対して、ウェクスラーはパーソナリティに影響されやすい言語性因子とそうではない動作性因子に分けて調べようとした。言語性IQ、動作性IQ、全体IQが求められる。知

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

能指数は、何歳レベルの知的能力があるかだけでなく、同年齢集団のなかでどのくらいの位置にいるかを示し、偏差IQを使用している(個人得点-標準化集団に平均点/標準化集団の標準偏差×15+100)。種類として、①成人用(16-74歳):WAIS-R、②子供用(5-15歳):WISC(WISCⅢは5-16歳に適用)、③幼児用(4-6歳6ヶ月):WPPSI、がある。

3. ○。1の解説を参照のこと。この能力は、60歳ごろまで徐々に上昇し、その後は緩やかに低下し、結晶性知能は、70歳・80歳になればなだらかに低下するが、そのレベルは20歳代に近い能力が維持されている。

4. ○。1の解説を参照のこと。この能力は30歳代にピークに達したあと60歳ごろまでは維持されるが、それ以降は急速に低下する。

5. ×。ビネー式知能検査とは、フランスのビネーとシモンが協力して作成した知能検査で、アメリカのターマンらによって標準化され、スタンフォード・ビネー知能検査として発表された。日本では鈴木・ビネー知能検査として、またその後には田中・ビネー知能検査が開発された。精神年齢を生活年齢で割って100倍($IQ=MA/CA \times 100$)し、知能指数を出す。幼稚園から小学校中学年の児童の一般知能の測定には適しているが、成人の知能測定や知能の診断的把握には向かないとされている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 45 適応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 適応とは、個人と環境との間に調和のある満足すべき関係が保たれている状態といえる。
- B 積極的に環境に働きかけて好ましい状態を生み出していくことを順応という。
- C 個人の欲求が環境との間に不調和をもたらしたとき、そのことによって起こった緊張状態を社会的に解決することを適応機制という。
- D 欲求不満に陥った場合に、芸術やスポーツに打ち込んで満足を得る行動を合理化という。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 45 正答 3○×××

A. ○。適応とは、生物が環境に応じて形態や生理的な性質、習性などを長年月の間に適するように変化させる現象やその場の状態・条件などによくあてはまることをいう。

B. ×。適応は、積極的に環境に働きかけるものではなく、環境や境遇の変化に従って性質や行動がそれに合うように変わることである。順応とは、持続的に刺激を受けしていると閾値が上昇してしまうという、閾値移動のことをいう。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- C. ×。適応は、社会的ではなく心理的である。葛藤や欲求不満などの緊張状態になったときに、それを解消しようとするのが適応機制である。防衛機制、合理化、昇華、代償(置換、置き換え)、同一視、投射、補償、抑圧、逃避、退行 などがある。
- D. ×。昇華の説明である。合理化とは、自分の失敗、矛盾、不満を、もっともらしい理由で正当化することである。具体例としては、「言い訳をする」などである。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 46 発達障害に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 軽度障害の子どもに対しては、学習上のつまずきを早く発見し、その努力不足を指摘して本人の自覚を促すことが重要である。
- B 学習障害の子どもは、知的な発達が全般的に軽度に遅れているために、読み書きや計算が苦手である。
- C 高機能自閉症とは、自閉症のうち知的障害を伴わない状態をいう。
- D 注意欠陥・多動障害(AD/HD)の子どもは 中度・重度の知的障害や自閉症が認められないにもかかわらず、「不注意」、「多動性」、「衝動性」などによって日常生活に困難を伴う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 46 正答 5××○○

- A. ×「努力不足を指摘して本人の自覚を促す」は誤りである。2002 年に文部科学省から、普通クラスの 6%の児童がLD・ADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症等の軽度発達障害をもっているということが報告された。「なまけてる」と誤解されたり、「変わり者」と思われていじめの対象になったり、不登校になったり、学校生活で悩んでいる子どもが多い。学習障害の原因は、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されている。注意欠陥多動性障害(ADHD; Attention Deficit Hyperactivity Disorder)は、注意力・衝動性・多動性を自分でコントロールできない障害である。アスペルガー症候群、高機能自閉症、広汎性発達障害は、①社会性の障害、②コミュニケーションの障害、③思考の柔軟性の乏しさ等の障害であり、重複している場合や、成長と共に診断名が変わる場合もある。
- B. ×。「知的な発達が全般的に軽度に遅れている」は誤りである。学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち、特定のものの習得・使用に著しい困難を示す状態をさす。Aの解説を参照のこと。
- C. ○。「高機能自閉症」は知的には障害のない自閉症で、その中でも言語に問題をもたない人たちを「アスペル

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

ガ一症候群」という。

D. ○。ADHD は、薬物療法が効果的な場合も多いので、専門医と相談する必要がある。ADHDの中には、多動や衝動性が目立たないADD(注意欠陥障害)というタイプがあり、学校等で問題視されにくいことが多く、本人の努力が足りないと叱責され続ける場合もあるので対応に注意が必要である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 47 コミュニケーションの障害に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 音声言語習得後の中途失聴音の場合、時間が経つと発音の明瞭度は低下することが多い。
- 2 発声障害には、咽頭摘出により食道発声が必要になるような場合のほかに、心理的な原因によるものも含まれる。
- 3 吃音では、構音は明瞭でも話し言葉の流れに障害があり、場面や相手によってその状態は左右されやすい。
- 4 失語症は脳の言語機能が損傷された結果生じるものであるが、理解面より発話面での障害が大きい方がコミュニケーションの困難性が増す。
- 5 構音障害のある脳性麻痺者の場合、コミュニケーションの代替手段として携帯型対話装置やワープロなどが、しばしば用いられる。

問題 47 正答 4○○○×○

1. ○。一般に、聴覚障害者は、障害の発生年齢や程度から、①ろう(あ)者、②難聴者、③中途失聴者に分類されるが、必ずしも厳密に区別できるわけではない。中途失聴者では、難聴期が経過するほど、発声は不明瞭になる。
2. ○。発声障害とは、簡単に言えば、声が出ない、声がかすれることであり、①器質的発声障害、②心因性発声障害ヒステリー性失声症、③痙攣性発声障害、④変声障害、⑤咽喉頭異常感症、などがある。
3. ○。吃音(どもり)の多くは遺伝あるいは子供時代の好ましくない言語環境・心理的環境にいたことが原因で起こるといわれている。長年の習慣化により、直そうとしてもそう簡単には行かないので、軽々に吃音のことを注意しないことが大切である。
4. ×。失語症は、聴力には障害がなく、聞く・話す・読む・書くという様々な局面で症状が出現する。主には①聞いて理解することの障害(人の話している言葉の意味がわからなかったり、間違って聞き取ってしまう。早口で話す人の言葉や、長い話、複雑な難しい話がわかりにくくなる。)、②話すことの障害(ほとんど全ての失語症者にみられ、思っていることを言葉にすることが難しい。言おうとしているものとは別の言葉・音がでてしまう。)であり、①の方がコミュニケーションが困難である。
5. ○。構音障害は、失語症と違って、話し言葉に限局した障害である。話を聞く、書く、読むことには障害が出ない。原因は、脳卒中、頭部外傷、変性疾患(パーキンソン病等)、手術による神経の損傷等と多岐にわたる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 48 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- A 音楽療法では、歌をうたったり、演奏や音楽鑑賞によって、脳自体への刺激効果やコミュニケーションの円滑化が期待できる。
- B 回想法で記憶障害が顕著である認知症高齢者を対象とする場合、回想の内容の正確さを確認することが重要である。
- C 高齢者に対する動物介在活動は、能動的、主体的にかかわる交流であることが特徴の一つである。
- D リアリティ・オリエンテーションは、認知症高齢者の場合、残存している能力へ働きかけるものである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 48 正答 3○×○○

- A. ○。障害者(児)の音楽療法の目標として、①心身の調和的な発達の促進、②コミュニケーション能力の改善、③表現力の拡大、④対人コミュニケーションの円滑化、⑤運動機能の調整⑥社会性の向上、などをあげている報告もある。
- B. ×。「回想の内容の正確さの確認」は誤りである。回想法は、1960年代にアメリカの精神科医バトラーによって創始された高齢者に対する心理療法である。高齢者の過去の思い出に焦点を当て、否定的にとらえがちであった過去の回想に積極的な意味を見出し、共感的な聴き手の存在により人生の再吟味を意図するものである。認知症の場合には、自尊心の回復、精神機能の活性化、情動の安定、コミュニケーションの維持・促進を目標に取り組まれることが多いといわれる。
- C. ○。「動物介在療法」には変遷がみられるが、現在は、①AAA(アニマル・アシステッド・アクティビティ:動物介在活動)、②AAT(アニマル・アシステッド・セラピー:動物介在療法)として定義されている。
- D. ○。時間・場所・人などが分からなくなる見当識障害を解消する訓練を「リアリティ・オリエンテーション(RO)」という。ROでは、名前、年齢、職業、家族関係などの個人情報に関する質問に始まり、今いる場所はどこか、日付はいつかといった見当識、方角や物の名前などの常識を試す質問が繰り返される。正しく答えられるようになると、次は買い物や電話などのごっこ遊びを行う。日常生活で今まで当たり前に行ってきた動作を通じて、対人関係、協調性を取り戻すことが目的である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【家政学概論】

- 問題 49 容器包装された加工食品に含まれるアレルギー物質の表示が食品衛生法によって義務づけられている。次の食品のうち、表示の義務がないものを一つ選びなさい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 卵
- 2 乳
- 3 そば
- 4 大豆
- 5 落花生

問題 49 正答 4〇〇〇×〇

1. 〇。2. 〇。3. 〇。4. ×。大豆ではなく小麦である。5. 〇。

●平成 13 年 4 月 1 日から、食物アレルギーを防ぐため、食品衛生法により 5 品目の原材料表示が義務づけられ、20 品目の原材料表示が指導された。過去に一定の頻度で血圧低下、呼吸困難または意識障害等の重篤な健康被害が見られ、因果関係が特定された原材料である。対象品目は、(1)表示義務食品(5 品目):①卵、②乳(牛乳など乳製品)、③小麦、④そば、⑤落花生、(2)表示指導食品(20 品目):①アワビ、②イカ、③イクラ、④エビ、⑤カニ、⑥サケ、⑦サバ、⑧オレンジ、⑨キウイフルーツ、⑩リンゴ、⑪桃、⑫まつたけ、⑬クルミ、⑭N 大豆、⑮山羊、⑯牛肉、⑰豚肉、⑱鶏肉、⑲ゼラチン、⑳バナナ、である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 50 食中毒に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 サルモネラは熱に弱いので、食前の十分な加熱が予防に有効である。
- 2 腸炎ビブリオは淡水で速やかに死滅するので、調理前に流水で十分に洗浄するなどの方法がよい。
- 3 カンピロバクターによる食中毒の主たる原因食品は魚介類であり、調理前に流水で洗浄するとよい。
- 4 黄色ぶどう球菌は皮膚の化膿そうなどに検出されるので、化膿そうのある者は調理に従事させないことなどで予防する。
- 5 ノロウイルス(小型球形ウイルス)による食中毒の主たる原因食品は牡蠣(かき)である。

問題 50 正答 3〇〇×〇〇

1. 〇。サルモネラは、腸内細菌科の一種で、腸内細菌科のすべての細菌は熱に対して弱く、62 度～65 度 30 分加熱(または 70 度 1 分間)で死滅する。サルモネラの原因食品がすべて未加熱食品によるものではなく、加熱不十分で菌が完全に死滅しなかったか、または、二次汚染によるものが多いとみられている。

主な原因食品:サルモネラに汚染されている肉や卵を原材料としたもの

潜伏時間:5 時間～7 時間

症状:腹痛、水溶性の下痢、発熱(38℃～40℃)、脱力感、倦怠感

2. 〇。腸炎ビブリオは、海の比較的陸地に近いところの海水中や海泥中に生息し、海水温度が 20 度以上になると増殖が盛んになる。腸炎ビブリオは、熱に非常に弱く、60 度 10 分の加熱で容易に死滅する。日本では、魚介類を刺身などで生で食べる習慣があるためこの食中毒が多く発生している。一度に多量の腸炎ビブリオを摂取しない限り食中毒にならないことから、迅速な調理と摂取までの時間を短くすることが大切である。腸炎ビブリオは真

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

水に弱いので、真水でよく洗うことも大切である。

主な原因食品:海産物,特に魚介類,魚介類から二次汚染した食品または調理器具,手指

潜伏時間:10時間~24時間

症状:激しい腹痛,嘔吐,下痢

3. ×。魚介類ではなく食肉,特に鳥肉が汚染され,原因食品となる事例が多い。カンピロバクターは,低温に強く,包装した肉を冷蔵保存したような場合,長期間にわたって生存するが,熱には弱く,十分な加熱調理で死滅する。

潜伏期間:2~7日と長い傾向にある。

症状:腹痛,下痢,頭痛,発熱(38℃前後)

4. ○。黄色ブドウ球菌は,ブドウの房状の様な配列をとる菌であることが名前の由来である。自然界に広く分布し食中毒だけでなく,化膿性疾患をおこすこともある。比較的熱に強く,80度30分以上の加熱で死滅する。

主な原因食品:多種多様な食品。多種類の食品中で増殖できる

潜伏時間:1時間~5時間(平均約3時間)

症状:激しい嘔吐,腹痛,下痢,発熱はない

5. ○。ノロウイルス(小型球形ウイルス)は,「牡蠣による食中毒」の原因ウイルスである。感染力が強く,2次感染を起しやすい。アルコールには抵抗性がある。次亜塩素酸ナトリウム(200ppm),85℃1分以上の加熱が有効である。

潜伏期間:24~48時間

症状:吐き気,嘔吐,下痢,腹痛,発熱は軽度で,通常,これらの症状が1~3日続き,治癒し,後遺症はない。また,感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 51 砂糖及びその調理に関する次の記述のうち,正しいものに○,誤っているものに×をつけた場合,その組み合わせ上して正しいものを一つ選びなさい。

A 砂糖は水と親和性が強いので,でんぷんの老化現象を防ぎ,カステラなどをやわらかく保つ働きをしている。

B 砂糖は水によく溶け,溶解量は水温には左右されない。

C 砂糖溶液を加熱すると沸点が上昇し,性状が変化することを応用してシロップやあめがけなどが作られる。

D プリンなどに使用されているカラメルソースは,砂糖溶液が250℃以上になり褐色になったものである。

(組み合わせ)

A B C D

1 ○ × ○ ○

2 ○ × ○ ×

3 ○ × × ○

4 × ○ ○ ×

5 × ○ × ○

問題 51 正答 2○×○×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

A. ○。甘さ以外の砂糖の性質は、①でんぷんの劣化防止(小麦粉などの水分を保持し、劣を防ぐ)、②メイラード反応(小麦粉などに含まれるアミノ酸と焼くと、メイラード反応を起こして適度に焦げた風味をもたらす、美味しそうな表面の色になる)、③たんぱく質の凝固を和らげる(卵などに含まれるたんぱく質の凝固温度を高めて凝固を和らげる働きがあり、やわらかく口当たりが良くなる)、④香り(砂糖はおいしそうな香りを捕まえる)、などである。

B. ×。砂糖を水に溶かすとき、水の温度が低い(冷たい)と溶けにくく、温度が高い(熱い)とよく溶ける。この性質から、熱い水に不純物を多く含む砂糖を溶かし、水の温度をゆっくり下げると、純粋に近い砂糖の結晶が得られ、砂糖の精製ができる(再結晶)。

C. ○。水は100度以上にはならないが、砂糖を入れることにより100度よりも沸点が上昇する。温度の上昇とともに砂糖は形を変える。100度でシロップになり、110～130度位になったものを冷やすと、フォンダンになる。カルメ焼きはこのフォンダンがふくれて固まったものである。同じ位の温度でキャラメル、140度ぐらいまで熱したものを冷ますとドロップ、さらにこの液体を細かい穴から高速回転で噴射させ、糸状になって固まったものが綿あめ、160度位でべっこう、180度～200度位で褐色になり香ばしい匂いが出てキャラメルソースになる。

D. ×。180度～200度位である。Cの解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 52 脂質に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 脂肪 1g 当たりの熱量は 4kcal である。

B コレステロールは卵黄、レバーなどの食品に多く含まれ、血中でリポたんぱく質として存在している。

C 植物油に多いリノール酸とリノレン酸や、魚油に多い EPA と DHA は、血中コレステロール低下作用がある。

D 卵黄に含まれるリン脂質のレシチンは乳化剤としての働きがある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 52 正答 3×○○○

A. ×。4Kcal ではなく 9Kcal である。食物の持つエネルギーとは、それが燃えたときに出す熱量(Kcal)で、①1gのたんぱく質は 9Kcal、②1gの糖質(炭水化物)は 4Kcal、③1gの脂質は 9Kcal、である。

B. ○。コレステロールは体の中の脂質の一つで、大半は肝臓で合成され、体の隅々まで運ばれが、血液に入って運ばれるためには水に溶けやすいたんぱく質などに包まれた状態になっている。これをリポ蛋白という。このリポ蛋白のうちで、肝臓で合成されたコレステロールを体の隅々に運ぶ働きをするものをLDL(LDLコレステロール、悪玉コレステロール)という。血管に運ばれ動脈硬化を進めるコレステロールであるために「悪玉」と呼ばれ、

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

動脈硬化が進むと心筋梗塞などが起こる。一方、血管に余ったコレステロールを回収して肝臓に戻すリポ蛋白をHDL(HDLコレステロール, 善玉コレステロール)という。

C. O. 植物油の構成成分である脂肪酸の多くは、不飽和脂肪酸に属し、コレステロールや中性脂肪を低下させる働きがある。オリーブ油や菜種油にはオレイン酸が多く含まれる。紅花油やひまわり油に多いリノール酸は、コレステロール低下作用があり、動脈硬化の予防・治療に用いられるが、過剰摂取には注意が必要である。しそ油やごま油に含まれる α -リノレン酸は、酸化に弱いので調理や保存には注意が必要であるが、ガンやアレルギーを抑制する作用が注目されている。

D. O. 水と油のような、本来混じり合わないものの境界面で働いて、均一な状態を作る作用を持つものを乳化剤という。マヨネーズは、卵黄中に含まれるレシチンが乳化剤として働いて、サラダ油が卵や酢の中に均一に混ざっている食品である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 53 布団わたの特徴に関する次の記述のうち、誤っているのを一つ選びなさい。

- 1 木綿わたは、打直しができ安定性があるが、ほこりが出やすく重い。
- 2 ポリエステルわたは、軽くて扱いやすく、吸湿性も優れている。
- 3 羊毛わた保温性・透湿性に優れ、天日干しなしでも湿気を感じない。
- 4 羽毛わたは、保温性・透湿性・圧縮回復性が優れている。
- 5 羽毛わたは、軽くてフィット性に優れ、掛け布団に適している。

問題 53 正答 2〇×〇〇〇

1. O. 木綿わたは、綿花が原料であり、真わたより安価で、弾力性があるが、保温性・吸湿性に優れている天然素材だが、「放湿性」が劣るため、こまめに「天日干し」を行う必要がある。また、長く使用すると、湿気などで綿が固まり、打ち直しが必要になる。「綿わたふとん」は「羊毛ふとん」「ポリエステル綿ふとん」が普及するまでは、最もポピュラーなふとんの素材であった。
2. ×。「吸湿性」は優れていない。合繊(ポリエステル)わたは、木綿わたの半分の軽さで、ほこりや臭いなどもなく、弾力性、保温性に優れているが、ポリエステル自体はほとんど湿気を吸わないので吸湿性は劣る。最近は、防ダニ加工や抗菌防臭加工されたものも多い。
3. O. 羊毛わたは、表面がうろこ状なので、繊維同士がからまりやすく、弾力性、伸縮性がよく、吸湿・放湿性や保温性も優れている。羊毛本来の高品質な毛は羊の背中、肩、横腹部分のフリースと呼ばれる部分で汚れも少ないのが特徴である。
4. O. 羽毛わたは、ガチョウやカモなどの水鳥の胸や腹に密集した羽毛を使う。他の素材よりも保温性があり、軽いのが特徴で、外気温によって変化する性質も持っている。夏は涼しく、冬は暖かいので、掛け布団に適している。
5. O. 4の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 54 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- A 国勢調査では、夫婦のみの世帯は核家族世帯に含まれる。
- B 国民生活基礎調査における家族とは、住居及び生計を共にする者の集まりをいう。
- C 平成 15 年の国民生活基礎調査における平均世帯人員数は、3 人を下回っている。
- D 民法における親族の範囲は、3 親等内の血族、配偶者である。

(組み合わせ)

- 1 AC
- 2 AD
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 54 正答 1〇×〇×

- A. 〇。国勢調査の用語の解説によれば、核家族世帯とは、①夫婦のみの世帯、②夫婦と子どもから成る世帯、③男親と子どもから成る世帯、④女親と子どもから成る世帯、とされている。
- B. ×。「家族」ではなく「世帯」の説明である。国民生活基礎調査の用語の説明によれば、「世帯」とは、住居及び生計を共にする者の集まりまたは独立して住居を維持し、もしくは独立して生計を営む単身者をいい、「世帯員」とは、世帯を構成する各人をいう、とされている。
- C. 〇。平成 15 年 6 月 5 日現在における日本の世帯総数は 4,580 万世帯である。平均世帯人員は、平成元年の 3.10 人の後、平成 4 年以降は 2 人台で推移し、平成 15 年は 2.76 人であった。世帯構造別では、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が 1,490 万世帯(全世帯の 32.5%)で最も多く、次いで「単独世帯」1,067 万 3 千世帯(同 23.3%)、「夫婦のみの世帯」978 万 1 千世帯(同 21.4%)の順となっている。世帯類型別では、「高齢者世帯」は 725 万世帯(全世帯の 15.8%)、「母子世帯」は 56 万 9 千世帯(同 1.2%)となっている。
- D. ×。親族の範囲は、①6 親等内の血族、②配偶者、③3 親等内姻族である。(民法第 725 条)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 55 相続、遺言に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 遺産の分割の協議が共同相続人間で調わないときは、各共同相続人は、簡易裁判所にその分割を請求することができる。
- B 自筆証書によって遺言をするには、遺言者が、その全文、日付及び氏名を自書し、これに印をおさなければならない。
- C 法定相続人に子の配偶者は含まれない。
- D 配偶者と兄弟姉妹が相続人である場合、配偶者の法定相続分は 2 分の 1 である。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AD
- 3 BC

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

4 BD

5 CD

問題 55 正答 3×○○×

A. ×。簡易裁判所ではなく家庭裁判所である。相続人間での協議が調わないときや、初めから協議に加わらない者がいるときなどには、家庭裁判所に遺産の分割を申し立てることができる。家庭裁判所ではまず、調停が行なわれるが、調停が成立しなければ、審判手続きで決定が出される。

B. ○。遺言書は書面で残さなければならない。遺言書の全文、日付、氏名を自分で書き(自筆)、印(認印でも可)を押して作成する。カセットテープに録音したり、パソコンやワープロなどで作成したものをフロッピーなどで残したり、ビデオテープに残したりすることはできない。

C. ○。民法の規定により法定相続人になれるのは、①配偶者(法律上の夫または妻)、②子(直系卑属)、③父母(直系尊属)、④兄弟姉妹(傍系血族)の4種類である。遺言がない場合には、内縁の妻や夫、親族で嫁や叔父・叔母などは遺産を受継ぐことができないので、遺産を残したいのであれば、これらの者を受遺者とする遺言書を作成する必要がある。

D. ×。1/2ではなく3/4である。①配偶者と子が共同相続人である場合:配偶者=1/2,子=1/2(子が数人いる場合は等しく配分する)、②配偶者と直系尊属が相続人である場合(子と子の代襲者がいない場合):配偶者=2/3,直系尊属=1/3、③配偶者と兄弟姉妹が相続人である場合(子と子の代襲者、直系尊属が共にいない場合):

配偶者=3/4,兄弟姉妹=1/4(兄弟姉妹が数人いる場合は等しく配分する)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 56 高齢者等の住宅リフォームに関する次の記述のうち、誤っているのものを一つ選びなさい。

- 1 工事を依頼するかどうかは、被害防止のためにも時間をかけて慎重に検討する。
- 2 訪問販売の場合は、工事開始後でもクーリング・オフ期間内であれば解約できる。
- 3 訪問介護員や民生委員など身近にいる人が、不審を感じたときには、消書生活センターなどに相談するよう助言する。
- 4 引き戸等への扉の取替えは、介護保険制度の給付の対象外である。
- 5 バリアフリー住宅を推進するため、住宅金融公庫の割増融資などがある。

問題 56 正答 4○○○×○

1. ○。悪質住宅リフォームを扱う業者の契約の仕方の特徴の一つに、急がして契約をすることがあげられ、訪問したその日のうちに契約書を書かせ、間を置かずすぐに工事にとりかかる。高齢者、知的障害者などは訪問販売業者に言われたらすぐに信用し、契約してしまう傾向があると指摘されている。
2. ○。訪問販売で契約した住宅リフォームは、工事の開始後でもクーリング・オフ期間内なら無条件解約ができる。(通常、住宅リフォームのクーリング・オフ期間は8日である)
3. ○。消費生活センターの仕事の主たるものとして、消費生活相談がある。商品やサービスの苦情や問合せ、

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

契約をめぐるトラブルについて、相談員が解決のための相談にのってくれる。相談は、主に電話相談で受けつけてくれる。

4. ×。対象である。改修のみが対象となり、新築、増築の場合は対象にならない。介護保険制度の給付の対象は、①手すりの取付け、②段差の解消、③滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更、④引き戸等への扉の取替え、⑤洋式便器等への便器の取替え、⑥①～⑤の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修(手すりの取付けのための壁の下の下地補強、浴室の床の段差解消(浴室の床のかさ上げ)に伴う給排水設備工事、床材の変更のための下地の補修や根太の補強又は通路面の材料の変更のための路盤の整備、扉の取替えに伴う壁又は柱の改修工事、便器の取替えに伴う給排水設備工事(水洗化又は簡易水洗化に係るものを除く。)、便器の取替えに伴う床材の変更)、である。

5. ○。高齢者(60歳以上)または心身障害者※とその親族2名以上(合計3名以上)が同居することを目的として、公庫の融資対象となる住宅を建設・購入する場合には、割増融資を受けられる。ただし、新築する住宅部分の床面積が125㎡超(共同住宅の場合は95㎡超)であること、かつ公庫のバリアフリー住宅工事を行うことが条件となる。

該当する心身障害者は、①1～4級の身体障害者手帳を持っている人、②戦傷病者、③精神障害者など(精神科の医師などから重度又はこれに準ずる程度であると判定された人)、である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【医学一般】

問題 57 次のうち、下肢の骨として正しいものを一つ選びなさい。

- 1 鎖骨
- 2 尺骨
- 3 腓骨
- 4 橈骨
- 5 仙骨

問題 57 正答 3××○××

●骨格系は、身体の支持・受動的運動・諸臓器の保護・造血作用などを行い、成人の骨格を構成している骨は約200個で、連結して骨格を形成している。頭蓋骨、脊柱、胸郭、骨盤、上肢骨、下肢骨、の骨格を形成しています。胸郭と骨盤は、脊柱と下肢の骨の一部が骨格の構成に加わっている

1. ×。上肢骨である。鎖骨は、肩の所で肩甲骨と関節をつくる。
2. ×。上肢骨である。尺骨は、前腕内側にあり、橈骨と平行するかたちにある長骨で、尺骨よりも橈骨の方が若干太い。
3. ○。下肢の骨である。下腿(膝と足首の間)には2本の長骨があり、内側の太い方をが頭骨、外側の細い方が腓骨である。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

4. ×。上肢骨である。橈骨は、前腕外側にある長骨である。
 5. ×。仙骨とは、骨盤の中央にある骨で、背骨の付け根である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 58 血液及び循環器に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 肺静脈には動脈血が流れている。
 B 血液の約 45%が細胞成分である。
 C 右心室は左心室に比べて心筋が厚い。
 D 冠動脈は心臓に栄養を供給している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 58 正答 2○0×0

- A. ○。肺動脈は静脈血が流れ、肺静脈は動脈血が流れている。小循環とは、心臓から肺へ静脈血を送り、肺で酸素を取り込んで動脈血となって心臓に返ってくる循環である。右心室→肺動脈→肺→肺静脈→左心房と循環し、全身から返ってきた血液は、右心室から肺動脈を通して肺に運ばれ、そこで、酸素を取り込み動脈血となって肺静脈を通して左心房にかえる。
 B. ○。血液は大きく分けて、血球(細胞)成分と血漿成分とから成っており、血球(細胞)成分がその中の45%を、血漿成分が55%を占めている。
 C. ×。右心室と左心室が逆である。心臓の周りは、心筋という厚い筋肉からなっている。心筋は、収縮と拡張を繰り返し、全身に血液を送り出す左心室は、大きな力を必要とするため、筋肉の厚さは右心室の3倍もある。
 D. ○。心臓の周りには、冠状動脈(太い動脈)があり、血液がそこを通ることにより、心臓の筋肉が酸素や栄養を得ることができる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 59 消化器に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 胃の入り口を噴門という。
 B 小腹は、十二指腸、回腸、空腹の順に構成されている。
 C 大腸では、主に栄養分の吸収が行われる。
 D S状結腸に続いて直腸がある。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 BD

問題 59 正答 3〇××〇

- A. 〇。噴門とは、胃の入り口の部分、食道から胃に連なる部分をいう。
- B. ×。回腸と空腸の順序が逆である。小腸は、腸のうち、胃の幽門から盲腸の前までの消化管で、十二指腸・空腸・回腸の順に分けられる。消化、栄養素の吸収を行う。
- C. ×。小腸の説明である。大腸は、消化管のうち、小腸と肛門との間の太い腸の部分で、盲腸・結腸・直腸に分けられ、腸内細菌による発酵や水分の吸収などが行われる。
- D. 〇。大腸は、消化吸収された残りの腸内容物をため、水分を吸収しながら大便にするところである。大腸は、約 2m の長さがあり、結腸、直腸、肛門からなる。小腸から大腸に移行するところに回盲弁があり、盲腸の下端に虫垂突起がある。盲腸から続いて上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸と続き、直腸、肛門になる。肛門に近い約 20cm を直腸、それ以外の部位を結腸と呼ぶ。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 60 ホルモンとそれを分泌する臓器に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 成長ホルモン……………下垂体前葉
- 2 インスリン……………膵臓
- 3 アドレナリン……………副腎
- 4 プロゲステロン……………卵巣
- 5 バゾプレッシン(抗利尿ホルモン) ……甲状腺

問題 60 正答 5〇〇〇〇×

1. 〇。成長ホルモンは、下垂体前葉から分泌されるホルモンであり、その働きは①蛋白質合成、②軟骨発育促進、③脂肪分解作用、が重要である。
2. 〇。インスリンは、膵臓のランゲルハンス島β細胞で生成され、血液中に分泌される。分泌されたインスリンは、肝臓に向かう門脈を通り肝臓に達し、肝静脈を経て全身の組織に送られる。糖尿病は、インスリンの作用不足によって引き起こされる慢性の高血糖状態である。
3. 〇。副腎は、左右の腎臓の真上にある三角形の小さな臓器(6g程度)である。中心部は髄質、そのまわりは皮質と呼ばれ、副腎髄質からは、交感神経系の機能を増強するアドレナリン、ノルアドレナリンを分泌し、皮質からは副腎皮質ホルモンを分泌する。副腎皮質ホルモンは、コレステロールから代謝を受けて作られ、ステロイドホルモンといわれる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

4. ○。卵巣からは、何種類かのホルモンが分泌される。卵胞からはエストロゲンが、黄体からはプロゲステロンおよびエストロゲンが分泌される。これらのホルモンは、メスの体に機能的な変化を起こさせ、排卵、受精、着床、妊娠といった一連の現象を引き起こすために重要である。また、更年期障害は、特にエストロゲンの分泌量の低下が大きくかかわっている。

5. ×。甲状腺ではなく脳下垂体である。脳下垂体の後葉より分泌されるバソプレッシン(抗利尿ホルモン)は、腎臓に作用して血液中の水分が尿中に排泄されるのを調整する。腎臓の機能が正常でもバソプレッシンの分泌が不足すると多尿になる。甲状腺から分泌されるのは甲状腺ホルモンであり、一般に全身の細胞に作用して細胞の代謝率を上昇させる働きをもつ。甲状腺ホルモンが過剰に分泌されることによりバセドウ病になる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 61 若年者より高齢者に多いとされる現象に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 複数疾患の共存
- 2 安定的な水分代謝
- 3 胸痛のない心筋梗塞
- 4 日和見感染
- 5 薬物排泄能の低下

問題 61 正答 2○×○○○

1. ○。高齢者は、高血圧症、糖尿病、心臓病などの病気を複数もっている場合が多い。
2. ×。安定的でなく不安定である。加齢による体内細胞の減少に伴って体内水分量も減少するため、簡単に脱水や低栄養に陥る状況にある。
3. ○。認知症高齢者などでは、心筋梗塞が起こっていても普段より元気がない程度に見えるなど、典型的な症状を示しにくい。
4. ○。日和見感染とは、健康な人では感染症を起こさないような病原体(弱毒微生物・非病原微生物・平素無害菌などと)が原因で発症する感染症で、①細菌性日和見感染(MRSA 感染症、大腸菌感染症、緑膿菌感染、肺結核など)、②真菌性日和見感染(カンジダ症、アスペルギルス症など)、③原虫性日和見感染(トキソプラズマ症、ニューモシステス・カリニ肺炎など)、④ウイルス性日和見感染(ヘルペス感染症など)、などである。
5. ○。高齢者は、肝臓での薬物代謝能の低下や、腎臓での薬物排泄能の低下など生理機能の老化により、副作用が出やすい。高齢者に対する薬物療法では常用量の 1/2～1/3 から開始するほうがよいとされる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 62 次の文章の空欄 A, B, C に該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

骨粗鬆症では、【A】、大腿骨頸部、橈骨遠位部に骨折を生じやすい。加齢による骨量の減少は、一般に【B】に強く生じる。骨粗鬆症の予防には、カルシウムの摂取、運動による骨形成促進、日光を浴びることによる【C】の産生促進などが重要である。

(組み合わせ)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

	A	B	C
1	踵骨	女佐	ビタミン A
2	踵骨	女性	ビタミン D
3	踵骨	男性	ビタミン A
4	椎骨	女性	ビタミン D
5	椎骨	男性	ビタミン D

問題 62 正答 4×××○×

A. 椎骨。B. 女性。C. ビタミンD。

●骨粗鬆症になると、初期には背骨や腰骨がつぶれて背が低くなったり、背中や腰が丸くなったり、その部分に痛みが生じて、病気の進行によって骨折しやすくなる。骨粗鬆症と診断された場合は、骨のカルシウム量を増やすことと転倒によって骨折することを防ぐことが大切である。骨粗鬆症の食生活としては、カルシウムを十分に摂る必要がある。日本人に必要とされるカルシウムは、1日あたり600mgとされ、牛乳を食事に加えるような対応が必要となる。カルシウムは、緑黄色野菜、豆類、魚類には多く含まれている。牛乳1本200mlでカルシウム200mgが摂取でき、また、きのこに含まれているビタミンDは、カルシウムの吸収を高める。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 63 疾患とその診断に有用な検査対象に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 高血圧…………… 血小板
- 2 糖尿病…………… ヘモグロビン A1C
- 3 バセドウ病…………… 甲状腺ホルモン
- 4 ネフローゼ症候群…尿タンパク
- 5 痛風…………… 尿酸

問題 63 正答 1×○○○○

1. ×。血小板ではなく血圧である。肥満や糖尿病などの危険因子がない場合、高齢者では最大血圧が140～160mmHg以下、最小血圧が90mmHg以下にコントロールすることが、当面の治療目的となる。血小板は、血液の成分の一つで、血液を凝固させ、止血作用がある。
2. ○。現在はヘモグロビン A1c(HbA1c)の値で糖尿病の判断をされる(6.0%以上は糖尿病と診断される)。
3. ○。バセドウ病は、過剰に甲状腺ホルモンを作る疾患で、甲状腺機能亢進症を起こす代表的な疾患である。原因不明の疾患であるが、甲状腺の働きを抑えることができれば、健康な人と変わらない生活を送ることができる。
4. ○。ネフローゼ症候群は、大量のタンパクが尿中に漏出することにより発症する症候群である。低タンパク血症、浮腫、高脂血症を呈し、入院による安静が必要である。
5. ○。血液中の尿酸が増えすぎた状態が高尿酸血症であり、尿酸が増えすぎると血液中に溶けていることがで

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

きず、関節に尿酸が尿酸ナトリウムの結晶としてたまる。これが原因で急性関節炎を起こした状態が痛風発作である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 64 成人の安静時における次の状態で、正常と判定されるものに○、異常と判定されるものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 一日の尿量が 400ml
- B 1 分間の脈拍数が 110
- C 1 分間の呼吸数が 28
- D 血圧が 120/70mmHg

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 64 正答 5×××○

A. ×。成人の尿量は1日 800～1,500mlである。尿量の異常は、①多尿:1 日の尿量が 3,000ml以上、②乏尿:1 日の尿量が 400ml以下、③無尿:1 日の尿量が 100ml以下(膀胱内に尿がたまっていても排泄できないのは閉尿であるが、膀胱内に尿はたまっていない状態)、である。

B. ×。通常の脈拍数は 60～100 回/分で規則的なリズムとして触知される。脈拍に不整脈の存在があると、頻脈(100 回/分以上)や徐脈(50 回/分以下)として認識される。

C. ×。健康な成人の安静時の呼吸数は 12～18 回/分である。一般に、乳幼児は呼吸数が多く、高齢者は少ない。

D. ○。血圧値の正常値の目安は、最大血圧が 130mmHg 未満、最小血圧が 85mmHg 未満である。高血圧症の多い高齢者では最大血圧が 140～160mmHg 以下、最小血圧が 90mmHg 以下にコントロールすることが、当面の治療目的となる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 65 血圧に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 最低血圧とは、心臓が収縮したときの血圧である。
- B 白衣高血圧では、外来受診時に血圧が高値を示す。
- C 高齢者では収縮期高血圧が多い。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D 降圧剤の一つにカルシウム拮抗薬がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問題 65 正答 4×○○○

A. ×。最低血圧ではなく最大血圧である。血圧は、心臓の収縮によって、血液が大動脈に送り出されるときに最大となる血圧値を収縮期血圧(最大血圧, 最高血圧)という。また、心臓と大動脈の間の弁が閉じ、心臓が拡張するときには、心臓から送り出される血液の流れが止まり、血圧は最小となり、このときの血圧値を拡張期血圧(最小血圧, 最低血圧)という。

B. ○。白衣を着た医者の前で緊張して血圧が上がることから、白衣高血圧と呼んでいる。初診時1回だけではなく再診時でも、高血圧であることが定義上必要である。正常血圧とされている人の20から30%に白衣高血圧が見られるといわれている。

C. ○。収縮期血圧は加齢に伴い直線的に上昇する。一方、拡張期血圧は30~50歳の間は上昇し、50~60歳で横ばいとなり、60歳以降になると低下する。

D. ○。カルシウム拮抗薬は、筋肉細胞にカルシウムイオンが流入するのを抑える働きがあり、血管が拡張し、血圧が下がる。糖や脂質の代謝に悪い影響を与えないので、糖尿病、高脂血症、腎機能障害にも幅広く用られ、特に合併症をもつ高齢者に向いているといわれる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 66 脳血管疾患に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 発症の危険因子のうち、最も重要なものは高コレステロール血症である。
 B 廃用症候群を予防することが必要である。
 C 脳出血より、脳梗塞の方が発症頻度が高い。
 D 介護保険制度で、第二号被保険者の要介護認定の要件である特定疾病の一つである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

5 × ○ × ○

問題 66 正答 4×○○○

- A. ×。脳に栄養を運ぶ血管の障害により発症する病気の総称としての「脳血管疾患(脳血管障害)」は、動脈硬化が最大の危険因子である。動脈硬化の原因としては、高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙などがあげられている。
- B. ○。一般に脳卒中リハビリテーションは、急性期、回復期、維持期に分けられる。急性期は発症直後からベッドサイドで開始され、廃用症候群の予防と早期からの運動学習によるセルフケアの早期自立を最大の目標とする。
- C. ○。発症頻度は、脳梗塞が約 60%、脳出血が約 30%、くも膜下出血が約 10%であり、発症時死亡率は、くも膜下出血が約 50%、脳梗塞と脳出血はともに 20%前後であるといわれる。
- D. ○。特定疾患に、「脳血管性疾患(脳出血、脳梗塞など)」が入っている。特定疾患に該当すれば、40歳から64歳でも、要介護状態や要支援状態になった場合には、介護保険制度のサービスが受けられる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 67 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 保健所及び市町村保健センターの設置については、地域保健法に定められている。
- B 医療法によって、都道府県は医療を提供する体制の確保に関する計画(医療計画)を定めることとされている。
- C いわゆる3歳児健康診査の実施主体は、都道府県である。
- D 「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)」には、生活習慣病及びその原因となる課題についての目標値が定められている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 67 正答 1○○×○

- A. ○。地域住民の健康の保持および増進に寄与することを目的として制定された地域保健法は、地域保健対策の推進に関する基本方針で、保健所や保健センターの設置その他の地域保健対策の推進に関して基本となる事項を定めている。
- B. ○。「都道府県は、当該都道府県における医療を提供する体制の確保に関する計画(以下「医療計画」という。)を定めるものとする。」と規定している。(医療法第30条の3)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

C. ×。都道府県ではなく市町村である。「母子保健法」「児童福祉法」などにに基づき、乳幼児の心身両面からの健康保持および増進を図るため、実施主体は市町村として健康診査を実施している。乳児、1歳6か月児、3歳児健康診査を実施し、その結果異常の疑いのある乳幼児については精密検査や医療機関等への紹介を行うとともに保健師等による相談も行っている。

D. ○。人口の急速な高齢化が進む中で、疾病構造が変化し、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病等の生活習慣病が増加している。「健康日本 21」は、①普及啓発の推進、②推進体制整備・地方計画支援、③保健事業の効率的・一体的推進、④科学的根拠に基づく事業の推進、を柱として推進することとし、具体的には、栄養・食生活、身体活動・運動、休養こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がんという9分野、70項目にわたる目標数値を設定している。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 68 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 緑内障では、水晶体が混濁する。
- B 我が国では、アルツハイマー病の患者数は減少傾向にある。
- C 前立腺がんの診断には、腫瘍マーカーが有用である。
- D パーキンソン病の治療の一つに、L-ドーパの投与がある。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 68 正答 5 × × ○ ○

A. ×。緑内障ではなく白内障である。目は、カメラに例えられる。絞りの役割をする虹彩、フィルムの役割をする網膜、レンズの役割をする水晶体と情報を脳に伝える視神経から成り立っている。白内障は、水晶体が濁る病気であり、緑内障は眼圧が関係して、視神経が徐々に障害されてゆく病気である。

B. ×。減少傾向ではなく増加傾向である。高齢化社会の中で、認知症高齢者の増加は大きな社会問題となっている。中でも近年その増加が著しいのがアルツハイマー病である。アルツハイマー病では、記憶・記憶障害を中心とした認知機能障害が日常生活に支障をきたすほどの著しい状態になる。

C. ○。現在、前立腺の早期診断には前立腺腫瘍マーカー(PSA:前立腺特異抗原)が使われる。採血し、その血清で測定する(値により精密検査を行う)。これまでは直腸診、超音波検査も行われていたが、現在はこれらの検査はより診断を確実にするための補助診断として使われ、最終的には、組織検査(前立腺生検)で診断することになる。

D. ○。パーキンソン病の原因は、中脳の黒質線条体という部分の異常で、ドーパミンが不足して起こる。治療は、脳にドーパミンを補充することができる「L-ドーパ」を使う薬物治療が基本となる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【精神保健】

問題 69 精神病院への入院制度に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 任意入院が可能な場合でも、医療保護入院が優先される。
- B 応急入院では、医療及び保護の依頼があった者について、一定の条件に該当する場合は、本人の同意がなくても 96 時間を限り、その者を入院させることができる。
- C 措置入院とは、保護者がいない場合に市町村長の措置で入院させる制度である。
- D 医療保護入院では、精神病院の管理者は患者に退院請求等の権利があることを書面で知らせなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 69 正答 5 × × × ○

- A. ×。「医療保護入院」ではなく「任意入院」である。任意入院は、精神障害者本人の同意に基づく入院であり、精神病院への入院を考える場合は、最優先に考えるべき入院方法である。また、精神病院管理者は、本人の同意に基づいて入院させるよう努めなければならないとされる(精神保健福祉法第 22 条の 3)。
- B. ×。96 時間ではなく 72 時間である。精神病院の管理者は、「医療および保護の依頼があった者で、急速を要し、保護者の同意が得られない場合に置いて、指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療および保護を図るうえで著しい支障があるときは、本人の同意がなくても 72 時間に限り入院させることができる。応急入院させた場合、精神病院の管理者は、直ちに都道府県知事に届け出なければならない。」と規定されている(精神保健福祉法第 33 条の 4)。
- C. ×。市町村長ではなく都道府県知事である。都道府県知事は、指定 2 名以上の一致した診察の結果、入院させなければ精神障害者とその精神障害のために自身を傷つけ、または他人に害を及ぼすおそれがあると認めるときは、国や都道府県の設置した精神病院または指定病院に入院させることができる(精神保健福祉法第 29 条)。また、緊急を要する場合は指定医 1 名の診察で、72 時間に限り緊急措置入院をさせることができる(精神保健福祉法第 29 条の 2)こととなっている。
- D. ○。医療保護入院に際して、精神障害者に対して退院請求ができるなどの入院中の権利について、書面で知らせなければならないが、その者の医療および保護を図るうえで支障がある場合には、4 週間に限り延期する

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

ことができる, こととなっている。(精神保健福祉法第 33 条の 3)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 70 アルツハイマー型痴呆に関する次の記述のうち, 正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 認知症をもたらす疾患では最も頻度が高い。
- B 病状増悪期を繰り返しながら階段状に障害が重度となる。
- C 短期記憶に比べ長期記憶や手続き記憶は比較的よく保たれる。
- D 脳の画像診断で梗塞巣が見出される。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 70 正答 2〇×〇×

A. 〇。アルツハイマー病は, 認知症の原因疾患の中でも最も頻度が高い。毎年 9 月 21 日は「世界アルツハイマーデー」とされている。

B. ×。脳血管性痴呆の説明である。脳の血管の動脈硬化によって起こるのが脳血管性痴呆, 脳細胞の萎縮によって起こってくるのがアルツハイマー型痴呆である。血管性痴呆は段階的に進行し, アルツハイマー型は連続的に進行する。

C. 〇。短期記憶とは, 20~30 秒くらいで忘れてしまうような記憶である。長期記憶とは, ①近時記憶(時間, 日の単位で持続する記憶), ②遠隔記憶(より長く持続する記憶)である。また, 手続き記憶は, 身体的記憶(自転車に乗れる, 水泳が出来るなど)である。

D. ×。脳血管性痴呆の説明である。アルツハイマー型痴呆では, CT・MRI で脳萎縮が見られ, SPECT で脳血流の低下をみる。脳梗塞と脳出血によって引き起こされる脳血管性痴呆では, CT・MRI で脳塞巣がみられる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 71 うつ病患者の次の訴えのうち, 自殺に至る危険信号として最も重視すべきものを一つ選びなさい。

- 1 食事がおいしくない。
- 2 家族に迷惑をかけている。
- 3 どこにも行きたくない。
- 4 人と話すのは面倒だ。
- 5 何をするのもおっくうだ。

問題 71 正答 2×〇×××(設問が一面的で疑義がある)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 「うつ病自体が、自殺の危険信号」であるという認識が必要である。一面的な設問のように思われる。
- 自殺の意志があるうつ病の人からのメッセージに対する留意点として、①話を聞く、②感情のおもむくままに話してよいことを保証する、③決して批判をせず、自分の思いを存分に話してもらい、④自殺をしないことを約束させる、などといわれている。

1. ×。2. ○。3. ×。4. ×。5. ×。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 72 アルコール依存症の治療に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 何よりも禁酒を継続することが大切である。
- 2 節酒に努めるよう説得する。
- 3 時々、思う存分飲酒させる。
- 4 時間を決めて適量を飲ませる。
- 5 失敗して飲酒してしまったら、すぐに嫌酒薬を服用させる。

問題 72 正答は 1 であるが、筆者は「解なし」×××××が正答と考える(1 は不適切である)

●アルコール依存症の回復に必要不可欠なことは「断酒」である。断酒会では「一日断酒」といい、明日のことはわからないので、ひとまず、今日・現在のことだけ考えて、今日一日飲まずにいられたら、自分を誉めてあげ、その繰り返し、成功につながるとされている。断酒を続けるための 3 本柱は、①専門医療機関への通院、②自助グループへの参加、③抗酒剤の服用、である。

1. ×。「禁酒」ではなく「断酒」でなければならない。「禁酒」は誤りである。2. ×。3. ×。4. ×。5. ×。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【介護概論】

問題 73 高齢者虐待等に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 同居家族による介護は、閉鎖的になりやすいため、虐待の発見が遅くなる場合がある。
- B 自分の意思で開けることのできない居室等に隔離しても、身体拘束とはいえない。
- C 高齢者虐待には、高齢者所有の不動産などを不当に処分することが含まれる。
- D 高齢者虐待とは、身体に傷を負わせることをいい、著しい心理的な外傷を与えることはその範疇に入らない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 3 ○ × ○ ×
 4 × ○ ○ ×
 5 × × × ○

問題 73 正答 3○×○×

A. ○。「高齢者虐待防止法」が 2005 年に制定され、2006 年 4 月から施行された。これにより児童虐待防止法、DV 防止法に続いて高齢者虐待防止法が成立したことになる。児童虐待、DV と異なり、高齢者虐待は施設や自宅など閉鎖的な場所で起きるため、外部の目が入るような法制度になることが望まれていたものである。

B. ×。身体拘束に該当する。「身体拘束ゼロへの手引き」によれば、「介護保険指定基準において禁止の対象となっている行為は、身体拘束その他入所者（利用者）の行動を制限する行為である。具体的には次のような行為があげられる。

- ①徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
- ②転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
- ③自分で降りられないように、ベッドを柵(サイドレール)で囲む。
- ④点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。
- ⑤点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミン型の手袋等をつける。
- ⑥車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったりしないように、Y 字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。
- ⑦立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する。
- ⑧脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣(つなぎ服)を着せる。
- ⑨他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。
- ⑩行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。
- ⑪自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する。」とされている。

C. ○。高齢者虐待とは、「高齢者虐待」とは家庭での養護者又は施設等の職員による次に掲げる類型の虐待をいう。①身体的虐待(暴行)、②養護を著しく怠ること(ネグレクト)、③心理的虐待(心理的外傷を与えるような言動)、④性的虐待、⑤経済的虐待(高齢者から不当に経済上の利益を得ること)

D. ×。範疇に入る。C の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 74 次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 関連する機関や人が連携してサービスを提供する場合には、個人情報保護することよりも共有することを常に優先させる。
- B 介護従事者は、医師の質問に対して利用者自身ができるだけ自分で答えることができるように援助する。
- C 社会福祉士及び介護福祉士法では、介護福祉士は、介護の過程で医療行為を行ってよいと定めている。
- D 介護支援専門員は、利用者が住宅改修を希望した場合、必要に応じて作業療法士などに相談するよう助言す

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

る。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 BD

問題 74 正答 5×○×○

A. ×。「共有することを常に優先する」は誤りで、個人情報の保護の優先が原則である。「あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。」と規定されている(個人情報保護法第 23 条)。個人情報保護法は、個人の権利と利益を保護するために、個人情報を取扱う事業者に対して個人情報の取り扱い方法を定めた法律で、2005 年 4 月 1 日に全面施行された。

B. ○。「介護従事者は、医師からの症状に関する質問に対して、利用者自身が自分でできるだけ直接答えられるように援助する。」は適切であり、同じ問題が第 15 回問題 77C で出題されている。

C. ×。医療行為を行ってよいではなく医療行為は禁止されている。医師法第 17 条で医療行為が医師の独占業務であることを定めている。社会福祉士および介護福祉士は、「医(療)行為」は実施できないが、厚生労働省は、2005 年 7 月 26 日の通知において、医師や看護師が行う「医(療)行為」の範囲について、爪切りや耳あかの除去など 11 項目を原則医(療)行為ではないとの解釈を示した。

D. ○。作業療法とは、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせることをいう。」と規定されている(理学療法士及び作業療法士法第 2 条第 2 項)。家庭復帰する場合には、退院前に直接家庭訪問し、本人・家族に住宅改修や福祉用具等の指導、相談、援助を行っている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 75 健康に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「健康日本 21」の目的は、乳幼児死亡率の減少である。
- B 「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」によれば、健康寿命とは、認知症又は寝たきりにならない状態で生活できる期間をいう。
- C 健康増進法により、受動喫煙の防止に関することが定められた。
- D 利用者の健康維持・増進のためには、介護従事者が自身の健康観に基づく主観的な判断によって、利用者にかかわることが重要である。

(組み合わせ)

- A B C D
- 1 ○ ○ ○ ×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 2 ○ ○ × ○
 3 ○ × × ×
 4 × ○ ○ ×
 5 × × ○ ○

問題 75 正答 4×○○×

A. ×。「乳児死亡率の減少」は目的にはない。健康日本 21 の目的は、「21 世紀の我が国を、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現することを目的とする。」とされている。すなわち、①働き盛りにおける死亡の減少、②健康寿命の延伸、③生活の質(QOL)の向上である。

B. ○。健康増進法第 7 条に基づく、「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」は、平成 15 年に告示された。そのなかで、「健康寿命(痴呆又は寝たきりにならない状態で生活できる期間をいう。)の延伸及び生活の質の向上を実現することを目的として、国民の健康(心身の健康)の増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示す」とされている。

C. ○。受動喫煙の防止において、「学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙(室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいう。)を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない。」と規定されている。(健康増進法第 25 条)

D. ×。健康管理は主観に基づく介護者個人の健康観で対応すべきではない。医療を行う医療機関でない場合には、健康管理や緊急時の対応など施設等で提供されるサービスは、医療と密接なかかわりをもっているため、嘱託医や協力医療機関を定めて、医療面のサポートをする必要がある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 76 介護福祉士の対応に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 利用者が不眠を訴えたので、市販の睡眠改善薬の内服を勧めた。
- 2 利用者が、朝、薬を飲み忘れたので、昼に 2 回分の内服を勧めた。
- 3 薬の内服は胃粘膜をおかしやすいので、薬はすべて食後に内服するよう利用者に勧めた。
- 4 利用者が貧血の治療のため鉄剤を服用していたので、緑茶の飲用をやめさせた。
- 5 利用者の口腔内に薬が残っていないか、口腔ケアの際に確認した。

問題 76 正答 5××××○

1. ×。介護福祉士の対応として、市販の薬の内服をすすめるのは適切ではない。医師法第 22 条(処方せんの交付義務)において、医師の処方せんに基づいて出される「医療用医薬品」は、疾病治療の手段として患者に授与されるもので、用法指示についても、医師自らが処方せんに記載することになっている。医薬品は、その治療目的により、厳密に投与量を設定しなければならないものや服用量についても定められた量を遵守する必要があるものなどがあり、患者の症状に合わせて「医師が処方」し、薬剤師が医師の処方に基づき調剤することが基本であ

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

る。

2. ×。医師の処方指示に従わなければならない。1の解説を参照のこと。
3. ×。医師の処方指示に従わなければならない。1の解説を参照のこと。
4. ×。独断で緑茶をやめさせるべきではない。患者から医師に報告してもらい、医師が処方変更を含めて検討する問題である。緑茶のなかのタンニンは、鉄を吸着して吸収を阻害する。問題になるのは、貧血のために鉄剤を内服している場合であるが、一緒に飲まなければ大丈夫との見解もある。
5. ○。口腔ケアの際に確認することは医療行為ではなく適切である。社会福祉士及び介護福祉士法第2条の2項において、介護福祉士は、日常業務の介護が主であり、治療の一端に含まれる服薬介助は、その業務に含まれていないと考えられている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 77 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護過程とは、利用者の生活上のニーズを充足するために、問題を抽出するまでの過程をいう。
- B 居宅介護支援とは、居宅サービスを提供することであり、居宅サービス計画の作成は含まない。
- C 指定居宅介護支援事業所の管理者は、介護支援専門員に居宅サービス計画の作成に関する業務を担当させることとされている。
- D 施設サービス計画を作成する際のアセスメントに当たっては、入所者又はその家族のいずれかと面接すればよいこととされている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	×

問題 77 正答 5 × × ○ ×

- A. ×。介護過程のうちアセスメントまでの説明である。介護過程は、限られた状況のなかで、主に介護の専門領域に照らし合わせて、その都度、利用者の抱える身体的・精神的・社会的な課題に取り組んでいく実践課程である。一方、ケアマネジメントは、利用者のニーズの充足に向けて、多様な社会資源を活用していく過程であると説明される。しかし、介護過程はケアマネジメントの過程と極めてよく似ている。その過程は、①情報の提供、②情報の収集、③アセスメント、④ケアプランの作成、⑤ケアプランの実施、⑥モニタリング、⑦再検討、である。
- B. ×。居宅サービス計画(ケアプラン)は含まれる。介護保険サービスを利用するには、ケアプランを作成する必要がある。ケアプラン作成を請け負うケアマネジャーがいる事業者が居宅介護支援事業者である。ケアプラン作成にかかる費用は全額を介護保険から支払われるので、利用者負担はない。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

C. ○。指定居宅介護支援の具体的取扱方針において、「指定居宅介護支援事業所の管理者は、介護支援専門員に居宅サービス計画の作成に関する業務を担当させるものとする。」と規定されている。(指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準第13条第1項)

D. ×。「入所者または家族」ではなく、「入所者および家族」である。介護保健施設サービスの取扱方針において、「計画担当介護支援専門員は、前項に規定する解決すべき課題の把握(以下「アセスメント」いう。)に当たっては、入所者及びその家族に面接して行わなければならない。この場合において、計画担当介護支援専門員は、面接の趣旨を入所者及びその家族に対して十分に説明し、理解を得なければならない。」と規定されている。(介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準)

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 78 高齢者の一般的傾向に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 体性感覚が鈍麻し、転倒の危険性が增大する。
- B 味覚が低下し、濃い塩味を好むようになる。
- C 入眠障害の有無にかかわらず、中途覚醒は少ない。
- D 適応能力が低下し、環境の変化に対応しにくくなる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 78 正答 2○○×○

●高齢者の身体・精神的特性を理解するには、医学的知識と経験が必要であるといわれる。高齢者の疾病や身体機能の低下には、①個人差が大きい、②多臓器障害、合併症を起こしやすい、③副作用がしやすい、④急変しやすい、などの特徴の理解が必要である。ただし、個人的な傾向を一般的傾向としてとらえがちになることを注意すべきである(たとえば、高齢者は虚弱である。また、高齢者に多い疾病および特定疾病の理解も必要である。

●近年では、社会の高齢化に伴い、いわゆるバリアフリーやユニバーサルデザインとして、高齢者や障害者にも健常者と同様に、種々のモノが利用できる環境づくりが叫ばれるようになってきている。また、「人に優しい技術」や「人間中心のものづくり・環境づくり」といった「人間」に焦点を合わせた新しい技術視点が重要視され、こうした技術トレンドのとして「人間生活工学」などの考え方が注目され、研究が進んでいる。その場合に、高齢者の一般的傾向の分析や解析が通して、高齢者を含む人間特性のデータベースの構築がなされている。

A. ○。B. ○。C. ×。高齢者には睡眠障害も見られ、入眠障害、途中覚醒などが特徴である。D. ○。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 79 介護従事者本人の感染予防対策に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 手指の汚染菌の除去には、流水と石鹼を使ったもみ洗い式手洗いよりも、消毒薬を入れた洗面器に浸すほうが効果的である。
- B インフルエンザが流行する兆しがあったので、インフルエンザワクチンの予防接種をした。
- C 体力が低下しているときには感染しやすいことを認識し、健康管理を十分に行う。
- D 疥癬に罹った利用者に接触した衣類は、洗剤を用いて水で洗濯すればよい。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 BD

問題 79 正答 4×〇〇×

A. ×。感染予防対策は、「うがい、手洗い(石鹼と流水で30秒以上)の励行」が基本である。なお、さらにアルコールを基剤とする速乾性擦式手指消毒剤を用いて、手指の消毒をするなどを行う必要もある。また、手洗後は手をよく乾燥させる。職員の感染経路を防ぐために、マニュアルを作り、感染防止対策を統一して、施設内での感染発生や蔓延を防止する必要がある。特に、疥癬の有無、傷・疼痛部位の有無、結核、B型肝炎などの既往歴もしっかり調べて、施設内で(職員や施設利用者から)感染症が発生しないように注意する必要がある。

B. 〇。毎年インフルエンザの流行シーズンには、職員を含め入所者が全員インフルエンザワクチンの予防接種を受けている介護保険施設も少なくない。

C. 〇。介護者自身が感染しないことと、さらに介護者が病原菌の媒介者とならないように注意する。健康に気を付けて、介護者自身の抵抗力を高めておく。高齢者や抵抗力の弱い人が感染すると、危険な状態となることがある。

D. ×。洗剤を用いた水による洗濯だけでは適切ではない。ヒゼンダニは熱に弱い(50℃10分程度で死滅)ので乾燥機は有効で、熱湯消毒も同じく有効である。なお、洗濯は疥癬の人の分は分けて行う。布団などはまんべんなく日に当てて干す。入浴の日時を考慮し、例えば施設においては、入浴順序を最後にするなどの対応をし、硫黄剤の使用も効果的である。また、衣類から感染することのないよう、脱いだものは直接触れず、他のものと別にする。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 80 次の記述のうち、適切なものに〇、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- A 日本介護福祉士会倫理綱領において、介護福祉士は、自己の実施した介護福祉サービスについて、常に専門職として兼任を負うとしている。
- B 自己決定が困難な認知症高齢者の場合、介護従事者の意思決定が優先される。
- C 介護福祉士は、在宅における終末期のケアに参加することはない。
- D 介護福祉士は、身体上又は精神上の障害がある人に対して福祉に関する相談援助を中心に行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 80 正答 3○×××

A. ○。日本介護福祉士会倫理綱領(1995年11月7日宣言)において、専門的サービスの提供について、「介護福祉士は、常に専門的知識・技術の研鑽に励むとともに、豊かな感性と的確な判断力を培い、深い洞察力をもって専門的サービスに専ら提供に努めます。また、介護福祉士は、介護福祉サービスの質的向上に努め、自己に実施した介護福祉サービスについては、常に専門職としての責任を負います。」と規定されている。

B. ×。いかなる場合でも利用者本人の意思決定が優先される。日本介護福祉士会倫理綱領(1995年11月7日宣言)において、利用者本位、自立支援について、「介護福祉士は、全ての人々の基本的人権を擁護し、一人ひとりの住人が心豊かな暮らしと老後がおくれるよう利用者本位の立場から自己決定を最大限尊重し、自立に向けた介護福祉サービスを提供します。」と規定されている。

C. ×。終末期のターミナルケアにも関わりをもつ。介護福祉士の活動の場が施設中心から在宅へと広がり、介護福祉士は職域や役割の拡大と共に、専門的知識、技術、倫理性をより求められている。さらに、介護の効果は上げるためには他の専門職種とのチームワークなしでは成立しない。当然のことながら、終末期の介護にも関わりをもつことになる。介護福祉士は、ターミナルケアを理解し、利用者とともに家族へのケアについて学び、確固とした自己の死生観をもつことを求められる。

D. ×。社会福祉士の説明である。介護福祉士とは、「第42条第1項の登録を受け、介護福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき入浴、排せつ、食事その他の介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うこと(以下「介護等」という。)を業とする者をいう。」と規定されている(社会福祉士及び介護福祉士法第2条第2項)。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【介護技術】

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 81 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 片麻痺のある人の体温測定は、健側で行う。
- B 呼吸は、意識的に変えることができるので、利用者に気付かれないように測定する。
- C 脈拍の数・リズム・強弱などから心臓の収縮状態を知ることができる。
- D 血圧は、測定時の姿勢には影響されない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 81 正答 1○○○×

- A. ○。片麻痺の場合は、麻痺がない側(健側)で測定する。腋窩の汗は基本的に除去しなくてもよく、測定中は体位を保持する。
- B. ○。呼吸の測定体位はファーラー位か座位が望ましいとされ、呼吸の深さ、リズム、呼吸音、努力性呼吸の有無を観察する。
- C. ○。脈拍の変動要因を極力取り除いてから測定する。脈拍の触知は3指(示指、中指、薬指)の指腹部分を平行にそろえて血管の走行に沿って軽く押さえる。基本的には1分間測定を行う。整脈の場合は30秒間の測定でよい。
- D. ×。測定時の姿勢に影響を受ける。カフを巻く測定部位を心臓の高さと同じにする。測定環境を整えるため、22～24℃に気温を保つ。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 82 在宅高齢者の環境整備に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 居室は、家族と交流しやすい場所がよい。
- B 部屋を冷房する場合、外気の温度によって、こまめに温度を調節することが望ましい。
- C トイレの手すりは、狭くなるので付けないほうがよい。
- D 浴室の戸は、開き戸の場合、外側に開くものが望ましい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 2 ○ ○ × ○
 3 ○ × ○ ×
 4 × ○ × ○
 5 × × ○ ○

問題 82 正答 2○○×○

- A. ○。居室は、日当たりや風通しがよく、トイレに近いとともに、家族の姿が視野に入り、声が届く位置にあることが望ましく、それにより孤独や疎外感をもたずに、いつまでも家族の一員であることが自覚できる。さらに、室温・湿度を調整でき、眺望がいい環境が望ましい。
- B. ○。冷房は、屋外との温度差を5度以内に保つ。温度変化への対応が鈍くなった高齢者や身体機能の障害で自発的な体温調節機能にあまり期待できない人にとっては、高すぎたり低すぎたり温度環境に長時間さらされることは危険で、うつ熱(熱射病)や低体温の好ましくない体調変化を起こしやすいと言われている。
- C. ×。トイレの手すりは、立ち上がり、移乗、座位保持などに必要である。設置場所や高さは障害部位、移乗動作によって異なるので、実際に試して、専門家に相談することが望ましい。
- D. ○。浴室の出入り口は引き戸が望ましく、開き戸にする場合は濡れやすいことから内開きが多いが、緊急発生時を想定すれば、外から戸を開けられる外開きのほうが安心である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 83 寝具に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A ベッドの高さは、利用者自らがベッドから移動できる場合、通常 60cm とする。
- B マットレスや敷き布団は、身体が深く沈み込む柔らかいものにする。
- C 防水シーツは、通常、ベッドの中央より少し頭部寄りに敷く。
- D 枕は、こまめに日光に当てるなどして、乾燥した状態を保つようにする。

(組み合わせ)

- 1 AB
 2 AC
 3 AD
 4 BC
 5 CD

問題 83 正答 5××○○

- A. ×。ベッドの高さは 60cm では高すぎて適切ではない。体勢が不安定にならないように、端座位で下肢が床に着地する高さが望ましい。
- B. ×。マットレスや敷き布団は、柔らかすぎると体が沈み込み、姿勢が悪くなり、疲れやすくなる。また、体勢が著しく不安定になるため、寝返りや起き上がりが自立的に行いにくくなる。
- C. ○。防水シーツは基本的には必要部位に置くが、通常は中央より少し頭部寄りに敷き、横シーツで覆う。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D. ○。枕は、日光に当てて干すなどをして、乾燥させる。そば殻に代わるもので洗うことのできるものがあるが、洗った枕も、十分に乾燥させることが大切である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 84 食事の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の食習慣や嗜好への配慮が、食欲低下の改善につながることもある。
- B 食欲は、生活リズムや精神状態に左右されるため、日頃の生活を知ることは有効である。
- C 片麻痺のある人が臥床したままで食事をする場合、健側を上にして介助する。
- D 食器を選ぶ場合、大きさや重さとともに、個人の好みにも配慮する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 84 正答 1○○×○

- A. ○。高齢になると、それまでの食習慣や嗜好を変更すること自体が苦痛になることがある。食べ慣れた懐かしい故郷の味などが、食欲を引き出すきっかけになることがある。
- B. ○。何をどのくらい食べるのかは、個人の嗜好のほか、生活全体のなかでの優先順位によっても、気候の変化や精神状態によっても、その人らしい傾向を生み出すことになるので、日ごろの生活を知ることは重要である。
- C. ×。片麻痺のある人が臥床したまま食事をする場合の介助は、麻痺側の肩に枕をあてがい、健側を下にした軽度側臥位にする。
- D. ○。自分の好み食器や箸類であることが、おいしく楽しい食事摂取をするためには重要である。食器や箸類を選択する場合には機能面や安全面などだけではなく、個人の好みを尊重することは大切である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 85 訪問介護員が、医療機関に搬送するまでの緊急時に行った行為に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 嘔吐物の中に血液が混入していたが、少量だったので、水分をとらせた。
- 2 ひねった足が腫れてきたので、足を包帯で固定し、冷やした後、挙上した。
- 3 鼻出血が止まらないので、頸部を後屈させ後頭部を軽く叩いた。
- 4 転倒して腕が腫れあがり変形したので、変形を正常な位置に戻して固定した。
- 5 衣服の上から熱湯を浴びたので、すぐに衣服を脱がせて水で冷やした。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 85 正答は 2 とされているが、筆者は「解なし」××××が正答と考える(2 は不適切である)

1. ×。手当ての基本として、原則として飲食物は与えない。できる限り吐物を見せないようにし、しっかりした態度や言葉遣いによって力づける。医療機関に嘔吐の内容物などを持っていくと診察の参考になる。
2. ×。手当ての順序が逆である。まずは患部を冷却して、痛みが引いてきたら、足関節を固定する。捻挫は関節がはずれかかっただけでなく、関節周辺の靭帯、筋肉も障害を受けていることがあり、外見以上に重症のケースがよくある。
3. ×。後頭部をたたくのは誤りである。措置としては、鼻を冷湿布しながらつまむ、ガーゼか脱脂綿を丸めて鼻につめ、鼻先をつまむ、椅子やクッションに上体を 45 度の姿勢でよりかかり安静にする、などを行う。
4. ×。変形をもとに戻そうとするのは誤りである。骨折には、単純骨折と複雑骨折がある。全身の状態を観察して、骨折が疑われる症状であれば手当てをするが、骨折部を正常に戻そうとすると、神経、血管を傷つける場合があるので、その状態のまま、対象者の一番楽な体位に固定する。
5. ×。すぐに衣服を脱がせるのは誤りである。着衣の上から熱湯を浴びた場合には、着衣の上から冷水をかけて冷やすが、氷水があればさらによい。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 86 外出の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 片麻痺のある人の車いすからタクシーへの移乗介助では、麻痺側から乗車させる。
- B 片麻痺のある人のバスへの乗車介助では、一段上から引き上げるようにする。
- C 片麻痺のある人の下肢装具の装着介助では、膝を曲げて下腿三頭筋の筋緊張をゆるめて行う。
- D シルバーカーは、歩行器と比較して一般的に安定性が低い。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 86 正答 5 × × ○ ○

- A. ×。患側でなく健側である。ドアや座席にピッタリ車椅子を寄せずに、少し離して車椅子をセットする。その間に、立って身体を回し、介助者が入りこむスペースとなる。はじめは横向きで臀部を降ろし、次に片足ずつ車の中に入れ、両足ともはいたら、上半身を辞儀して臀部を後ろに下げる。降りる場合には逆順となる。
- B. ×。引き上げるのは誤りである。介助者は患側後方に位置して、転倒を防止するのが原則である。患側下肢で支持できずに患側の後方に転倒することが多い。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

C. ○。膝を曲げて、ふくらはぎの筋肉をリラックスさせて行くと足が尖足位にならず装着しやすい。通常は、椅座位で膝を曲げて装着する。

D. ○。シルバーカーは、体の正面で押し手をつかむので、前後方向の安定性は向上する。左右方向の安定性はあまり向上しないので、歩行能力が低下した場合には、左右方向の安定性を確保するとより効果的である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 87 高齢者の排泄の介助に関する次の記述のうち、暮切なもの組み合わせを一つ選びなさい。

- A おむつ交換の回数が増えることを気にして、水分摂取を控えてしまう人には、水分を摂取するように促す。
- B 排尿回数や尿の量・色を観察し、異常があった場合は、看護師等医療従事者に報告する。
- C 便秘で腹部をマッサージするときは、時計と反対回りにする。
- D トイレに間に合わず失禁した場合は、すぐにポータブルトイレに切り替える。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 87 正答 1○○××

A. ○。水分を控えずに、排尿しなくなったときは、失禁したときには、いつでも遠慮なく知らせてもらえばよいことを伝えるのが基本である。高齢者でも 1 日 1500～2000mlの水分摂取を必要とする。高齢者は、水分が不足すると腎機能が低下し、尿量が増え膀胱容量も減少し、夜間排尿回数が増えるので、早朝の血液濃縮傾向を起しやすくなる。昼間の水分摂取や夜間や早朝にコップ 1 杯の水分を取るようにするとよい。しかし、夕食後の多量な水分摂取は控えたほうがよい。失禁に振り回されずに、日常生活が送れるように介護することが重要である。

B. ○。排泄物の性状、回数、量は健康のパロメーターとしてとらえる。異常を感じた場合には、直ちに医療従事者に報告する。

C. ×。「時計と反対回り」は誤りである。便秘の運動療法として、上行から横行、下行結腸へと時計回りで、「の」の字を描くように腹部をマッサージする。その他、腹筋の増強運動や自動的あるいは他動的な全身運動が効果的であるといわれる。

D. ×。すぐに切り替えるのは誤りである。ポータブルトイレは、歩行は可能だが、トイレに行くまでに不安のある人や麻痺があり歩行困難な人などが対象である。介護者が安易な気持ちで、ポータブルトイレやオムツを導入すると、利用者の自立心を失わせ、社会性や人間の尊厳も低下させることにもつながる。介護者は利用者の気持ちを大切に、自立への手助けをすることが大切である。高齢者に多い失禁は、切迫性尿失禁であるが、女性の場合は腹圧性尿失禁が、男性の場合は前立腺肥大症による溢流性尿失禁が加味され、病因を 1 つに絞れない混合型のものも多くみられる。また、膀胱の機能に異常はないが、ADL(日常生活動作)の低下、見当識障害、痴呆といった要因のために尿失禁をきたす機能的尿失禁が多いのも、高齢者での特徴である。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 88 高齢者の清潔の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 義歯は、歯肉の損傷防止等のため原則として寝る前には外し、水に浸して保管する。
- B 口腔ケアは、肺炎予防には効果がない。
- C 洗髪は、シャンプー液を手掌に取り、よく泡立てた後、頭皮を指腹でマッサージするように行う。
- D 入浴を拒否する原因には、排泄の失敗などで下着が汚れている場合もある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 88 正答 3○×○○

- A. ○。就寝中は窒息予防のため、義歯をはずし、水を入れた専用の容器に保管するのがよい。容器には必ず水をはり、落下の際の義歯の破損を防ぐ。
- B. ×。口腔内の食べかすや、逆流死体の内容物が期間から肺に入ることによって細菌感染を起こしやすいので、予防として口腔の清潔を保つことが大切である。肺炎は日本人の死因第4位で、抵抗力が低下している高齢者の誤嚥による肺炎には注意しなければならない。
- C. ○。利用者に確かめつつ、40℃程度くらいの湯を少しずつかけて髪をぬらして、シャンプーをあわ立てて、指先の腹で頭部全体を、頭皮を押し出すように洗い、軽くマッサージしながら洗う。
- D. ○。排泄の失敗や管理がうまくできずに下着が汚れている場合も、他人に見られたくないとの思いから入浴を拒否することがあるが、衛生管理面から清潔を維持する必要がある。入浴に際しては、利用者の希望や習慣を把握したうえで、入浴について利用者に説明し、了解を得ることが重要である。また、利用者のプライバシーにも配慮する。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 89 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 尖足予防には、装具等を用いて足関節を90度に保ったり、足関節の背屈運動をしたりする。
- B 自力で体位変換できない人では、安眠のため夜間の体位変換は行わない。
- C ベッド上で仰臥位の人を移動する場合、持ち上げずに水平に動かす方が介護従事者の負担は少ない。
- D 褥瘡の好発部位は、仙骨部等の体重がかかって持続的に圧迫される骨の突出部である。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問題 89 正答 2○×○○

A. ○。脳血管障害等により足関節に内反尖足が出現する。尖足予防は、姿勢を真っすぐにして、低めのまくらをあてる。足は、足板で支え、足の指が上を向いている状態(90度)がよい。また、背屈運動を行う。

B. ×。夜間においても体位変換は必要である。同一部位で長時間の圧迫を避けるためには、定期的な体位変換が必要である。急性期には特に注意を要する。なお、定期的に体位変換が困難な場合には、エアーマットなどの予防用具を活用する。

C. ○。さらに、ベッドからストレッチャーへの移動では、大き目のタオルケットを身体の下に敷き、頭部にいる介護者と足部にいる介護者により、タオルケットの両端を手前に引きながら持ち上げ、同時にストレッチャーに片足をついた介護者がタオルケットを手前に引き寄せる方法が基本となる。

D. ○。骨が突出していて体圧が集中しやすい部分が褥瘡の好発部位である。好発部位には仙骨部、大転子部、坐骨部などがあげられる。褥瘡は圧迫の他、加齢による皮膚弾力の低下、摩擦、ずれ、失禁による不潔な湿潤、栄養不良状態、糖尿病などの併発、介護、看護の不足など多くのことが原因で発症する。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 90 訪問介護員が一人暮らしの利用者宅に一人で訪問した時、利用者が倒れているのを発見した。身体を軽く叩きながら「大丈夫ですか」と大声で呼びかけたが、反応がなかった。その後すぐにとるべき行動に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 人工呼吸を開始した。
- 2 息・咳・体動きなどの「循環のサイン」を確認した。
- 3 大きな声で周囲に助けを求め、すぐに119番に通報した。
- 4 心臓マッサージを開始した。
- 5 気道を確保して呼吸を確認した。

問題 90 正答 3××○××

●人命に関わる緊急の実際の場面で、一人の人間として1～5の処置が必要となる場面はありえる。現在、介護職には法的な制約があるのはやむをえないとしても、現状の追認だけでなく、そのような現実の対応での不具合(一般の人なら対応できるが介護職にはできない)のコメントがあってもいいのではないかと。また、テキストも不十分な内容である。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

●現在、救急医療は目覚ましい発展をとげているが、日本の緊急時の蘇生率は欧米諸国の30%程度であるとの報告がある。その原因として、「さわるな・動かすな」などの悪習や無関心、一般市民レベルでの救急蘇生法の普及・啓発の低さ、などが指摘されている。急病や事故によって緊急事態に陥ったときに、通報してから救急隊が到着するまでの間の時間は平均 5～10 分とされている。実際にはこの時間帯こそが最も重要といわれる。「介護職の助け」が必要なはずである。

●介護福祉士のテキストに基づく解答は以下の通りである。

1. ×。2. ×。3. ○。4. ×。5. ×。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 91 施設の介護職員が行う記録・報告に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 利用者数、利用者の状態と介護内容、特別に変わった状況などを記録し、勤務交替時に報告する。
- B 利用者のバイタルサインに異常を認めた場合、直ちに看護師等医療従事者に報告すれば、記録する必要はない。
- C 介護記録は、5WIH で分かりやすく記録する。
- D 介護過程の記録の主目的は、監査や苦情に備えるためである。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 BD

問題 91 正答 2○×○×

- A. ○。施設日誌は、施設全体の業務に関するもの、利用者の変化などを記録するものである。その他、夜勤日誌、クラブ活動日誌、入浴日誌、行事企画書・報告書、などがある。(日誌名等は例示)
- B. ×。健康記録は常に必要である。健康記録は、バイタルサイン、食事、排泄、入浴などの日常生活の状態を記録したものであるが、健康状態を中心に記録しておくので、様態の変化が把握できる。
- C. ○。5WIHとは、いつ(when:時間)、どこで(where:場所)、誰が(who:主体)、何を(what:客体)、なぜ(why:原因)、どのように(how:状態)、である。簡潔明瞭に書くことをあらわしている。
- D. ×。「監査や苦情に備える」だけではない。介護過程の記録の目的は、①利用者の個別理解を深めるためである、②介護計画の立案、見直しのためである、③関連専門職との連携を深めるためである、④一貫した介護の継続のためである、⑤ケースカンファレンスの資料とするためである、⑥監査や問題が生じたときのため、などである。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 92 から問題 94 までについて答えなさい。

〔事例〕

妻(74歳)と二人暮らしの K さん(77歳)は、2年前に脳梗塞による左片麻痺となり、左側上下肢に拘縮がある。要介護 3 の認定を受けている。支えれば立位はできるが、歩行は困難である。また、左側方に注意が向かず、左側にあるものを見落とすことが多い。

便意、尿意はあり、ポータブルトイレを使用しているが、間に合わないことが多く、着替えを頻回に行っている。ポータブルトイレへの移動以外は終日寝ていることが多い。食事は、右手による自力摂食は可能であるが、こぼしたり、時間がかかるという理由から、ベッド上での全介助である。

近頃では、食事時にむせることが多くなった。また、食欲が落ちてきた。入浴は、自宅で月 2 回のシャワー浴である。物忘れも見られ、気むずかしくなってきた。来訪者はほとんどいない。妻の白内障による視力低下と腰痛が原因して、夫への介護が困難になってきたため、介護支援専門員に相談した。訪問介護が開始され、週 2 回の清潔と食事の介助が行われている。

問題 92 K さんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 終日寝ていることが多いので、脳梗塞が悪化する危険性が著しく高くなる。
- B ベッド上での全介助による食事が食欲低下の原因の一つとして考えられる。
- C ポータブルトイレを置く位置に十分留意し、左側に注意を向けるよう働きかける。
- D 排尿失敗による頻回の着替えは、妻の腰痛悪化につながる事が予測される。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問題 92 正答 4×○○○

A. ×。寝たきりが脳梗塞の著しい悪化の直接の要因とはならない。脳梗塞の後遺症で片麻痺のある高齢者は、麻痺側の廃用性萎縮により手指の拘縮や足の尖足がみられ、ベッド上の体位変換や移動に困難が見られるようになる。

B. ○。身体のどこかに不具合や苦痛があっても食欲は低下する。環境が食事に影響を与えることはあるので、1 回ごとの食事の機会を大切にし、介護者は利用者をよく観察し、アセスメントする必要がある。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

C. ○。健側にポータブルトイレを 30° 程度の位置に配置すると介助しやすい。健側を軸に回転移乗ができるので、利用者の残存機能を生かすことができる。

D. ○。74 歳の女性の身には頻回の着替えの高負担は容易に想像できる。介護者の健康管理が重要であり、特に腰痛の予防のためには、介護の継続のためにはボディメカニクスの理解や社会資源の利用などの情報提供が必要である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 93 訪問介護員による K さんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 飲み込みやすい調理として、ポタージュやゼリーが適している。

B 誤嚥を防ぐため、頸部をそらせて食事介助をする。

C 上衣の交換は、左側から脱がせ、右側から着せる。

D ズボンの交換で、立位が必要になったときは、左側を支える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 93 正答 3○××○

A. ○。誤嚥しにくいのは、ゼラチンタイプの食物であるヨーグルト、ゼリー、プリン、卵豆腐などであり、密度が均一、適度な粘度、変形しやすい、粘膜にくっつきにくいなどの特徴をもつ。ただし、寒天は嚥まないと嚥下できないので注意を要する。また、刻み食は適していないが、あんかけのようにとろみをつけた調理方法にするとよい。なお、誤嚥しやすい食物は、①もち類、②こんにゃく、③ナタデココ、④生卵、などがある。

B. ×。頸部をそらせるのは誤りである。誤嚥しにくい姿勢は、頸部を伸ばす姿勢である。たとえば、目の位置より高いテレビを見ながらの食事は厳禁である。頸部を前屈する姿勢は、咽頭と気管に角度がついて誤嚥しにくい。

C. ×。着衣の着脱は、「脱健着患」で記憶する。

D. ○。麻痺側である左側を介護者が支えるのは正しい。立位で下衣の着替えを介護者がする場合には、利用者は右手でテーブル等を支えに立つ。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 94 訪問介護員による K さんの今後の介護のすすめ方に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

A 食事の際は離床して、自力で食べるよう促していく。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

- B 妻の健康が損なわれていくことが予測されるので、介護負担の軽減のために、常時のおむつ使用を勧める。
 C 身体の清潔を保持するためにも、適所介護の利用について介護支援専門員に相談する。
 D 認知症が懸念されることから、社会的交流は避ける。

(組み合わせ)

- 1 AB
 2 AC
 3 AD
 4 BC
 5 BD

問題 94 正答 2〇×〇×

A. 〇。「食事は、右手による自立摂取は可能である」が「こぼしたり、時間がかかるという理由から、ベッド上での全介助」ということであるので、座位が可能である限り、ベッドから離床することをすすめるべきである。たとえこぼれても、自分のやり方で食べるのが一番おいしいので、できるだけ見守り介助をする。

B. ×。常時のオムツは最後の手段とする。安易にオムツを使用すると、利用者の自尊心を傷つけ、自立心も失わせることにつながる。使用に際しては、利用者と話し合うなど十分な配慮が必要である。また、妻の介護負担の軽減のための対応の検討を十分に実施する必要がある。

C. 〇。「入浴は、自宅でも 2 回のシャワー浴」とのことであり、身体を清潔に保つため、気分転換やリラックス、ストレス解消などの精神面での効果への期待から、通所介護による入浴サービスの利用は検討の価値がある。また、「来訪者はほとんどいない」という現状から、社会参加を促すことにもつながる。

D. ×。むしろ社会的交流を促進すべきである。最近では、「アクティビティケア」の導入により、若い頃に獲得した趣味や技術の活用、軽度の身体的活動、現実的生活および社会交流の機会などを通して認知症高齢者が生き生きとした生活を取り戻すことを目的とするケアの考え方が進展してきている。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。

〔事例〕

T さん(79 歳)は、妻(74 歳)と二人暮らしである。近所に息子夫婦が居住している。20 年前から糖尿病を患い、食事制限が必要で、最近では、悪化傾向にある。3 年前の入院がきっかけで出現した認知症が進行し、食べたことをしばしば忘れるようになり、食量が増えてきた。現在、要介護 2 の認定を受けている。居宅サービスは、適所介護を週に 1 回、訪問介音を週に 4 回、訪問看護を 2 週に 1 回、それぞれ利用している。

最近では、排泄の失敗も頻繁に見られるようになり、夜間は紙おむつを使用している。また、自宅での入浴は拒否し、無理に勧めると怒り出すこともあり、妻の悩みの種になっている。そのため、入浴は適所介苦時の週 1 回のみとなり、身体の清潔の介助も訪問介護に新たに加えられた。妻が膝関節の痛みにより立ち仕事が困難になって

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

きたこともあり、調理の訪問介護サービスも利用するようになった。

問題 95 訪問介護員による入浴の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 通所介護での入浴の状況を聞き、自宅での入浴介助の参考にした。
- B 妻に自宅でのこれまでの入浴の方法を聞き、入浴を拒否する原因を探った。
- C 訪問介護員の判断で、適所介護での入浴回数を週 2 回に増やすよう適所介護事業所に依頼した。
- D 下着の汚れに気がいたら、入浴にこだわらず身体を拭くなどいろいろな方法を試みた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 95 正答 2○0×0

A. ○。一般状態は個人差があるため、通所介護での状況を聞き、参考にすることは適切である。高齢者では、バイタルサインに異常は認められないときでも気分がすぐれない場合には、無理に入浴をすすめないことが必要である。高齢者の特徴として、体調の異常がはっきり出現しないことが多いので、入浴に際しては、体温、脈拍、呼吸等を測定するとともに、顔色、表情などの状態を把握する必要がある。

B. ○。入浴の拒否の原因を把握する必要がある。個人によって原因が異なるので、把握した原因に基づいた個人のマニュアル作りなどの工夫が求められる。

C. ×。すでに契約し同意されている入浴回数について、訪問介護員の判断で入浴回数を増やすことは適切ではない。介護内容および手続の説明及び同意においては、「指定居宅介護支援事業者は、指定居宅介護支援の提供の開始に際し、あらかじめ、利用申込者又はその家族に対し、第 18 条に規定する運営規程の概要その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得なければならない。」と規定されている(指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準第 4 条第 1 項)。

D. ○。身体を清潔にすることは、衛生面だけでなく精神面での安定を図るうえでも重要である。介護者は、清潔保持の意義を理解し方法論にこだわらず、その場、その人に合った介護を実施すべきである。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 96 訪問介護員による食事の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 訪問看護師にも T さんの状況を理解してもらうよう、食事量などを把握し、連絡ノートに記入した。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- B Tさんの好みを聞き、適切なカロリーで、栄養バランスの取れた料理になるよう工夫した。
- C 糖尿病の食事療法について、妻とともに管理栄養士の指導を受けた。
- D 食後に「食べていない」と言ったので、食べたことを繰り返し説明した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 96 正答 1000×

- A. ○。食後の観察では、①摂取量、②水分摂取量、③満足感などが重要な項目である。
- B. ○。食事介護の原則は、①利用者の身体状況や年齢、嗜好を配慮した栄養的合理性のある献立づくり、②鮮度のよい食材を用いた清潔な操作での調理、③清潔で落ち着いた食事環境、④その人の生活様式、習慣を尊重した食事マナーを食前・食中・食後の介助への活用、⑤摂食動作に応じた適切で安全な介助、である。
- C. ○。食事療法に無理なく取り組む知恵やコツを管理栄養士から指導を受けることは適切である。現在、日本では約690万人の糖尿病患者がいるといわれている。糖尿病の食事のポイントは、①摂取エネルギー量の適正化、②バランスのとれた食事、③1日3食の決まった時間の食事、④満腹感を得る工夫、である。
- D. ×。認知症高齢者に対して、否定したり、説明したり、説得することはかえって混乱を助長することになる。食べたことを忘れて何度も食事の催促をする認知症高齢者への対応では、「今、食事の支度をしている」などと伝えたり、買い物や散歩に連れ出すなど食事以外に気持ちが向くように援助することが大切である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 97 訪問介護員による排泄の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A トイレの場所が分からなくなったことも考えられるので、「トイレ」と書いて貼った。
- B 日中は、「トイレに行く時間ですよ」と定期的に誘導するように、妻に助言した。
- C トイレまでの廊下に障害物があったので、取り除いて歩きやすくした。
- D 日中、排泄を失敗したときは、強く注意した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

5 × × × ○

問題 97 正答 1000 ×

A. ○。トイレの場所が理解できない認知症高齢者には、文字で場所を明示することは適切であり、さらに排泄の時間に合わせて誘導することも大切である。その際の誘い方は、「私は、今からトイレに行くけれど、ご一緒にませんか」などと誘うと、拒否しないこともある。認知症高齢者は何らかの排泄のサインを送っているため、介護者には注意深い観察が求められる。

B. ○。Aの解説を参照のこと。

C. ○。排泄の介護では、特に「安全」、「安心」、「尊厳」が守られることが求められる。

D. ×。「強く注意する」のは認知症高齢者の自尊心を傷つける対応で適切でない。また、強く注意することによって、不安や混乱を強め、痴呆状態の悪化を促進させることにもつながる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 90 から問題 94 までについて答えなさい。

〔事例〕

S さん(75 歳、女性、要介護 2)は、関節リウマチで手指などに変形があり、服薬を 10 年間続けている。別棟に住んでいる長女が買物や掃除をしているが、6 か月前に学習塾を開いてからは、S さんは平日の日中、独りで過ごすことが多くなった。

最近、一人では外出できず閉じこもりがちである。調理するのもおっくうになり、菓子パンを食べたり、出前を取ったりしている。この 6 か月間に体重が 5 キロ増加し、肥満傾向にある。尿失禁のためか、部屋は尿のにおいがする。

最近、長女が S さんに顔を見せるのは、食料品を買って冷蔵庫に入れるときや、雨戸の開け閉めのときぐらいになっている。

看護師が週 1 回訪問し、服薬管理や症状に合わせた生活指導を実施している。主治医は 2 週間に 1 回、訪問診療を行っている。看護師が、介護支援等門貞に支援を要請した結果、訪問介護の導入となった。

問題 98 訪問介護員による介護の方法等に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 在宅生活を継続していくことはできないと判断した。
- B 長女に対し、学習塾をやめ、介護に専念するよう助言することにした。
- C S さんの気持ちや生活環境、外出の可能性を考慮して、外出を支援する方法を検討した。
- D 体重が増加していることから、食事の内容や食べ方に関する情報を収集して、介護の方法を工夫した。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 98 正答 5 × × ○ ○

●介護福祉士と介護専門員はともに介護の専門職であるが、介護福祉士は国家資格で、厚生労働省の指定校（養成機関）を卒業するか、3年の実務経験を受験資格とする国家試験（筆記および実技）の合格者である。また、訪問介護員（ホームヘルパー）は、2級では130時間の講義と実習が求められるのに対し、介護福祉士はその養成校において、1650時間の講義・実習が必要とされるより専門的な資格といえる。（第18回国家試験実施現在）

A. ×。在宅生活を継続できないと判断した理由が明確でなく、また、訪問介護員が判断すべき事柄ではない。訪問介護員（ホームヘルパー）は、在宅の高齢者や障害者を訪問して介護サービスや家事援助サービスを提供し、在宅生活の維持や、身体機能の低下防止などを図る者である。「介護サービス」は、食べる、眠る、入浴する、排泄する、衣服を着脱するなど、在宅での基本的な生活を継続できるように援助する。「家事援助サービス」は、調理、洗濯、掃除、買物などを援助したり代行したりする。利用者本人や家族への精神的ケアを行うほか、家族に介護の技術的な指導も行う。

B. ×。訪問介護員の立場と役割の理解の欠如した対応である。Aの解説を参照のこと。一般的に、高齢者の円満な家庭生活の維持とは、介護や温かい配慮を必要とする家族の一員である高齢者を、家族が受け入れることから始まる。このことが、家族に対するサポートが重要性であるという根拠である。介護者に求められていることは、疲れて自身を失いかけている家族介護者への励ましや具体的解決法と一緒に考えて考えることである。可能な限りの社会資源を導入し、家族の時間的、精神的余裕を作り、さらに孤立感の解消や介護技術を学ぶ機会の保障などの働きかけを行い支援する。

C. ○。外出の支援は、高齢者自身が家に閉じこもりがちになって心身ともに廃用症候群に陥るのを防ぎ、自発性や意欲を引き出し、日常生活の自立度を高めるきっかけになる可能性がある。

D. ○。体重増加の対応として、食事に関する情報を収集することは適切であり、それに基づいて栄養的合理性のある献立づくりを工夫し、提示する。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 99 サービス担当者会議で、訪問介護員が発言した内容に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 出席していた長女に希望する支援内容などについて、発言を求めた。
- B 毎食の摂食の介助が必要なので、訪問介護を1日3回に増やしたい。
- C 訪問時、排尿状況について、情報を収集していきたい。
- D 日中の過ごし方の工夫について、意見をもらいたい。

（組み合わせ）

- A B C D

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 ○ ○ ○ ×
 2 ○ × ○ ○
 3 ○ × × ○
 4 × ○ ○ ×
 5 × × × ○

問題 99 正答 2○×○○

●サービス担当者会議とは、介護支援専門員(ケアマネジャー)がサービス計画を作成するときに、各介護サービス提供者(訪問介護員を含む)、利用者本人および家族の参加により意見交換等を行うことで、「ケアカンファレンス」ともいう。居宅支援計画(ケアプラン)は、要介護者やその家族・各サービス担当者・ケアマネジャーにより行われる「サービス担当者会議」で内容が検討される。ケアマネジャーは、会議をスムーズに進めるため、根拠のしっかりしたアセスメントとケア検討の方向性・ケアプランの具体案を準備し、開催前のメンバーへの連絡・調整、サービス担当者会議の司会・調整、利用者への説明や開催後の記録などもケアマネジャーの役割である。

- A. ○。実際には、サービス担当者会議の時点では、すでに利用者・家族から原案(具体案)提示の同意を得ている内容である。しかし、会議の場で訪問介護員として家族の意向を再確認することは必要なことである。
 B. ×。サービス担当者会議において、訪問介護員は意見は伝えてもよいが、「増やしたい」というような要求をする立場ではない。訪問介護員は「訪問介護の提供」にあたるのが業務である。問題 98Aの解説を参照のこと。
 C. ○。訪問介護計画作成のための情報収集は必要である。問題 100 の解説を参照のこと。
 D. ○。訪問介護計画作成のための情報収集は必要である。問題 100 の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 100 訪問介護計画に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 近くのスーパーに同行し、買い物を支援する。
 B 訪問している看護師の助言を受けて、機能維持のために本人のできる手指の作業を勧める。
 C 連絡ノートには、毎回の介護内容・方法などを記載し、日を通すよう長女に働きかける。
 D 昔話を繰り返すときは、話している途中でも中断し、他の話題に変えるようにする。

(組み合わせ)

- A B C D
 1 ○ ○ ○ ×
 2 ○ ○ × ○
 3 ○ × ○ ×
 4 × ○ × ○
 5 × × ○ ×

問題 100 正答 1○○○×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

●アセスメントと介護計画(居宅支援計画, 訪問介護計画など)の策定に際して, 介護従事者(介護福祉士, 訪問介護員を含む)には 5 つの介護を方向づけ「ものさし」が提示されている。①生命の法則・健康の不足に則った援助, ②生命体に害を与えない援助, ③生命力の消耗を最小にする援助, ④生命力の幅を広げる援助, ⑤もてる力, 健康な力, 残された力を活用し高める援助, である。

●訪問介護は, ケアマネージャーの作成した居宅支援計画(ケアプラン)に基づいて行われる。実際の訪問介護サービス開始に際しては, サービス提供責任者がケアプランを作成し, この計画に沿ってサービスを行う。手順は, ①アセスメント(身体状況を詳細に把握するとともに, 日常生活における自立程度をチェックする), ②ケアプランの作成(アセスメントに基づいて, 自立支援の視点から, 実際のサービス内容を決定する), ③訪問介護サービスの提供(訪問介護計画に沿った, 訪問介護員(ホームヘルパー)によるサービスが始まる。訪問介護員は, 計画に沿ったサービスを提供するだけでなく, サービスごとに利用者の身体状況を把握する義務がある。利用者に接する機会の最も多い訪問介護員のもたらす情報は, 体調変化の著しい高齢者においては大変貴重・重要であり, 質の高いサービスを提供するうえでも役に立つ), ④訪問介護計画の点検と変更(訪問介護サービスは, 訪問介護員が利用者宅に向くため, 「密室性」が高いことが特徴で, 定期的にサービス提供内容の点検が必要である。サービス内容と利用者の身体・生活状況が合わない場合は, 適宜, 訪問介護計画の見直しがおこなわれる), である。

- A. ○。「買い物支援する」ことは適切である。上記の解説を参照のこと。
- B. ○。「手指の作業を勧める」ことは適切である。上記の解説を参照のこと。
- C. ○。「連絡ノートに目を通すことを勧める」ことは適切である。上記の解説を参照のこと。
- D. ×。「昔話を他の話題に変える」のは適切ではない。思い出話のなかから個人の生活歴や生きてきた時代の文化・社会的背景を知り, 高齢者への理解が深まる。ひいては, 日常生活のケアにも反映され, 高齢者の自尊心を高めることにもつながる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

【形態別介護技術】

問題 101 次の記述のうち, 適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 聴覚障害のある人の補聴器は, 専門家による調整が必要である。
- B 聴覚障害は, 外耳から大脳に至るまでの間の異常によって起こる。
- C 言語障害は, 大脳の右半球の病変によって起こることが多い。
- D 左半側空間無視は, 大脳の左半球の病変が大きく関与している。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

5 BD

問題 101 正答 1〇〇××

A. 〇。補聴器は、周囲の雑音も一緒に大きくするので、めがねと違いすぐに使用できるものでなく、専門家の調整が必要である。難聴には、①感音性難聴(耳の内耳の障害により、音が聞こえなくなる。鼓膜の振動が聴神経に伝わらないため聞こえない難聴)、②伝音性難聴(外耳道または鼓膜に問題があって音が伝わりにくい難聴。骨導補聴器によって音の取得が可能)がある。

B. 〇。外耳から内耳までを伝音器、内耳からを感音器という。外耳、中耳、内耳、聴神経を経て大脳の聴覚中枢へと伝えられる。

C. ×。右半球ではなく左半球である。通常、左半球は優位側(言語・算術・理論等を主たる役割)とし、右半球は非優位側(音楽・幾何学・発想等を主たる役割)としている。言語障害には、①失語症(会話の内容に障害)、②構音障害(会話の内容は正確で、舌や口唇の運動麻痺により、ろれつが回らない状態)がある。

D. ×。左半球ではなく右半球である。半側空間無視は、右大脳半球損傷後に身体からみて左側の空間への症状として現れる。右半球の脳血管障害による入院患者の3~4割に認められる代表的なリハビリテーション阻害因子といわれる。食事では、左側の食品を見落とし、車いすとベッドとの移乗で左ブレーキをかけ忘れて転倒することがある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 102 片麻痺のある人の T 字杖歩行に関する次の記述のうち、適切なものに〇、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A T字杖により支持基底面が広がり、歩行時の安定性が増す。
- B 杖歩行時は、麻痺側前方に位置して見守るのがよい。
- C 二動作歩行では、杖と麻痺側の足を同時に出し、次に健側の足を出す。
- D 階段を昇るときは、杖を一段上に上げ、麻痺側の足を上げ、次に健側の足を上げる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	〇	〇	〇	×
2	〇	〇	×	×
3	〇	×	〇	×
4	×	×	〇	〇
5	×	×	×	〇

問題 102 正答 3〇×〇×

A. 〇。歩行の補助に使用する杖としては最も一般的な杖で、支柱と握りの形状からT字杖と呼ばれている。普通のステッキと違って握り手が大きいので、力が入り使いやすい。

B. ×。介護者は麻痺側杖(持っていない側)に立ち、麻痺側の脇と手掌を持ったり、腰ベルトを握って支える。特

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

に、膝折れや転倒に注意する。

C. ○。二動作歩行は速度は速いが、不安定なので転倒しやすい。軽症の人に適した歩行である。順序は、①杖と患側の足を同時に出す、②健側の足を出す(足を出す速度により後ろ型、そろえ型、前型に分けられる)、である。

D. ×。麻痺側と健側が逆である。上りの順序は、①階段にできる限り近づいて立つ、②杖を1段上につく、③健側の足を1段上げて重心をかける、④麻痺側の足を1段上げ両足をそろえる、である。下りの順序は、①階段にできる限り近づいて立つ、②杖を1段下につく、③杖に重心をかける、④麻痺側の足を1段下ろす、⑤健側の足を1段下ろして、両足をそろえる、である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 103 心臓機能障害のある人とその介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 心臓ペースメーカーを装着した人は、定期的な検診と指示された服薬を順守する。
- B 食事は、できるだけ高カロリーとし、食事回数は1日2回とする。
- C 介護従事者は、利用者が、生命の危機と将来に対する不安を持っていることに留意する。
- D 介護従事者は、医師による運動処方に基づいて、社会生活を営むことができるよう援助する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	×

問題 103 正答 2○×○○

A. ○。ペースメーカーとは、心臓を一定のリズムで拍動させるために、人工的に電気刺激を与える機能をもつ装置である。ペースメーカーの埋め込み手術は必要で、ペースメーカーは最終的には体の一部と同じ状態になる。しかし、ペースメーカー装着者の生活では、定期的な受診し、ペースメーカーのチェックを受け、必要な服薬を続けなければならない。

B. ×高カロリーの食事や食べすぎは肥満につながり、消化にエネルギーを使うため、多くの酸素を必要とし、心臓の負担となる。したがって、1回の食事量を少なくし、消化のよいものを工夫する必要がある。食事では、主に塩分(塩化ナトリウム)の調節が問題となり、1日の塩分量は6~8gで制限されることが多い。

C. ○。心臓機能障害者は病状への不安・生命の危機感をもって生活している。それは家族も同様である。在宅の場合、家族の介護が24時間であり、家族には心身ともにストレスが高まり、疲労を受けやすいことを理解しておく必要がある。

D. ○。心臓の予備力の範囲内で、家事を行ったり、レクリエーションに参加することは望ましいし、日常労作の運

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

動強度を目安として、運動処方がなされる。心臓機能障害者の介護には、保健医療関係者との連携が必要であり、カンファレンスだけでなく、日常的な連絡の取り合いや情報交換は欠かせない。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

間粗 104 内部障害のある人とその介護に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心臓に人工弁置換手術を受けている人は、打撲や擦過傷に特に注意する。
- B 血液透析を受けている人は、たんぱく質を通常より多くとる。
- C 消化器ストマを造設している人は、食事時間とは関係なく入浴できる。
- D 肺気腫のある人は、口すぼめ呼吸と腹式呼吸を習得する。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 CD

問題 104 正答 3〇××〇

A. 〇。人工弁置換手術とは、大動脈弁疾患および僧帽弁狭窄症や僧帽弁閉鎖不全症の著しいものに対して行う手術である。人工弁置換手術後抗凝固療法および強心剤・利尿剤等の薬物療法を組み合わせながら続けることが必須条件となっている。打撲や打ち身などをしやすい運動は避けて、刃物などを使用する時(ひげ剃りなど)は、出血しないよう注意する必要がある。また、食生活では、納豆などを食べてはいけないなどの決まりがある。

B. ×。人工透析は、慢性腎不全の人が活動的な社会生活を送る有効な手段である。一般的には、3 回程度/週、4時間程度/回が目安である。食生活では、まず塩分・水分・カリウムを制限し、次にエネルギーおよびたんぱく質の適切な摂取をし、カルシウムとリンの摂取も要注意である。

C. ×。消化器ストマとは、人工肛門(結腸、回腸)の排泄口のことである。直腸がん・大腸がん・子宮ガン・炎症性大腸炎、先天性鎖肛・巨大結腸・外傷などが原疾患である。装具をつけていれば他の人と入浴することは問題はないが、食事時間や人前で裸になることへの抵抗や周囲の受け入れ状況など入浴の時間帯への配慮も必要である。

D. 〇。口をすぼめて「スー」「フー」の音をさせながらゆっくりと息を吐ききるのが「口すぼめ呼吸」であり、上半身の力を抜いておなか盛り上がるように息を吸い込むのが「腹式呼吸」で、習得のために練習を繰り返す。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 105 精神障害のある人の介護に関する次の記述のうち、適切なものに〇、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 窓の数を何回も数え始めたので、制止した。
- B 「人が窓際に立っている」との訴えがあったが、いつものことなので聞き流した。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- C 何事にも無関心で閉じこもり傾向にあったので、横極的に話しかけた。
- D 自殺への願望を話され「誰にも言わないで」と言われたが、主治医に相談するよう誠意をつくして話し、同意してもらった。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 105 正答 5 × × × ○

- A. ×。「制止する」のは本人のペースを乱す言動であり、適切ではない。急を要すると思える言動がある場合は、主治医の受診をすすめたり、保健所等の専門機関への相談を行う。
- B. ×。聞き流すのではなく、気持ちの受容をすべきである。被害的な訴えや現実にはありえないことを話す場合は、聞き流したり、内容を否定しないで、精神障害者にとっての事実として認め、受容する。そのうえで、介助者は自分はそう思わないという事実を伝える。介護者は、本人がそうせざるを得ないという大変さを理解することが求められる。
- C. ×。無理やりに話しかけたり、その状態を強要して変化させるような対応は適切ではない。本人の意思を尊重し、辛抱強く、少し話したい旨を伝えながら、時間をかけて、本人の意向を確認しながら、接触を続ける。
- D. ○。「誠意をつくして話し、主治医への相談を同意させること」は適切である。うつ病の自殺率は非常に高いので、「死にたい」という考えを少しでも示したり、それらしい様子がうかがえた場合には特に注意を要し、実行をやめることを約束させたり、主治医への相談の同意などの具体的な対応をしなければならない。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 106 知的障害のある児童とその介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 知的障害とは、発達期に生じた知的機能並びに適応行動に障害のある状態をいう。
- B ダウン症は、21番染色体の異常による。
- C 視覚障害を合併している場合は、後方から誘導することが原則である。
- D 一度に多くのことを話さずに、一つのことを具体的に分かりやすく話す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 4 × × ○ ×
5 × × × ○

問題 106 正答 1○○×○

A. ○。日本には知的障害に関する法律上の定義はない。しかし、文部科学省では、「知的障害とは「発達期に起こり、知的機能の発達に明らかな遅れがあり、適応行動の困難性を伴う状態」としている(平成 14 年「就学指導の手引き」)。また、厚生省(現厚生労働省)は「平成 7 年度厚生省精神薄弱児(者)基礎調査」において、「知的障害者とは、知的機能の障害が発達期(概ね 18 歳まで)にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別の援助を必要とする状態にあるもの」としている。

B. ○。ダウン症は、1866 年にイギリスのダウンにより独立した疾患として報告された。ダウン症の約 95%を占めるのは、標準型 21 トリソミーと呼ばれるタイプであり、精子や卵子の形成過程で染色体の不分離が生じ、21 番染色体が 1 本多く 3 本になっているものをいう。両親は一般に正常な染色体を持っており、偶発的にトリソミーになる。

C. ×。後方からの誘導ではなく介護者による手引き誘導である。盲知的障害者の日常的な移動は、理解力の程度によるが、練習を重ねることで、自力移動が可能になることもあるといわれる。しかし、重度の知的障害や高齢等の場合には、単独歩行による移動の手順を習得することは困難といわれる。

D. ○。知的障害者の介護における基本的な注意点は、①認知の低さから来る適応力の弱さ、②判断力の弱さ、③自立性の弱さ、④学習に時間がかかる、⑤反復や固執性をもつ、⑥コミュニケーションがうまくできない、⑦感覚に異常をもつ場合がある、⑧知性は弱い感性は鋭い、である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 107 訪問介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて作成された訪問介護計画に沿って、個々のサービスを提供する。
B 利用者ができることであっても参加させず、訪問介護員は決められた時間内で介護することを優先する。
C 一人暮らしの高齢者への緊急時の対応として、日ごろから即応できる連絡体制を把握しておく。
D 在宅では生活の環境が変化しやすいので、訪問介護計画は状況に応じて見直す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 107 正答 3○×○○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

●介護保険制度において、訪問介護には、①身体介護サービス、②家事サービスがある。身体に直接触れることだけでなく、利用者の自立支援のために必要な専門的なサービスは「介護」に含めて考えられる。

●介護保険制度において訪問介護でできないこと(禁止事項)は、①利用者以外の家族などへのサービス(訪問介護員の賃金が介護保険と税金で賄われているという理由から、要介護者・要支援者の家族へのサービスはできないので、家族の衣服や食器などを分けておくように依頼することが必要とされる)、②大掃除や庭の掃除など(介護保険では、日常生活に不可欠な最低限の生活支援のみを認め、大掃除に該当する掃除、ガラスふき、庭の掃除、草花への水遣り、ペットの散歩などは行えない)、③医療行為(原則、医療行為はできないが、例外的に認められている医療行為もある)、などである。

A. ○。問題 100 の解説を参照のこと。

B. ×。利用者の自立支援の視点に欠ける対応で適切でない。上記解説を参照のこと。

C. ○。事故等の緊急事態は、環境の整備や日ごろの観察によって、起こらないように予防することが大切であるが、緊急事態の発生の行動方法、連絡方法など必要な情報を日ごろから関係者間で話し合い、共有しておく必要がある。

D. ○。問題 100 の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 108 高齢者の機能低下の予防に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

A 脳卒中の後遺症がある場合、活動が不活発になりやすいので、筋力が低下しないよう急性期リハビリテーションを行う。

B 保健師などが必要に応じ訪問し、介護予防の相談助言を待ったり、外出を促したりする。

C 要介護高齢者の日常生活の自立を図るためには、訪問介護員は利用者の意思を尊重し、何でも要求どおりの生活援助を行う。

D 高齢者が社会的役割や家族とのつながりを保持できるように、家族・近隣・地域との交流を図ることが重要である。

(組み合わせ)

1 AB

2 AC

3 BC

4 BD

5 CD

問題 108 正答 4×○×○

A. ×。脳卒中後に意識が回復したら、直ちに行うのは起立性低血圧の予防(1日も早く座位時間が30分以上になるように行う)と関節の拘縮予防(関節は3日動かさないと固まり始めるので、他動運動を行う)である。

B. ○。介護するにあたっては、利用者の生理的・肉体的な欲求を満たすことのほか、家族の一員としての役割、

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

地域社会への参加, 利用者の充足感・満足感にえられるようにすることが求められる。利用者の生活の質(QOL)の向上を図る視点から, 介護は行われなければならない。

C. ×。基本的人権としての生活の質(QOL)が保障され, 本人の意思が尊重されなければならないが, 「何でも要求どおりに生活援助を行う」ことを意味しない。

D. ○。Bの解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 109 加齢による身体的変化と, それが要因となって生じやすい傷病に関する次の組み合わせのうち, 正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

(具体的変化) (傷病)

- A 閉経・・・・・・・・骨粗鬆症
- B 平衡感覚低下・・・・・・ 統合失調症
- C 知覚神経の機能低下・・・・低温やけど
- D 視力低下・・・・・・ 糖尿病

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 109 正答 2○×○×

A. ○。閉経後の骨粗鬆症は女性にとっては避けられない現象である。女性ホルモン(特にエストロゲン)の分泌低下により生じ, 閉経後数年から 10 年ほどの間に骨量の減少が亢進する。

B. ×。統合失調症と平衡感覚の低下の組み合わせは適切ではない。一般的に加齢により平衡感覚は低下する。小脳は, 運動順序の調整や平衡感覚と姿勢の制御を行っており, 小脳が損傷されると協調運動障害(運動失調)が起こる。小脳が損傷する原因は, 長期間のアルコール乱用, 脳卒中, 脳腫瘍, 脳内出血, 繰り返し受けた頭部外傷, 多発性硬化症, 先天的な脳欠損, 甲状腺機能低下, 高熱, 有毒物質(一酸化炭素, 重金属など), 栄養不良, などがある。

C. ○。触っていても暖かく気持ちのよい 60℃くらいの温度でも 1 分間圧迫を続けるとやけどするのが「低温やけど」であり, 50℃でも 3 分間圧迫を続けると低温やけどになるといわれる。低温やけどは, 皮膚の表面はわずかなやけどに見えても, 内部が壊死してしまうこともあり, 軟膏による治療では数ヶ月かかり, 手術が必要になることもある。「低温やけど」の事故のうち, 65 歳以上の高齢者が全体の約 3 分の 1 を占めるといわれる。

D. ×。視力低下ではなく視力障害である。糖尿病は全身のみならず, 眼にもさまざまな合併症を引き起こし, 「糖尿病網膜症」(成人失明原因の第一位)がある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

問題 110 視覚障害のある人に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 視野とは、眼球を精一杯動かして見ることのできる範囲をいう。
- B 昼盲(症)では、照明を明るくした方がよく見える。
- C 両眼の視力の和が0.01以下では、身の日常生活活動が極度に制限される。
- D 求心性視野狭窄のある人は、下方からの視覚情報を入手できにくく、転倒・転落などの危険を伴いやすい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 110 正答 4××○○

- A. ×。視野とは、まっすぐ前方を見ている時に、上下左右前方で見えている範囲である。正常な人では、片目につき上方に60度、下方に75度、鼻側に60度、耳側に100度の視野をもつ。視神経の障害や緑内障などの眼疾患では、片方の眼が障害されたり左右の眼の障害の程度が違ったりするので、左右別々の視野検査がなされる。
- B. ×。昼盲症とは、明るい場所がかえって見にくいという症状をいう。白内障は、水晶体が白く混濁していく病気です、中心部が濁っている場合には、昼盲症が現れて、手術の対象となる。
- C. ○。視力についての基準において、障害程度等級の1級は「両眼の視力の和が0.01以下のもの」となっている(身体障害者福祉法施行規則別表)。なお、「両眼の視力の和」とは両眼視によって累加された視力の意味ではなく、両眼の視力を別々に測った数値の和のことである。
- D. ○。求心性視野狭窄は、視野が狭くて中心部を残して周辺が見えないのであり、足元が見えない、左右から来る人や自動車などに気づかないなど、歩行には困難な状態になる。求心性視野狭窄では、読書用補助具だけでなく歩行時の白杖の必要性もある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 111 次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 失見当識とは、忘れて覚えていないにもかかわらず取り繕いながら話すことをいう。
- B 感情鈍麻は、老人性認知症の初期症状である。
- C 脳血管性痴呆は、生活習慣病との関係が深い。
- D 脳血管性痴呆では、感情失禁が起こりやすい。

(組み合わせ)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 CD

問題 111 正答 5××○○

A. ×。失見当識とは、「時間・場所・人」に関する見当づけができなくなることであり、高熱の伝染病やてんかんで朦朧状態や、認知症以外に、記憶力障害の著しいコルサコフ症候群の主症状として現れる。それ以外に脳血管性痴呆、老人性痴呆などの器質的疾患でもしばしば見られる。

B. ×。感情鈍磨とは、統合失調症の陰性症状で、喜びや悲しみなどの感情を表わさなくなり、共感性が乏しくなる。老人性認知症の初期症状は記憶障害である。

C. ○。日本神経学会の認知症の治療ガイドラインには、「発症には栄養、運動、休養、喫煙、飲酒など生活習慣の関連を示す疫学研究の結果が蓄積されつつあり、生活習慣の改善を実行することが予防に結びつくと考えられる」と記されている。

D. ○。脳血管性痴呆は「まだら痴呆」と言われ、脳の限られた部分が損傷を受けるために知能障害がまだらに起こる。知能障害の進行は発作が起こるたびに進行していくため、階段状に悪化していくのが特徴である。また、感情面での不安定さが特徴で、ちょっとした刺激で涙ぐんだり、何でもないので笑ったりするような「感情失禁」を呈することもある。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(形態別介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 112 から同席 1 日までについて答えなさい。

〔事例〕

Y さん(70 歳)は、夫(75 歳)と 45 歳の娘との三人暮らしであった。主たる介護者であった娘が事故で死亡し、3 か月前に、介護老人福祉施設に入所した。

Y さんは 40 年前前から関節リウマチで、現在、痛みはないが、複数の関節に変形と可動域制限がある。両側の手指の関節は他動的に伸縮する。手は口には届くが頭には届かない。食事は自助具を用いて可能である。座位や立位の保持は可能であるが、起き上がりや立ち上がりには介助が必要である。歩行は不安定で、移動には車いすを利用している。臥床時以外は頸椎カラーを常に装着している。

入所当初は夫がよく来所したが、今ではほとんど来所しなくなった。最近、夜間不眠を訴えるようになった。食事が減り、会話も少なくなり、好きだったレクリエーション活動への参加を拒否するようになってきた。

問題 112 次の日常生活動作の中で、Y さんが自分でできると考えられるものはどれか、適切なものを一つ選びなさい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 床に落ちたものを拾う。
- 2 ストローで水を飲む。
- 3 上衣のボタンをかける。
- 4 上衣の腰の後ろひもを結ぶ。
- 5 頸椎カラーを装着する。

問題 112 正答 2×○×××

●関節リウマチは、全身の関節に起こる慢性の炎症性の自己免疫疾患である。はっきりした原因はわかっていない。

●関節リウマチの症状は、①朝のこわばり(初期症状として「朝のこわばり」があり、力強く握る動作が困難になる)、②関節痛、関節の腫れ(手の指先から2番目の関節と3番目の関節が最も頻度が高く、リウマチ診断の必須条件である)、③関節の可動域の制限(関節自体が破壊され、関節を十分に伸ばしたり曲げたりできなくなり、運動範囲が狭くなる)、④関節の変形(

特徴的な関節の変形には、手指の「スワンネック変形」「ボタン穴変形」と呼ばれるものがある)、⑤リウマチ結節(肘の外側や頭の皮下に米粒大から2cm くらいのしこりが出現する)、⑥心膜炎、胸膜炎、心筋炎、間質性肺炎、皮下出血、皮膚潰瘍(このような合併症を伴う場合もある)、⑦全身症状(倦怠感、疲れやすさ、食欲不振、微熱、貧血などを認めることがある)、などである。

1. ×。2. ○。3. ×。4. ×。5. ×。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 113 Yさんのベッドから車いすへの移乗介助に関する次の記述のうち、行ってもよいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 頸部と体幹を十分に前屈させて、床に立ち上がらせる。
- B ベッドを通常より少し高くして、床に立ち上がらせる。
- C ベッド柵を強く握らせて、床に立ち上がらせる。
- D 介助用リフトを用いて移乗させる。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AC
- 3 AD
- 4 BC
- 5 BD

問題 113 正答 5×○×○

A. ×。前かがみ姿勢を避けなければならない。日常生活では、前かがみ動作が多く、この動作が、頸椎の前方

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

への亜脱臼を増強させる。

B. ○。問題 112 の解説を参照のこと。

C. ×。力強く握る動作が困難になるので、「力強く握らせて」というのは適切ではない。問題 112 の解説を参照のこと。

D. ○。介護保険において、床走行式リフトは、ベッドから車椅子などへの移乗が自力では困難な場合に使用する福祉用具である。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 114 Yさんについてのカンファレンスにおける介護職員の次のような意見について、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 会話の少なさ、レクリエーション活動への参加の拒否などがみられ、うつ傾向も考えられるので、主治医と相談する。

B コミュニケーションの回復や活動性を高めるため、夫に来所回数が増やせないか相談する。

C 食事量の減少は、胃や腸の病気による疑いがあるので、レントゲン技師に依頼して検査をしてもらう。

D 夜間の不眠を助長しないよう、深夜に呼ばれても、訪室しないように統一する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 114 正答 1○○××

A. ○。うつ傾向は、気分が落ち込んで元気がなくなる状態である。うつ状態に効果のある内服薬があるので、主治医に相談することは適切である。

B. ○。家族との交流により利用者のコミュニケーションの促進が図られる。家族の協力なくしては成り立たないので、お願いすることは重要である。ただし、家族の事情等を尊重した対応が必要である。

C. ×。介護職員がレントゲン技師に直接依頼するのは適切ではない。カンファレンスで、医療従事者に対して提案することが望ましい。

D. ×。不眠に対する対応としては適切でない。本人の不安や孤独感を受け止める介護が必要とされる。場合によっては、医療従事者への報告や、利用者へ主治医に相談することをすすめる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(形態別介護技術・事例問題 2)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

K さん(85 歳・女性)は、一人暮らしをしていたが、2 年前に脳梗塞で入院した。

その後、介護老人保健施設を経て、1 年前に介護老人福祉施設に入所した。軽い右片麻痺がある。食事は、時間はかかるが自分で食べることができる。排泄は自立している。入浴は介助が必要である。

入所後、徐々に物忘れをするようになった。これまで娘同様に接していた担当の S 職員が、居室を掃除して部屋を出ると、「財布がなくなっている、S さんが盗んだ」と言うようになった。

また、夜間に徘徊があり、日中、居眠りをよくするようになった。特に入浴後には、必ず居眠りをしている。

医療関係者等とのカンファレンスでは、屋間なるべく起こしておくことが当面の介護の具体的方針となった。

問題 115 「財布がなくなっている、S さんが盗んだ」という K さんの訴えに対する S 職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 「財布がない」という訴えを受け入れて、K さんと一緒に財布を探すことにした。

B K さんが盗まれたと興奮し始めたときは、まったく違う話題にするなどして、関心をそらすことにした。

C K さんが自分の物をしまいこむ場所を、日頃から観察しておくことにした。

D 財布を盗んだと言われるので、S 職員の判断で K さんの担当を代わってもらった。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 115 正答 1000×

●物盗られ妄想の基本的な対応は、①言い返したりして、興奮しないこと、②落ち着いて、一番困っているのは利用者であると受け止めること、である。具体的な対応としては、①一緒に探すことを提案して、実行する、②お茶をのむなどして関心や話題をそらせる、③代用品を用意しておき納得させる、④入れておく場所を決めておく、⑤日常の観察から隠す場所の見当をつけておく、などである。

A. ○。上記解説を参照のこと。

B. ○。上記解説を参照のこと。

C. ○。上記解説を参照のこと。

D. ×。一過性のことであり、上手に対応を工夫することが大切である。たいてい最初に疑われるのは、身近な担

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

当の介護者(在宅においては妻、息子の嫁など)が多いようである。上記解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 116 Kさんの夜間徘徊への介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Kさんの就寝時の環境についてアセスメントした。
- B Kさんの徘徊を発見したので、すぐにベッドに連れ帰った。
- C 職員の言葉遣いや態度がKさんのストレスにならないように穏やかに対応した。
- D 地の利用者との人間関係に問題が生じないように、他の利用者の居室への訪問を禁止した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 116 正答 3○×○×

- A. ○。不適応行動は周囲の者には理解できなくても、本人には何らかの理由がある。また、本人側だけではなく、介護者側の対応や環境にも行動を起こさせる要因がある。さらに、介護者には、自分のいる場所や周囲との関係、出来事などを理解できていない状況の中にいることを常に意識した対応が望まれる。さらに、遅くまで明るく電気がついているとホルモンの分泌が抑えられ、自然な体温降下が妨げられることによって、入眠しにくくなることもあるといわれる。
- B. ×。「すぐにベッドへ連れ帰る」のではなく、声をかけて他のことに関心を向けさせた後などにベッドへ連れて帰るのが望ましい。
- C. ○。「出歩いちゃダメ」「早く部屋に帰りなさい」は禁句である。本人にはそれなりの理由があるので、徘徊の原因、利用者の欲求を冷静に考えて対応する。
- D. ×。単に禁止するのではなく、思いとどまらせるような文面を貼り付けることなどの工夫をする。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 117 Kさんの日中の居眠りへの介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 夜間の徘徊で疲れているので、昼食時になっても、目を覚ますまでカーテンを閉めておいた。
- B 話しかけるなどの刺激を与えて、できるだけ起こしておくようにした。
- C できるだけ太陽の光が射す明るい場所で、人との交流を図るようにした。
- D 施設サービス計画に、散歩などの活動性を高める内容を加えた。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問題 117 正答 4×○○○

A. ×。生体のリズムが崩れている状況にあるため、生体のリズムを通常の状態に調整をすべきである。決まった時間に起床し、日常の活動を始め、生活にメリハリをつけることを心がけた介護が必要である。

B. ○。さらに、その人がそれまでの生活の中で、体験してきた様々な仕事を取り入れて、それを素材にして生活の中で展開し、日中の活動を積極的に行うことが大切である。

C. ○。日光をたっぷり浴びると、生体のリズムが調整されるので、日中、明るいところで過ごすことが、一般的に認知症高齢者には重要といわれる。また、自分でできることは自分で行う。さらに、自分のことだけでなく周りの人との交流によって、認知症高齢者同士の温かいつながりが持てることが期待される。

D. ○。施設サービスに活動性を盛り込むことは重要であるが、無理強いや強制にならないように注意し、あくまでも本人の動きの中から発展させなければならない。また、本人の特技・癖・自慢・職業などをアセスメントし、本人の行動、会話、表情等からの信号を手がかりにして、過去の記憶の再生や動きの再現を促しことによって、施設サービスを充実させなければならない。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

(形態別介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

〔事例〕

A さん(鮎歳・男性)は、15 年前より肺気腫と診断され、通院加療している。

夫婦二人暮らしであったが、妻が 5 年前に脳卒中で入院し、退院後、介護老人福祉施設へ入所した。この頃、A さん自身が息苦しさを訴え入院した。在宅酸素療法が導入され、退院後も続けられた。その後、日常生活が困難となったため、妻の利用している施設へ 2 年前に入所した。

現在も、在宅酸素療法は続いている。起立、起き上がりはなんとか可能だが、筋力低下のため歩行時に介助が必要である。また、しばしば息切れや呼吸困難を訴える。食欲は徐々に低下してきている。排泄はポータブルトイレを使用し自立しているが、更衣や整容などは疲れるからと拒否することが多い。入浴は個別浴で、介助が必要である。日中はベッド上か妻の部屋にすることが多く、行事にも参加しない。

問題 118 在宅酸素療法中の A さんへの介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

一つ選びなさい。

- A Aさんが禁煙していれば、喫煙中の人と同席させてもよい。
- B 息苦しさを訴えたので、酸素流量を増やした。
- C 外出時には看護師に相談し、酸素ポンプなどを準備する。
- D 緊急時の対応についてあらかじめ把握しておく。

(組み合わせ)

- 1 AB
- 2 AD
- 3 BC
- 4 BD
- 5 CD

問題 118 正答 5 × × ○ ○

●1985年より在宅酸素療法が健康保険適用になり、現在では約10万人程度と推定され、確実に増加している。基礎疾患の頻度としては、肺気腫や慢性気管支炎などのいわゆる慢性閉塞性肺疾患、次いで肺結核後遺症といわれる。

●在宅酸素療法の禁忌は、①臨床的に症状または病態が不安定な場合、②酸素療法をしばしば変更する必要がある場合、③酸素投与によりCO₂蓄積が増悪する場合、④禁煙を守れない場合、⑤遠方のため、通院及び緊急時の対応が困難な場合、などとされている。

A. ×。基本的に、環境が汚れることを許容すべきではないし、また、発火につながる煙草、ドライヤー、ヒーター、摩擦を生じるおもちゃ等は近付けると爆発の危険性がある。

B. ×。介護職員が単独で酸素流量を増量してはならない。酸素の必要量などは個々の病態によって異なるので、主治医が患者ごとに適切な酸素供給源、酸素流量、吸入方法、吸入時間、安静時・労作時・睡眠時の吸入量を処方する。

C. ○。外出時などに酸素ポンプを利用する。容量の違ういくつかの軽量ポンプがあり、355ℓの長時間型ポンプを吸入量1ℓで利用した場合には、約5～6時間使用できる。また、酸素セイバーという節約器を同時に使用すると吸気時のみに酸素が流れるようになり、ポンプの使用時間が約3倍になる。

D. ○。業者による在宅酸素療法サービスは年中無休、24時間体制で緊急対応がなされているので、ハード、ソフトの両面からの緊急対応網を事前に確実に把握しておかなければならない。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 119 Aさんの日常生活に対する介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 日常生活動作の目安は、動作時に息切れや呼吸苦を自覚しない程度とする。
- B 食事は、高カロリーで消化しやすいものを少量とする。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- C 入浴や洗髪時は、気道に水が入ると危険なので、鼻カニューレを外す。
 D 室内の換気は、寒冷刺激などを一気に受けないよう、穏やかに換気する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 119 正答 2○○×○

- A. ○。在宅酸素療法を実施する上で期待する効果で最も多いものが「息切れの軽減」で、次いで「心臓を守る」だといわれる。療養指導では、「息切れを軽減する日常生活動作の工夫」の指導が望まれている。
 B. ○。牛乳、鶏卵、鶏肉、牛肉、魚などのたんぱく質を多くとり、十分なエネルギー量(目標カロリー)を摂取する。食事回数を1日4~5回に分け、少しずつ食べるようにする。芋類、豆類など、消化器管内でガスを発生するような食品は避け、野菜も不足しないようにとることとされている。
 C. ×。入浴は酸素チューブを延ばして酸素吸入しながらするのが最もよい。しかし、実際には入浴時は外している人が多いといわれる。
 D. ○。換気のよい部屋とし、室内の酸素濃度が高くないようにするが、一気の寒冷刺激などには注意する。1日に2~3回は酸素が流れているかどうか確認する(電源が切れていたり、接続チューブが途中ではずれていることもある)。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 120 Aさんの施設サービス計画に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食欲回復のため、Aさんの好物を聞くなどして、栄養のアセスメントを行う。
 B ポータブルトイレで自立しているので、排泄に関する援助は不要である。
 C 他の利用者とのコミュニケーションを図るため、個別浴から一般浴に変更する。
 D 生活リズムを確保するため、Aさんのできる範囲で朝の整容やレクリエーションへの参加を勧める。

(組み合わせ)

1	AB
2	AC
3	AD
4	BC
5	CD

問題 120 正答 3○××○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

A. ○。食事をとる動作で疲れてしまうと、食べることが億劫になり食欲が低下するので、楽な姿勢、疲れにくい姿勢を工夫する。また、固いものや食べにくいものを避け、食べやすい献立にする。さらに、食欲がなくなるよう一緒に散歩などをして体を動かすことも考慮する。

B. ×。ポータブルトイレは、ベッド上で起き上がりが自立または介助により行えるが、トイレまで行くのが困難な場合に使用する。自立しているからといってまったく介助が不要となったわけではない。使用後などの後始末も行わなければならない。

C. ×。「コミュニケーションを図るために」との理由による一般浴への変更は適切ではない。確かに、リラックスし、ストレスの解消を図るという精神的な効果やコミュニケーションの場になることもある。しかし、入浴は、基本的には「体をきれいにする」「血液の循環をよくし新陳代謝を促進させる」「適度の費用により食欲増進や安眠をもたらす」などの生理的な意義をもつものである。また、在宅酸素療法者であり「安全」の観点を無視できない。

D. ○。利用者自身が病気を克服し、あるいは受けとめて、新しい人生を築くという前向きな生活姿勢をもてるように支援し、援助することが求められる。

【Copyright(C) 2006 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】